

**伊賀市
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査報告書
在宅介護実態調査報告書**

令和2年5月

三重県 伊賀市

目次

第1部 調査の概要	3
第2部 アンケート調査結果	7
第1章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果	7
(1) 基本属性	7
(2) からだを動かすことについて	13
(3) 食べることについて	20
(4) 毎日の生活について	29
(5) 地域での活動について	38
(6) あなたとまわりの人の「たすけあい」について	44
(7) 健康について	53
(8) 介護予防について	58
(9) 高齢者の生活を支援するサービスについて	59
(10) 介護保険制度などについて	60
(11) 認知症の方や家族への支援などについて	65
(12) 今後の高齢者施策について	70
第2章 在宅介護実態調査の集計結果	73
(1) 基本調査項目（A票）	73
(2) 主な介護者様用の調査項目（B票）	85
第3部 資料編	93
1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	93
2 在宅介護実態調査	93

第1部 調査の概要

第1部 調査の概要

I 調査の概要

(1) 調査の目的

老人福祉法第20条の8の規定等に基づく高齢者保健福祉計画ならびに介護保険法第117条の規定に基づく介護保険事業計画を『伊賀市第6次高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画〔計画期間：2021（令和3）年～2023（令和5）年度〕』として一体的に策定する上で、高齢者の生活状況や活動状況などの必要な基礎資料を得るとともに、超高齢社会に対する意識や介護保険サービスに対する意向などの実態を把握することを目的としています。

(2) 調査対象

調査名	対象者	対象者人口	標本数 (対象者比率)
介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	伊賀市在住の65歳以上の要介護認定のない人及び要支援1・2の人から無作為抽出	25,213人	5,000人 (19.8%)
在宅介護 実態調査	伊賀市在住の65歳以上の要支援・要介護認定者のうち居宅で暮らしている人から無作為抽出	4,938人	600人 (12.2%)
合 計		30,151人	5,600人

※対象者人口：2019（令和元）年9月末現在

(3) 調査期間

調査名	期 間
介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	2020（令和2）年2月7日～2020（令和2）年2月21日
在宅介護実態調査	2019（令和元）年11月21日～2020（令和2）年4月21日

(4) 調査方法

調査名	調査方法
介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	介護保険システムから該当者を無作為抽出し、郵送による配布・回収（自記式）
在宅介護実態調査	認定調査員による聞き取り

(5) 回収状況

調査名	配布数	有効回収数	有効回収率
介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	5,000通	3,539通	70.8%
在宅介護実態調査	600通	462通	76.9%
合 計	5,600通	4,001通	—

(6) 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数 (n) を基数とした百分率 (%) で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・表やグラフ中の回答選択肢が長文の場合、処理の都合上、省略している場合があります。

第2部 アンケート調査結果

第1章 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査結果

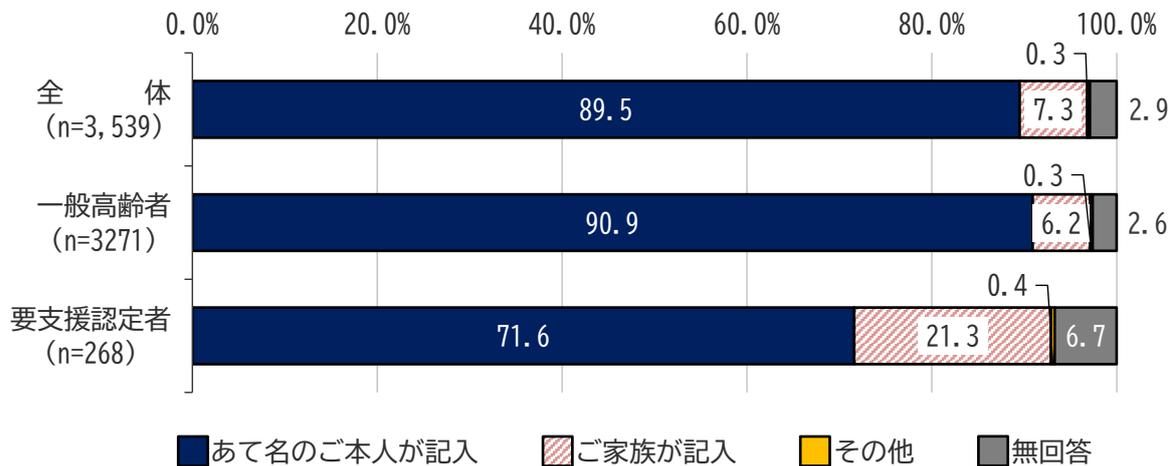
(1) 基本属性

このアンケート調査にお答えいただける人はどなたですか。(1つだけ)

一般高齢者では、「あて名のご本人が記入」の割合が90.9%と最も高く、次いで「ご家族が記入」の割合が6.2%、「その他」の割合が0.3%となっています。

要支援認定者では、「あて名のご本人が記入」の割合が71.6%と最も高く、次いで「ご家族が記入」の割合が21.3%、「その他」の割合が0.4%となっています。

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「あて名のご本人が記入」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「ご家族が記入」の割合が高くなっています。

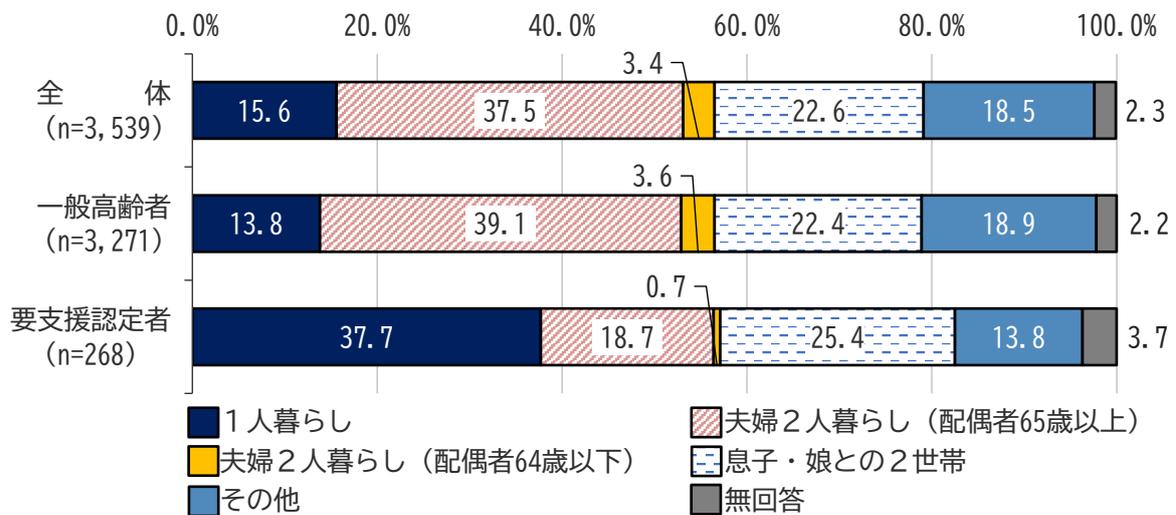


問1 家族構成をお教えてください（一つを選択）

一般高齢者では、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が39.1%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」の割合が22.4%、「その他」の割合が18.9%となっています。

要支援認定者では、「1人暮らし」の割合が37.7%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」の割合が25.4%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が18.7%となっています。

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「1人暮らし」の割合が高くなっています。



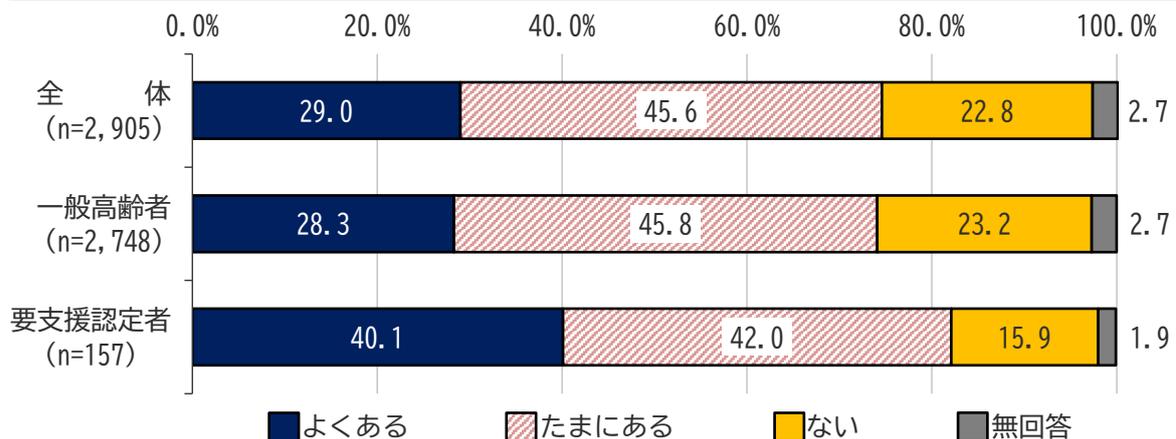
<問1で「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」「息子・娘との2世帯」「その他」と回答した方にお伺いします>

問1-1 日中、一人になることがありますか（一つを選択）

一般高齢者では、「たまにある」の割合が45.8%と最も高く、次いで「よくある」の割合が28.3%、「ない」の割合が23.2%となっています。

要支援認定者では、「たまにある」の割合が42.0%と最も高く、次いで「よくある」の割合が40.1%、「ない」の割合が15.9%となっています。

認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「よくある」の割合が高くなっています。

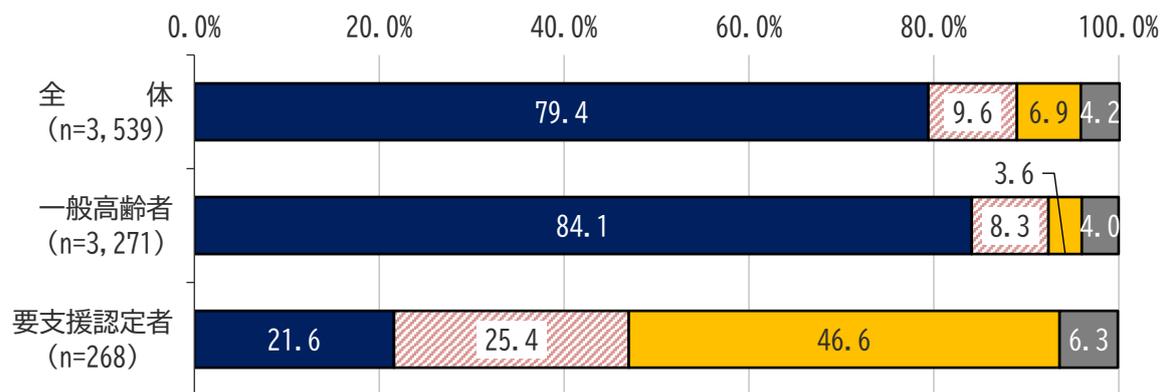


問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（一つを選択）

一般高齢者では、「介護・介助は必要ない」の割合が84.1%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が8.3%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が3.6%となっています。

要支援認定者では、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が46.6%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が25.4%、「介護・介助は必要ない」の割合が21.6%となっています。

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「介護・介助は必要ない」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護・介助を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護・介助を受けている場合も含む）」の割合が高くなっています。



■ 介護・介助は必要ない

▨ 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない

■ 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）

■ 無回答

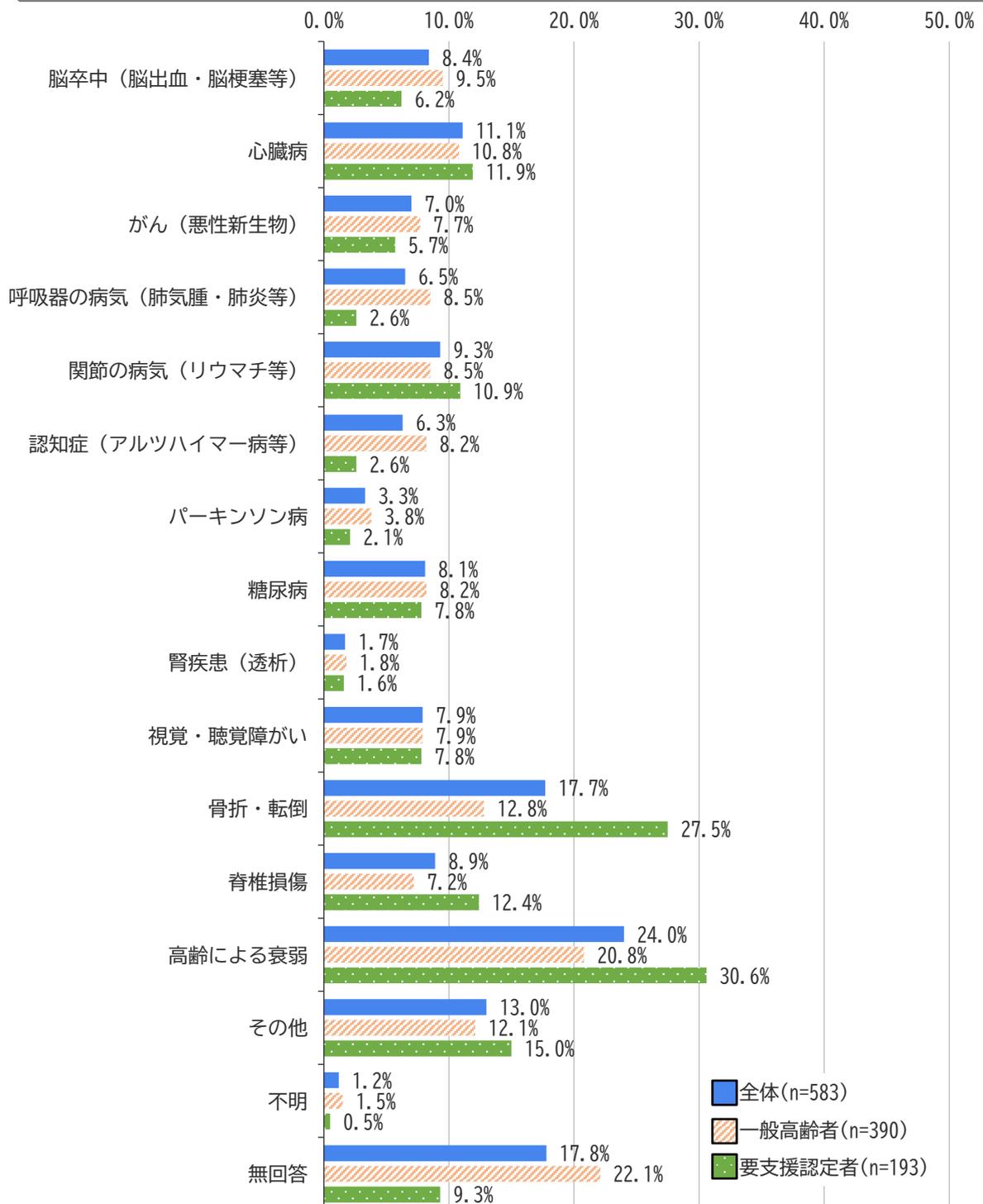
<問2で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護・介助を受けている」と回答した方にお伺いします>

問2-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）

一般高齢者では、「高齢による衰弱」の割合が20.8%と最も高く、次いで「骨折・転倒」の割合が12.8%、「その他」の割合が12.1%となっています。

要支援認定者では、「高齢による衰弱」の割合が30.6%と最も高く、次いで「骨折・転倒」の割合が27.5%、「その他」の割合が15.0%となっています。

認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「骨折・転倒」「高齢による衰弱」の割合が高くなっています。



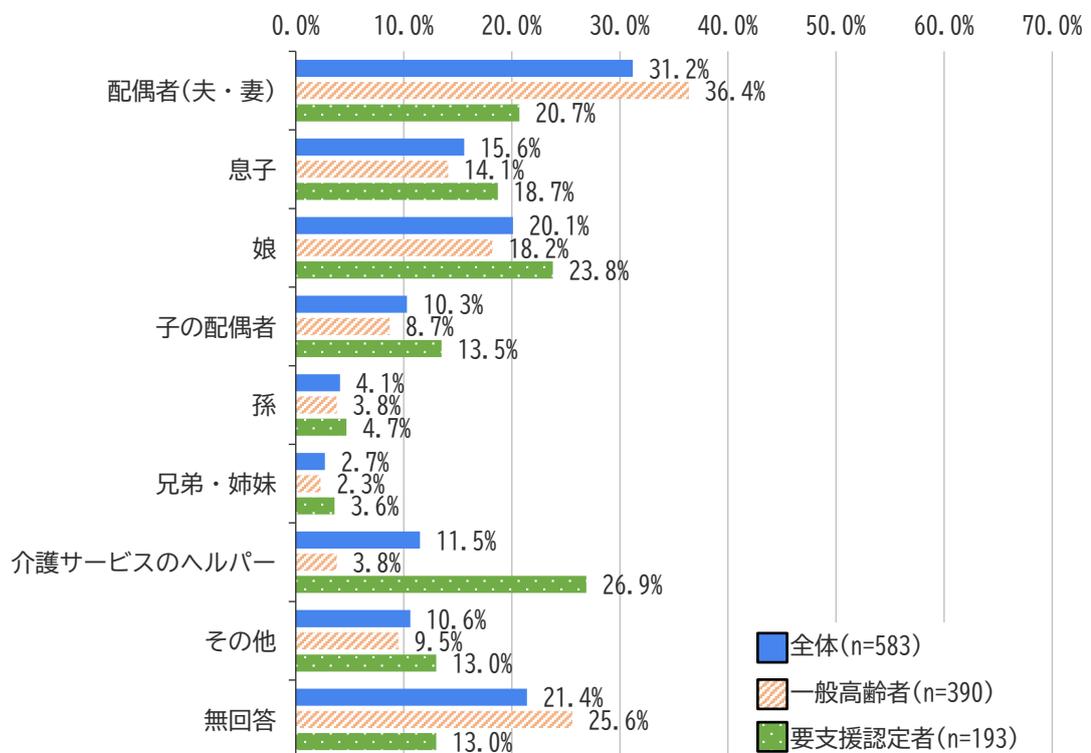
<問2で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護・介助を受けている」と回答した方にお伺いします>

問2-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか（いくつでも）

一般高齢者では、「配偶者(夫・妻)」の割合が36.4%と最も高く、次いで「娘」の割合が18.2%、「息子」の割合が14.1%となっています。

要支援認定者では、「介護サービスのヘルパー」の割合が26.9%と最も高く、次いで「娘」の割合が23.8%、「配偶者(夫・妻)」の割合が20.7%となっています。

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「配偶者(夫・妻)」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「介護サービスのヘルパー」の割合が高くなっています。

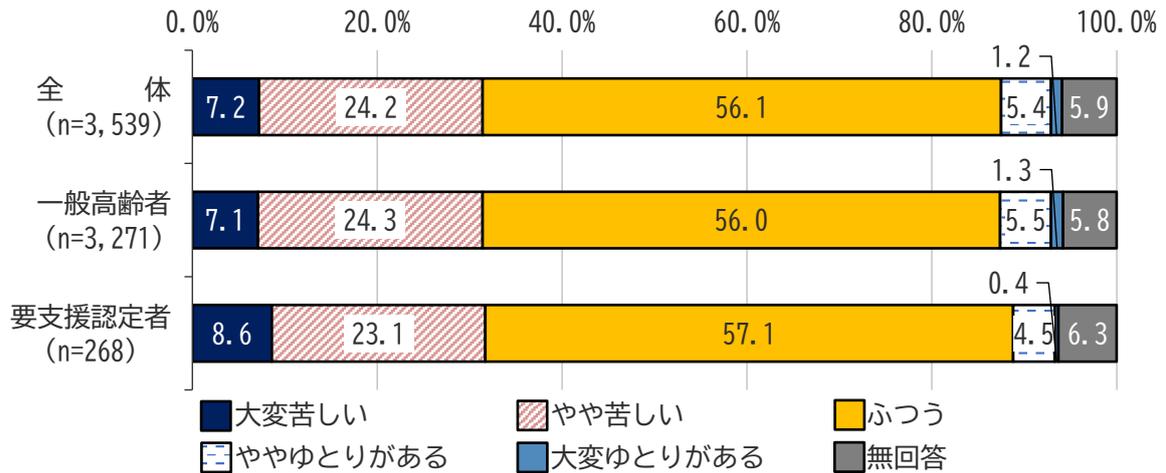


問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（一つを選択）

一般高齢者では、「ふつう」の割合が 56.0%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が 24.3%、「大変苦しい」の割合が 7.1%となっています。

要支援認定者では、「ふつう」の割合が 57.1%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が 23.1%、「大変苦しい」の割合が 8.6%となっています。

認定の有無別でみると、大きな差異はみられません。

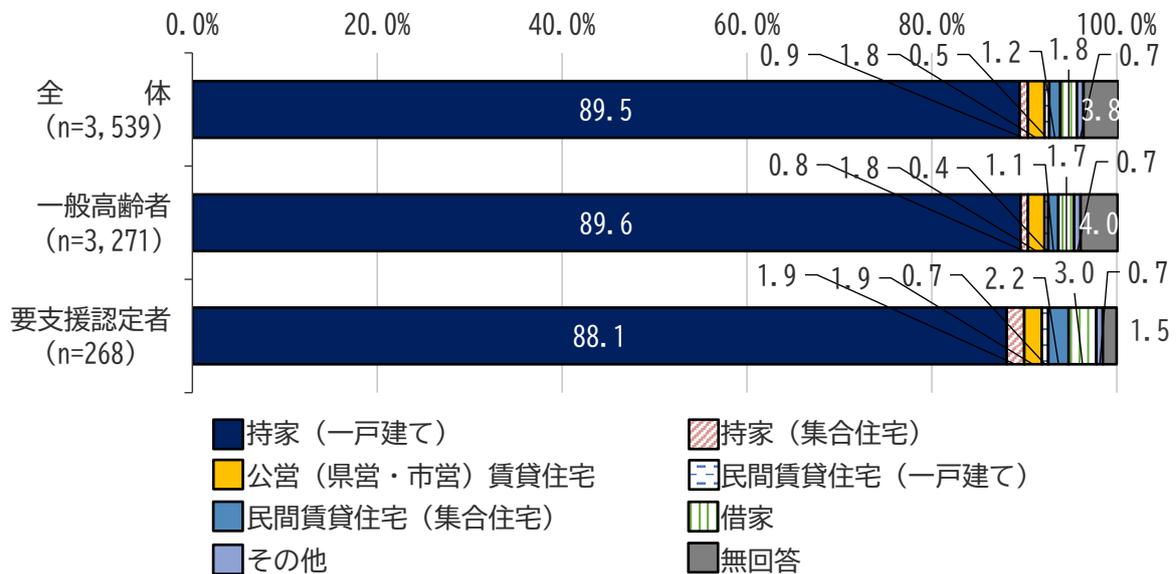


問4 住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか（一つを選択）

一般高齢者では、「持家（一戸建て）」の割合が 89.6%と最も高く、次いで「公営（県営・市営）賃貸住宅」の割合が 1.8%、「借家」の割合が 1.7%となっています。

要支援認定者では、「持家（一戸建て）」の割合が 88.1%と最も高く、次いで「借家」の割合が 3.0%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」の割合が 2.2%となっています。

認定の有無別でみると、大きな差異はみられません。



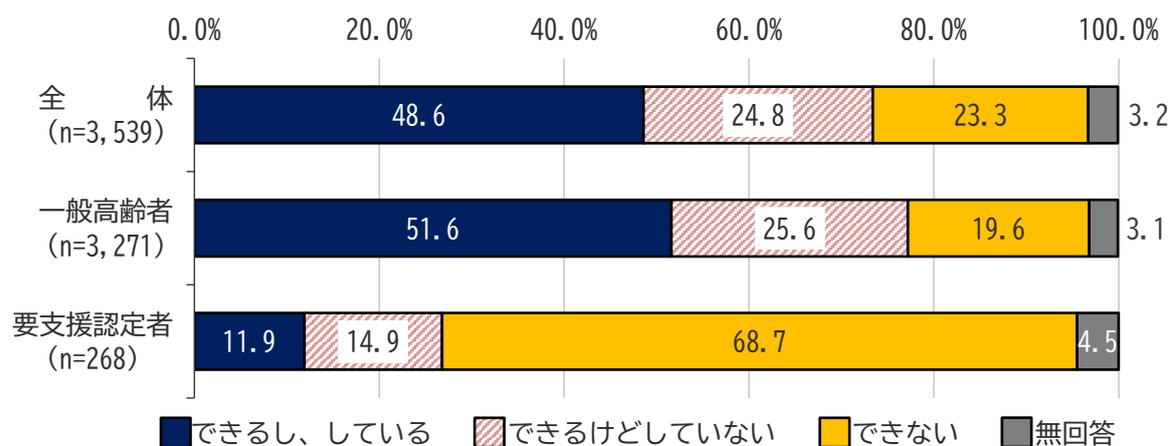
(2) からだを動かすことについて

問5 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（一つを選択）

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が 51.6%と最も高く、次いで「できるけどしてない」の割合が 25.6%、「できない」の割合が 19.6%となっています。

要支援認定者では、「できない」の割合が 68.7%と最も高く、次いで「できるけどしてない」の割合が 14.9%、「できるし、している」の割合が 11.9%となっています。

「できない」の割合は、一般高齢者で 19.6%、要支援認定者で 68.7%となっており、49.1ポイントの差となっています。

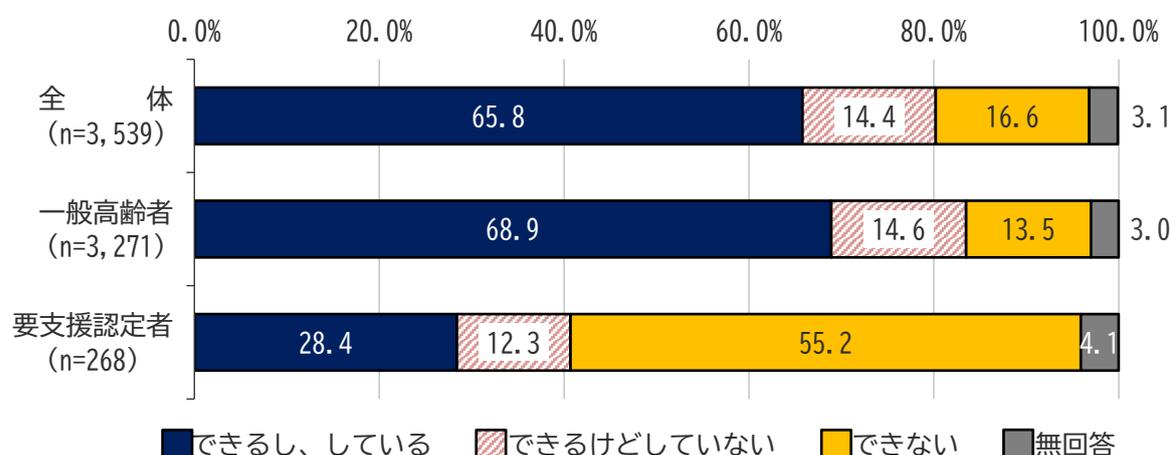


問6 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（一つを選択）

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が 68.9%と最も高く、次いで「できるけどしてない」の割合が 14.6%、「できない」の割合が 13.5%となっています。

要支援認定者では、「できない」の割合が 55.2%と最も高く、次いで「できるし、している」の割合が 28.4%、「できるけどしてない」の割合が 12.3%となっています。

「できない」の割合は、一般高齢者で 13.5%、要支援認定者で 55.2%となっており、41.7ポイントの差となっています。

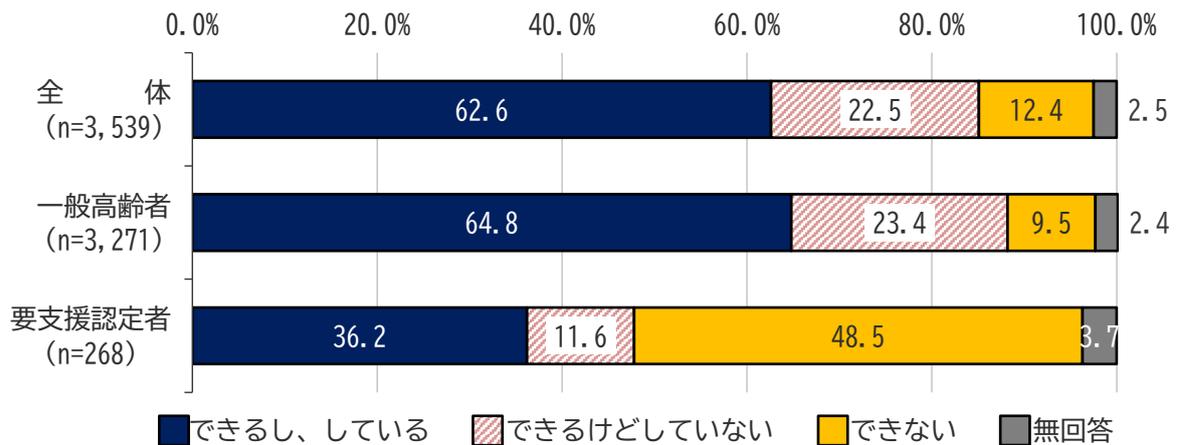


問7 15分位続けて歩いていますか（一つを選択）

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が64.8%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が23.4%、「できない」の割合が9.5%となっています。

要支援認定者では、「できない」の割合が48.5%と最も高く、次いで「できるし、している」の割合が36.2%、「できるけどしていない」の割合が11.6%となっています。

「できない」の割合は、一般高齢者で9.5%、要支援認定者で48.5%となっており、39.0ポイントの差となっています。

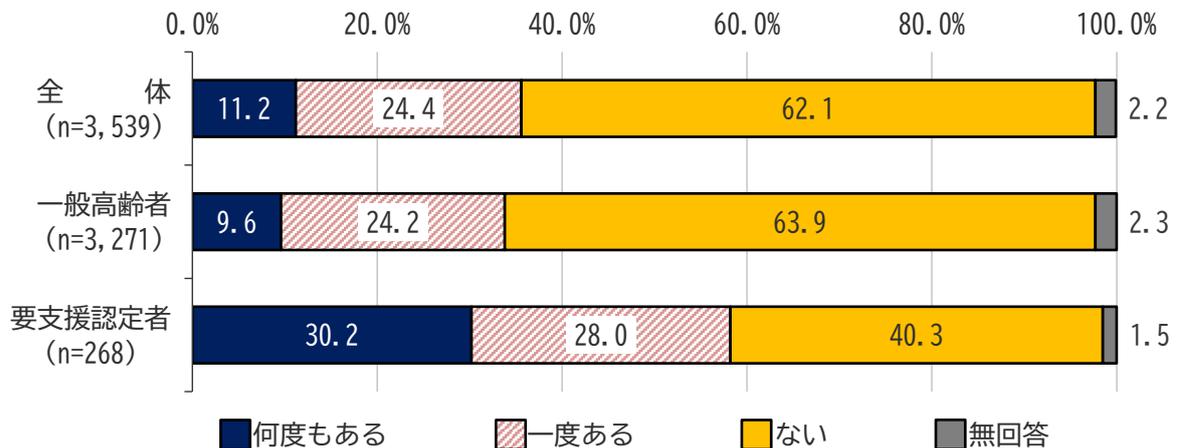


問8 過去1年間に転んだ経験がありますか（一つを選択）

一般高齢者では、「ない」の割合が63.9%と最も高く、次いで「一度ある」の割合が24.2%、「何でもある」の割合が9.6%となっています。

要支援認定者では、「ない」の割合が40.3%と最も高く、次いで「何でもある」の割合が30.2%、「一度ある」の割合が28.0%となっています。

「何でもある」と「1度ある」を合わせた『過去1年間に転んだ経験がある人』の割合は、一般高齢者で33.8%、要支援認定者で58.2%となっており、24.4ポイントの差となっています。

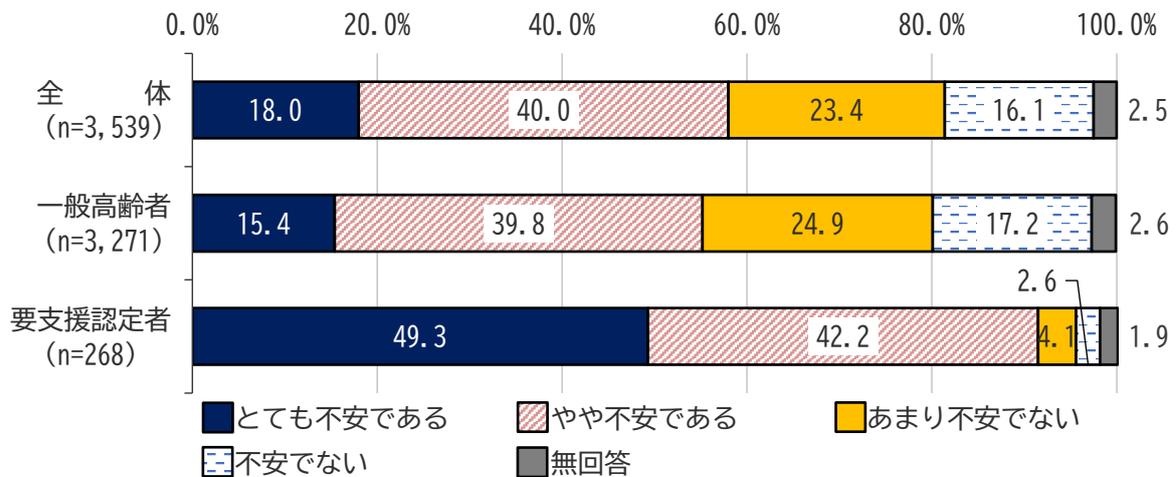


問9 転倒に対する不安は大きいですか（一つを選択）

一般高齢者では、「やや不安である」の割合が 39.8%と最も高く、次いで「あまり不安でない」の割合が 24.9%、「不安でない」の割合が 17.2%となっています。

要支援認定者では、「とても不安である」の割合が 49.3%と最も高く、次いで「やや不安である」の割合が 42.2%、「あまり不安でない」の割合が 4.1%となっています。

「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた『転倒に対して不安な人』の割合は、一般高齢者で 55.2%、要支援認定者で 91.5%となっており、36.3ポイントの差となっています。

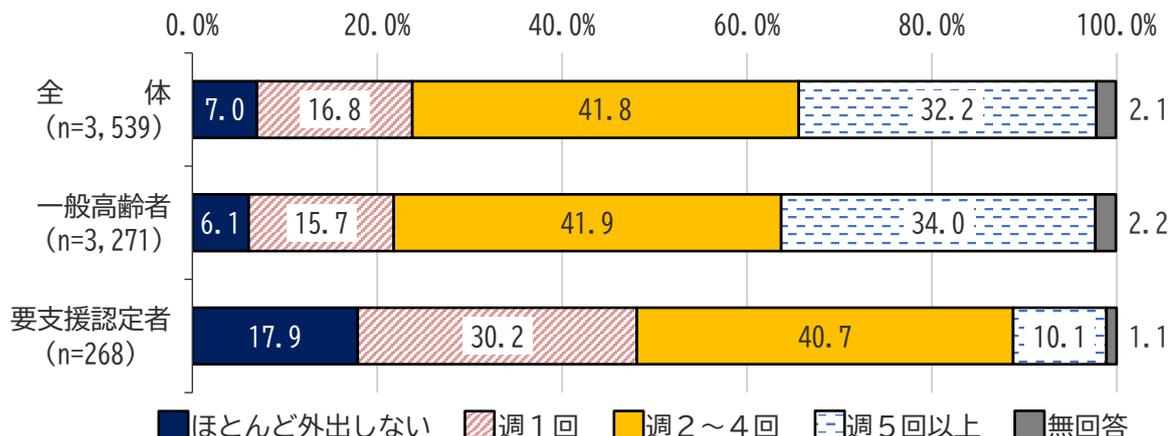


問10 週に1回以上は外出していますか（一つを選択）

一般高齢者では、「週2～4回」の割合が 41.9%と最も高く、次いで「週5回以上」の割合が 34.0%、「週1回」の割合が 15.7%となっています。

要支援認定者では、「週2～4回」の割合が 40.7%と最も高く、次いで「週1回」の割合が 30.2%、「ほとんど外出しない」の割合が 17.9%となっています。

「ほとんど外出しない」と「週1回」を合わせた『閉じこもり傾向のある人』の割合は、一般高齢者で 21.8%、要支援認定者で 48.1%となっており、26.3ポイントの差となっています。

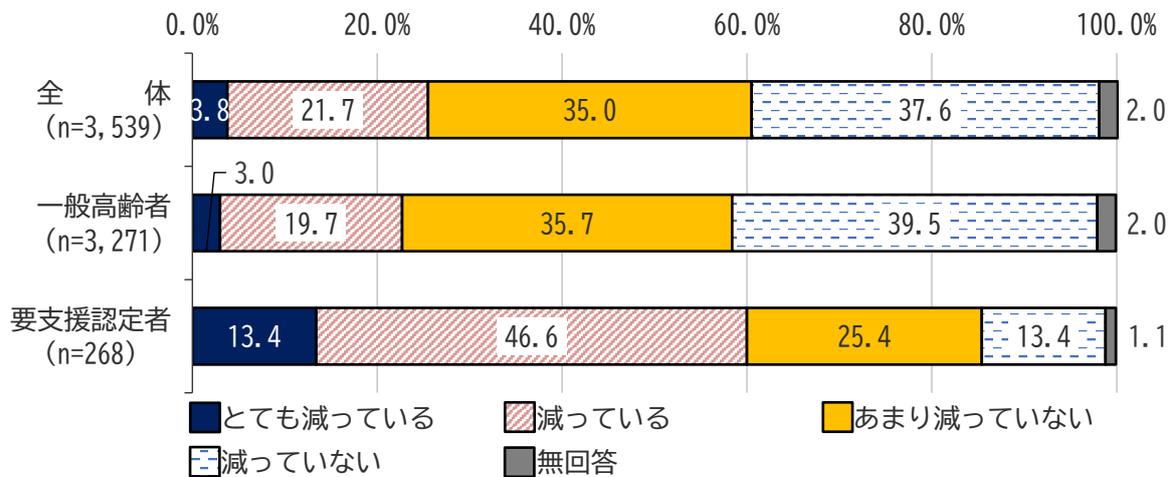


問 11 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（一つを選択）

一般高齢者では、「減っていない」の割合が 39.5%と最も高く、次いで「あまり減っていない」の割合が 35.7%、「減っている」の割合が 19.7%となっています。

要支援認定者では、「減っている」の割合が 46.6%と最も高く、次いで「あまり減っていない」の割合が 25.4%、「とても減っている」の割合が 13.4%となっています。

「とても減っている」と「減っている」を合わせた『外出の回数が減っている人』の割合は、一般高齢者で 22.7%、要支援認定者で 60.0%となっており、37.3ポイントの差となっています。

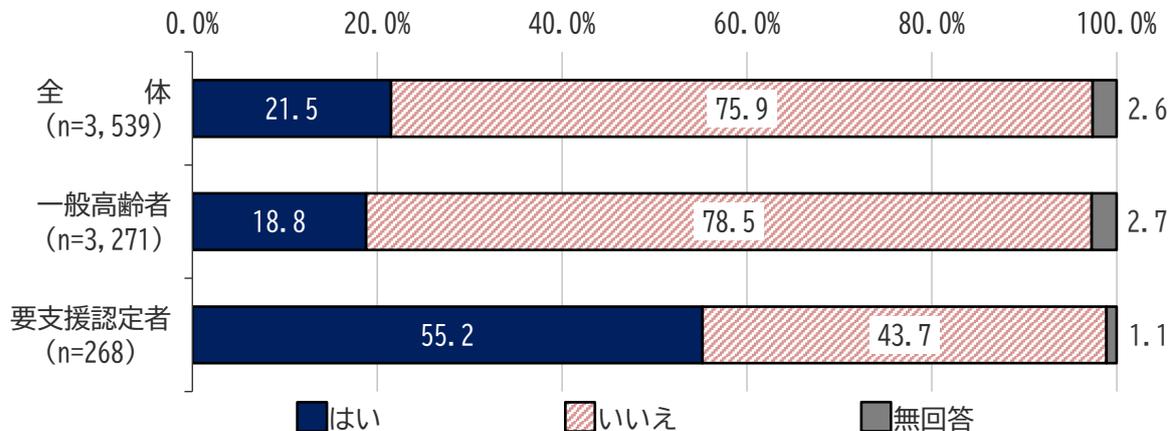


問 12 外出を控えていますか（一つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が 18.8%、「いいえ」の割合が 78.5%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が 55.2%、「いいえ」の割合が 43.7%となっています。

「はい」の割合は、一般高齢者で 18.8%、要支援認定者で 55.2%となっており、36.4ポイントの差となっています。



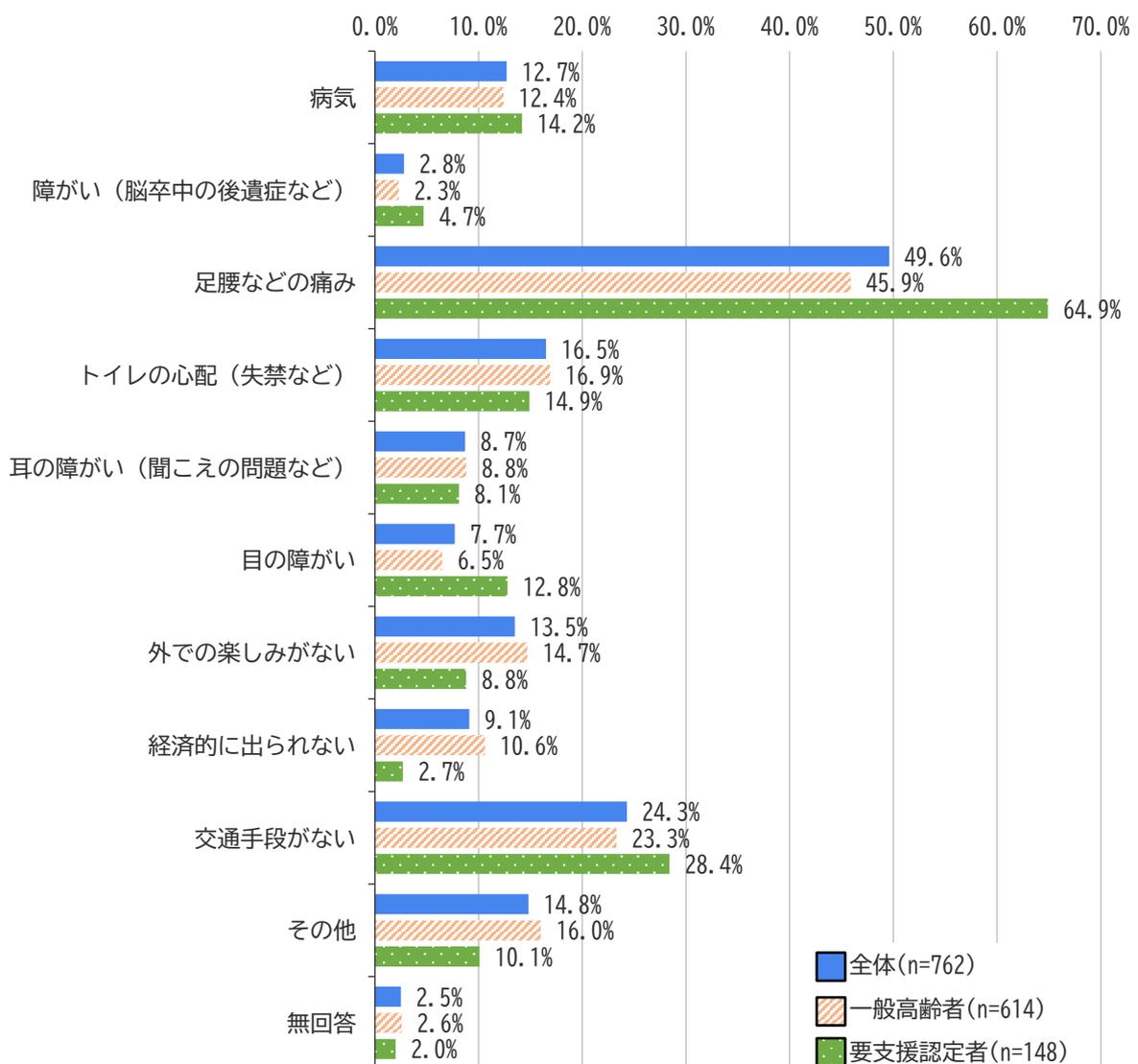
<問12で「はい」と回答した方にお伺いします>

問13-1 外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも）

一般高齢者では、「足腰などの痛み」の割合が45.9%と最も高く、次いで「交通手段がない」の割合が23.3%、「トイレの心配（失禁など）」の割合が16.9%となっています。

要支援認定者では、「足腰などの痛み」の割合が64.9%と最も高く、次いで「交通手段がない」の割合が28.4%、「トイレの心配（失禁など）」の割合が14.9%となっています。

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「経済的に出られない」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「足腰などの痛み」「目の障がい」「交通手段がない」の割合が高くなっています。

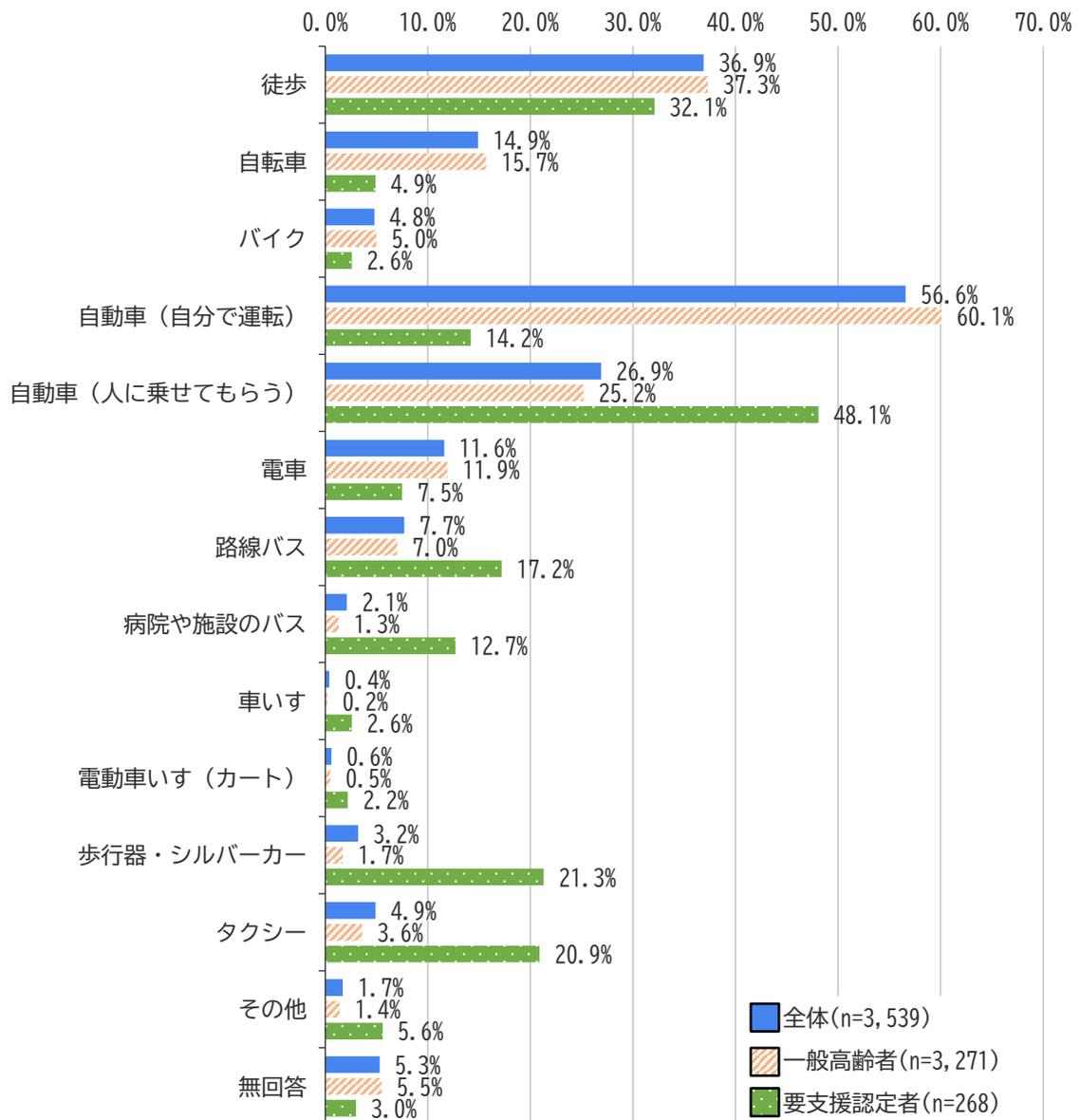


問 13 外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）

一般高齢者では、「自動車（自分で運転）」の割合が 60.1%と最も高く、次いで「徒歩」の割合が 37.3%、「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が 25.2%となっています。

要支援認定者では、「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が 48.1%と最も高く、次いで「徒歩」の割合が 32.1%、「歩行器・シルバーカー」の割合が 21.3%となっています。

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「徒歩」「自転車」「自動車（自分で運転）」「電車」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「自動車（人に乗せてもらう）」「路線バス」「病院や施設のバス」「歩行器・シルバーカー」「タクシー」の割合が高くなっています。

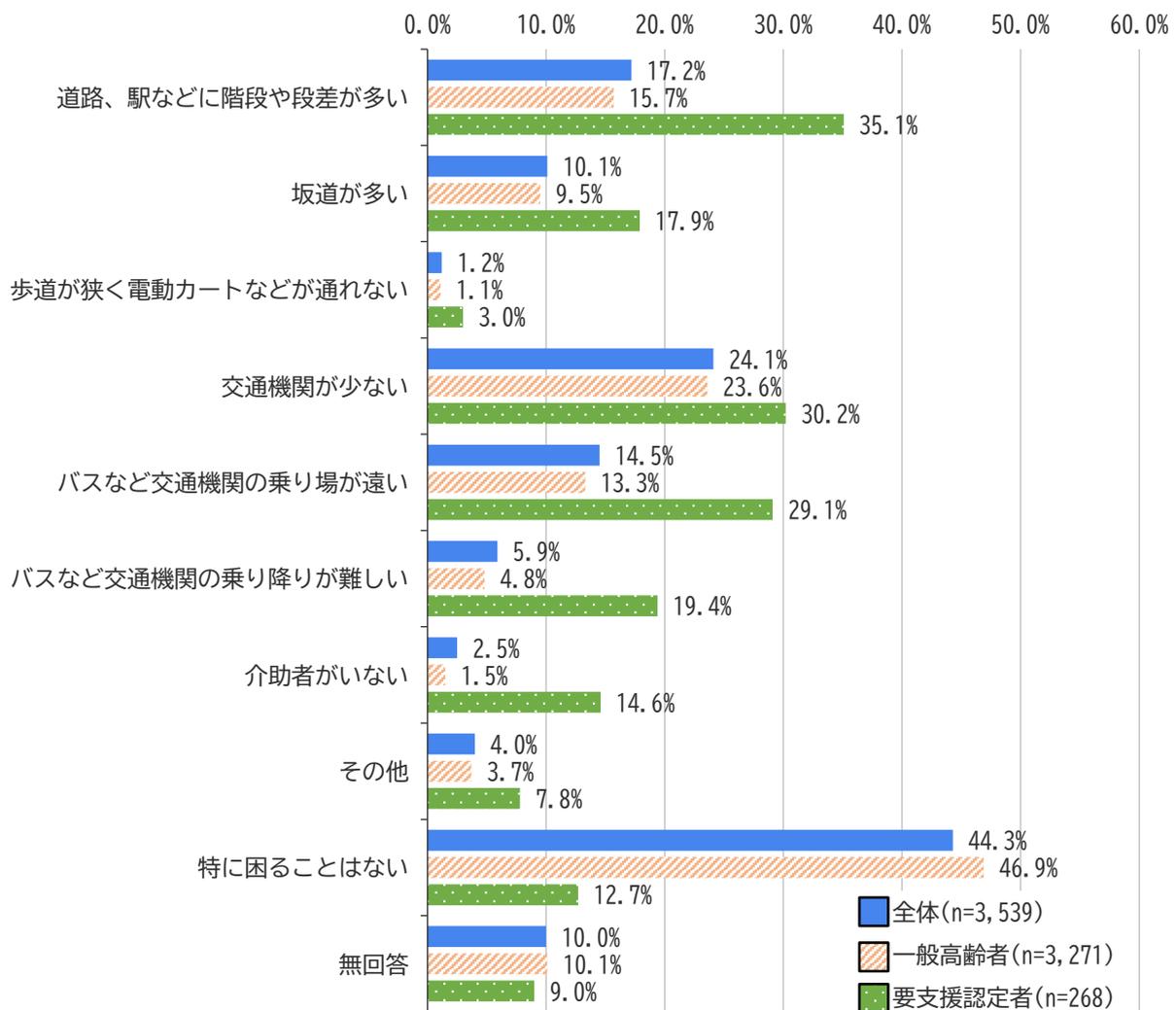


問 14 外出する際に困ることは何ですか（いくつでも）

一般高齢者では、「特に困ることはない」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「交通機関が少ない」の割合が 23.6%、「道路、駅などに階段や段差が多い」の割合が 15.7%となっています。

要支援認定者では、「道路、駅などに階段や段差が多い」の割合が 35.1%と最も高く、次いで「交通機関が少ない」の割合が 30.2%、「バスなど交通機関の乗り場が遠い」の割合が 29.1%となっています。

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「特に困ることはない」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「道路、駅などに階段や段差が多い」「坂道が多い」「交通機関が少ない」「バスなど交通機関の乗り場が遠い」「バスなど交通機関の乗り降りが難しい」「介助者がいない」の割合が高くなっています。



(3) 食べることについて

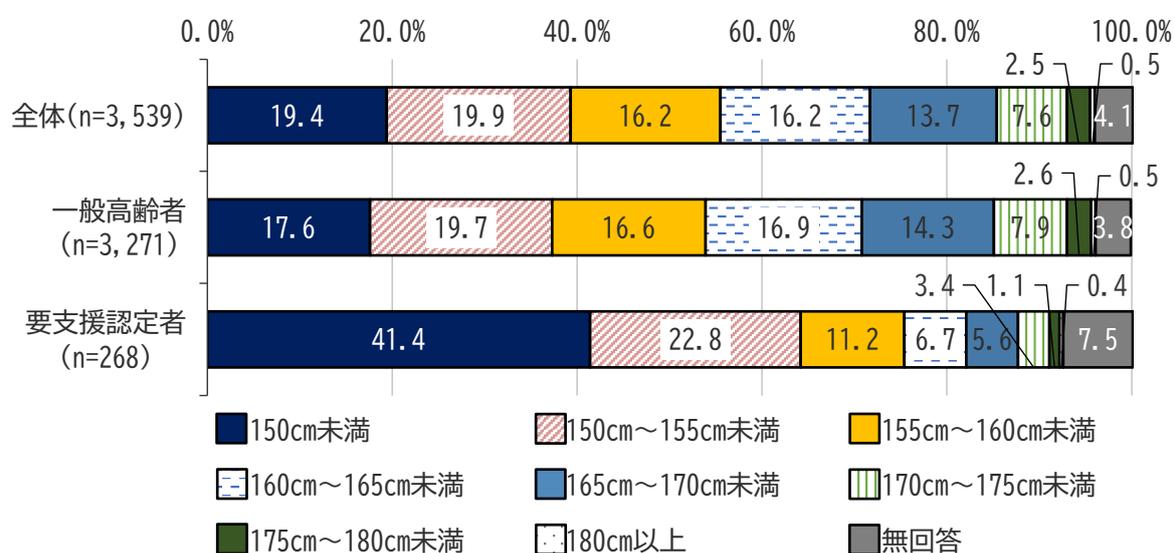
問 15 身長・体重をご記入ください

①身長

一般高齢者では、「150cm～155cm 未満」の割合が 19.9%と最も高く、次いで「150cm 未満」の割合が 19.4%、「155cm～160cm 未満」の割合が 16.2%となっています。

要支援認定者では、「150cm 未満」の割合が 41.4%と最も高く、次いで「150cm～155cm 未満」の割合が 22.8%、「155cm～160cm 未満」の割合が 11.2%となっています。

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「155cm～160cm 未満」「160cm～165cm 未満」「165cm～170cm 未満」「170cm～175cm 未満」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「150cm 未満」の割合が高くなっています。



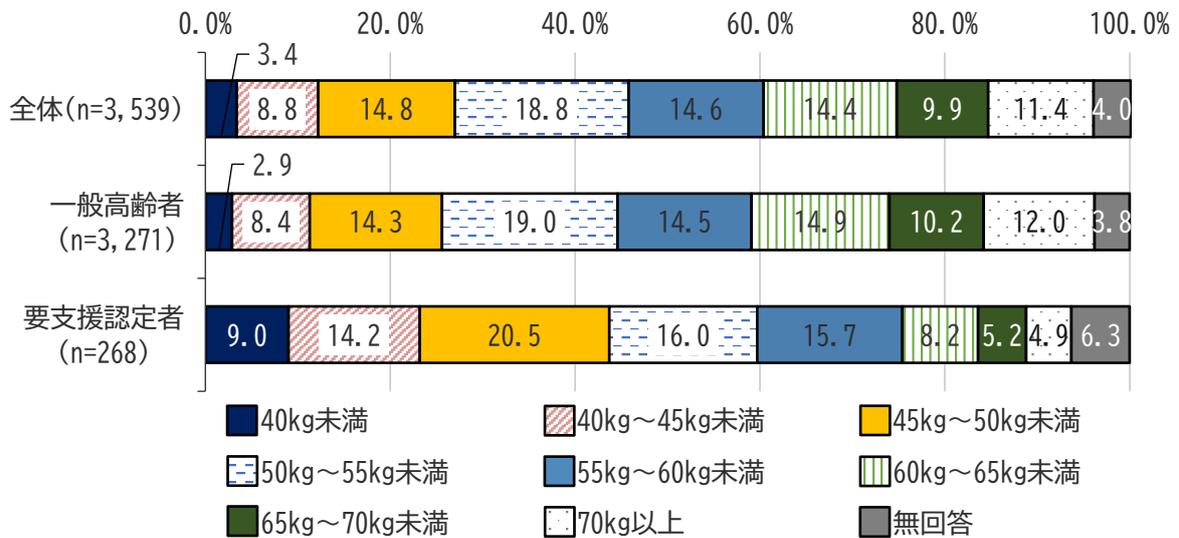
問 15 身長・体重をご記入ください

②体重

一般高齢者では、「50kg～55kg 未満」の割合が 19.0%と最も高く、次いで「60kg～65kg 未満」の割合が 14.9%、「55kg～60kg 未満」の割合が 14.5%となっています。

要支援認定者では、「45kg～50kg 未満」の割合が 20.5%と最も高く、次いで「50kg～55kg 未満」の割合が 16.0%、「55kg～60kg 未満」の割合が 15.7%となっています。

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「70kg 以上」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「40kg 未満」「40kg～45kg 未満」「45kg～50kg 未満」の割合が高くなっています。

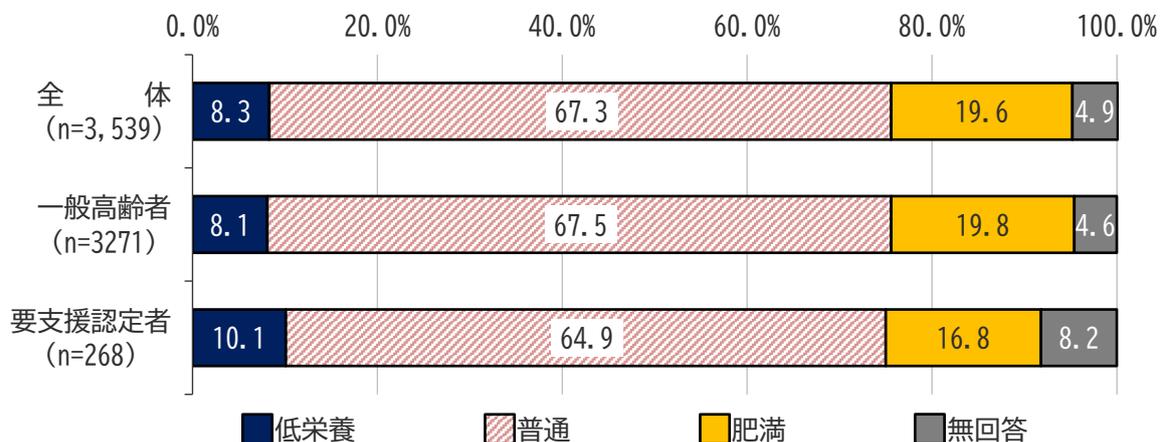


問 15 身長・体重をご記入ください

③BMI

一般高齢者では、「標準」の割合が 67.3%と最も高く、次いで「肥満」の割合が 19.6%、「低栄養」の割合が 8.1%となっています。

要支援認定者では、「標準」の割合が 64.9%と最も高く、次いで「肥満」の割合が 16.8%、「低栄養」の割合が 10.1%となっています。

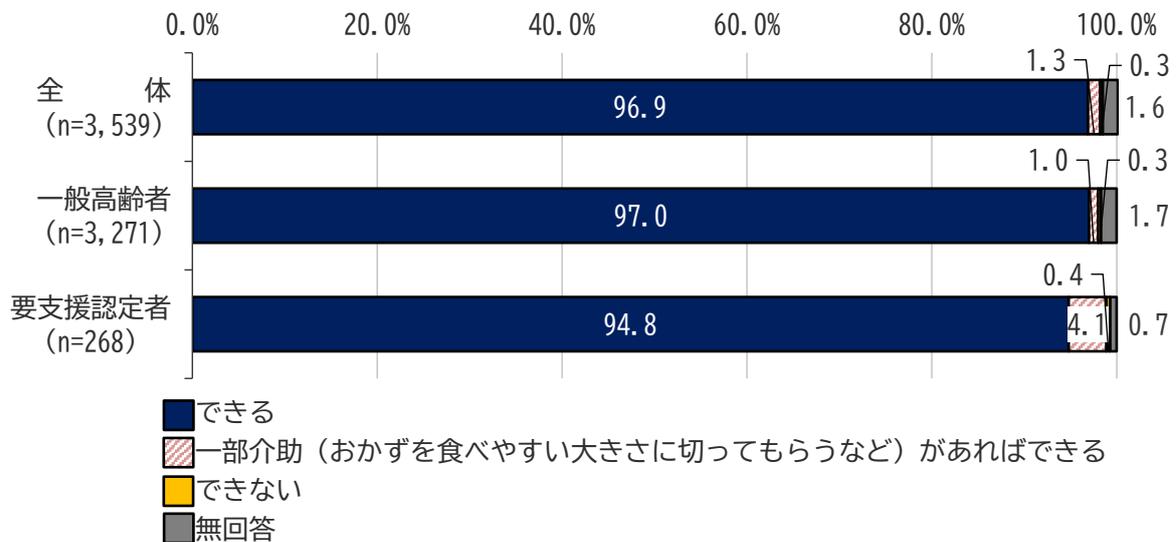


問 16 食事は自分で食べられますか（一つを選択）

一般高齢者では、「できる」の割合が 97.0%と最も高く、次いで「一部介助（おかずを食べやすい大きさに切ってもらうなど）があればできる」の割合が 1.0%、「できない」の割合が 0.3%となっています。

要支援認定者では、「できる」の割合が 94.8%と最も高く、次いで「一部介助（おかずを食べやすい大きさに切ってもらうなど）があればできる」の割合が 4.1%、「できない」の割合が 0.4%となっています。

認定の有無別でみると、大きな差異はみられません。

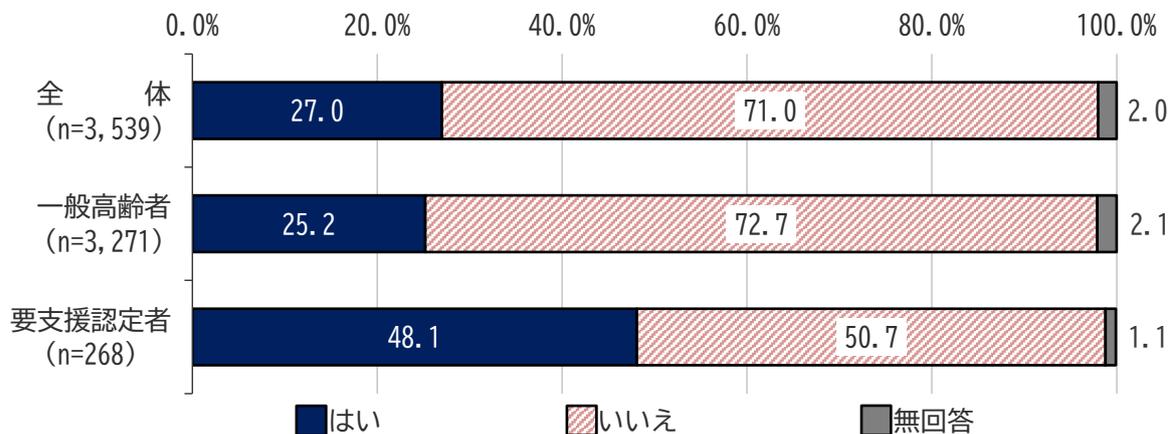


問 17 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（一つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が 25.2%、「いいえ」の割合が 72.7%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が 48.1%、「いいえ」の割合が 50.7%となっています。

「はい」の割合は、一般高齢者で 25.2%、要支援認定者で 48.1%となっており、22.9 ポイントの差となっています。

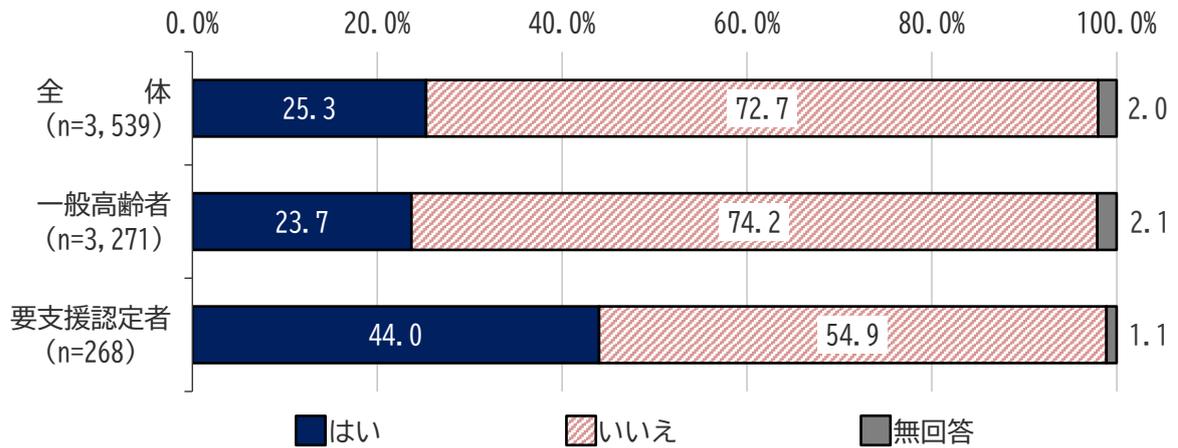


問 18 お茶や汁物等でむせることがありますか（一つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が 23.7%、「いいえ」の割合が 74.2%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が 44.0%、「いいえ」の割合が 54.9%となっています。

「はい」の割合は、一般高齢者で 23.7%、要支援認定者で 44.0%となっており、20.3 ポイントの差となっています。

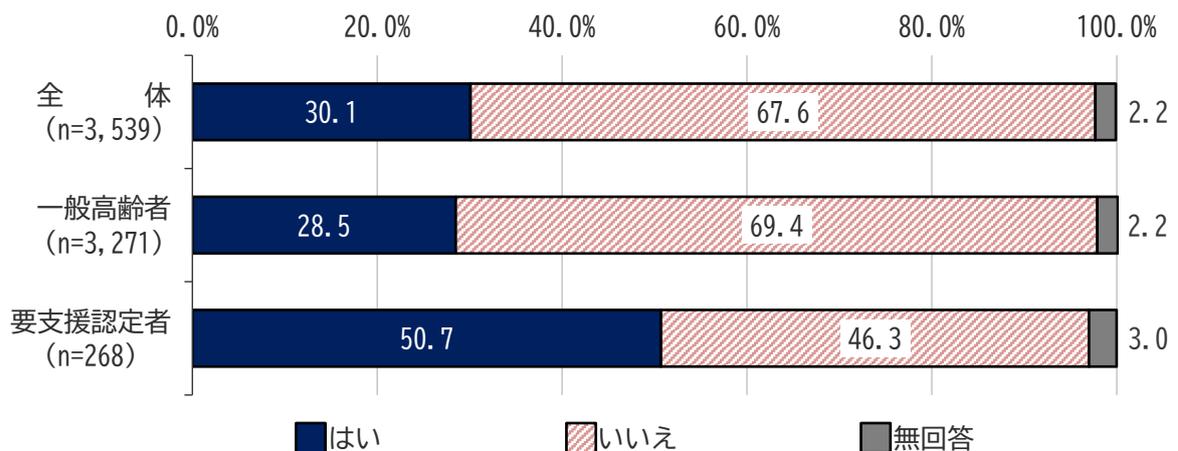


問 19 口の渇きが気になりますか（一つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が 28.5%、「いいえ」の割合が 69.4%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が 50.7%、「いいえ」の割合が 46.3%となっています。

「はい」の割合は、一般高齢者で 28.5%、要支援認定者で 50.7%となっており、22.2 ポイントの差となっています。

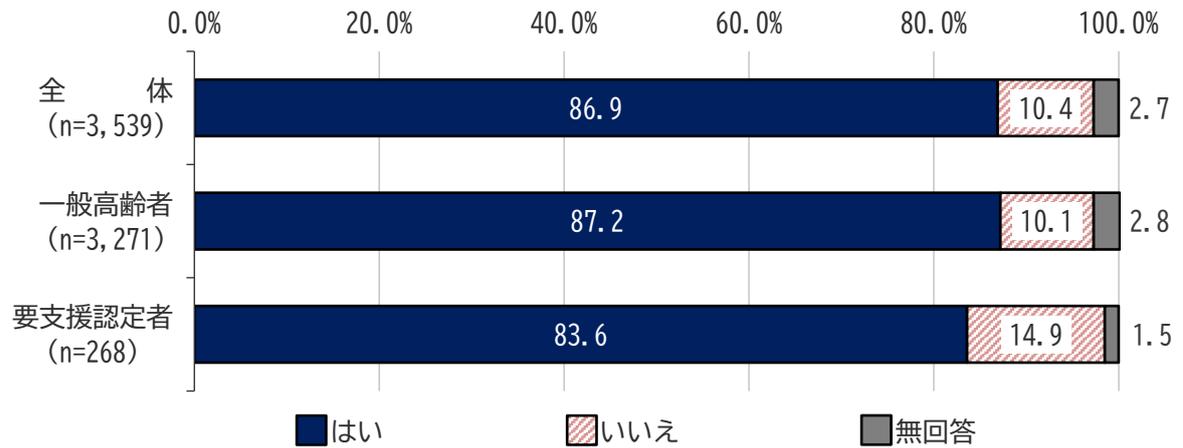


問 20 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか（一つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が 87.2%、「いいえ」の割合が 10.1%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が 83.6%、「いいえ」の割合が 14.9%となっています。

「いいえ」の割合は、一般高齢者で 10.1%、要支援認定者で 14.9%となっており、4.8ポイントの差となっています。



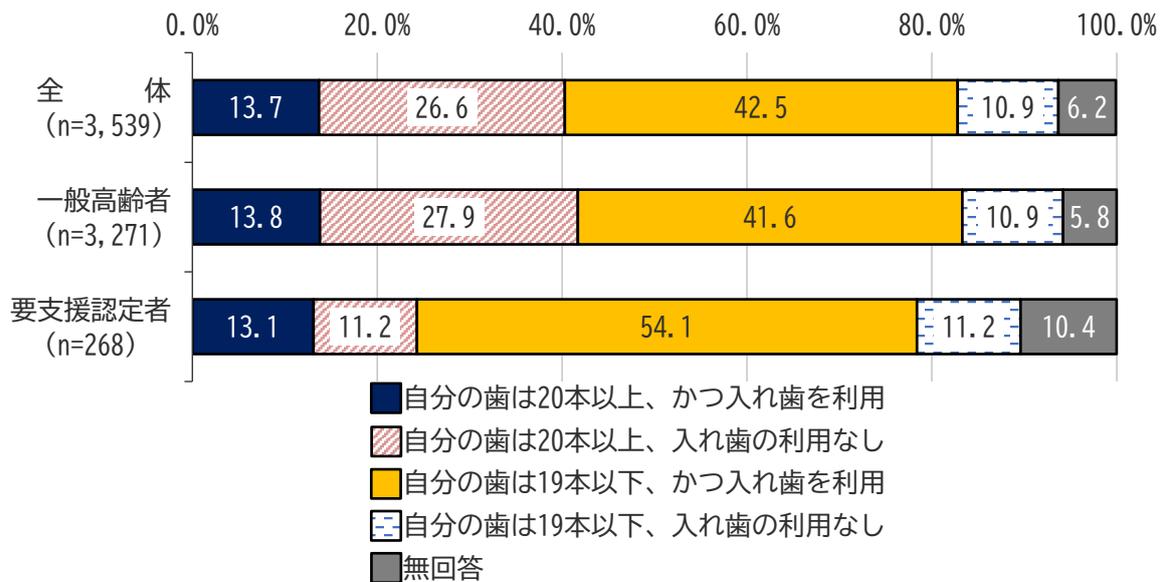
問 21 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です。)(一つを選択)

一般高齢者では、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が 41.6%と最も高く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」の割合が 27.9%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が 13.8%となっています。

要支援認定者では、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が 54.1%と最も高く、次いで「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が 13.1%、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」の割合が 11.2%となっています。

「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」を合わせた『自分の歯は 20 本以上の人』の割合は、一般高齢者で 41.7%、要支援認定者で 24.3%となっており、17.4 ポイントの差となっています。また、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」を合わせた『入れ歯を利用している人』の割合は、一般高齢者で 55.4%、要支援認定者で 67.2%となっており、11.8 ポイントの差となっています。

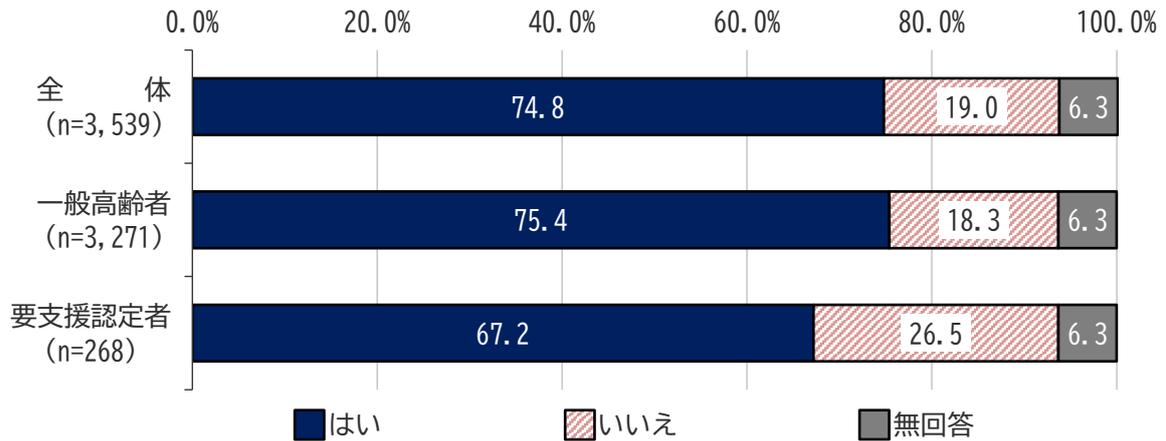


問 21-1 噛み合わせは良いですか（一つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が 75.4%、「いいえ」の割合が 18.3%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が 67.2%、「いいえ」の割合が 26.5%となっています。

「いいえ」の割合は、一般高齢者で 18.3%、要支援認定者で 26.5%となっており、8.2ポイントの差となっています。



<問 21 で「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した方にお伺いします>

問 21-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか（一つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が 84.6%、「いいえ」の割合が 7.3%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が 87.8%、「いいえ」の割合が 6.7%となっています。

「いいえ」の割合は、一般高齢者で 7.3%、要支援認定者で 6.7%となっており、0.6ポイントの差となっています。



問 22 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか（一つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が11.4%、「いいえ」の割合が82.8%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が17.5%、「いいえ」の割合が72.4%となっています。

「はい」の割合は、一般高齢者で11.4%、要支援認定者で17.5%となっており、6.1ポイントの差となっています。

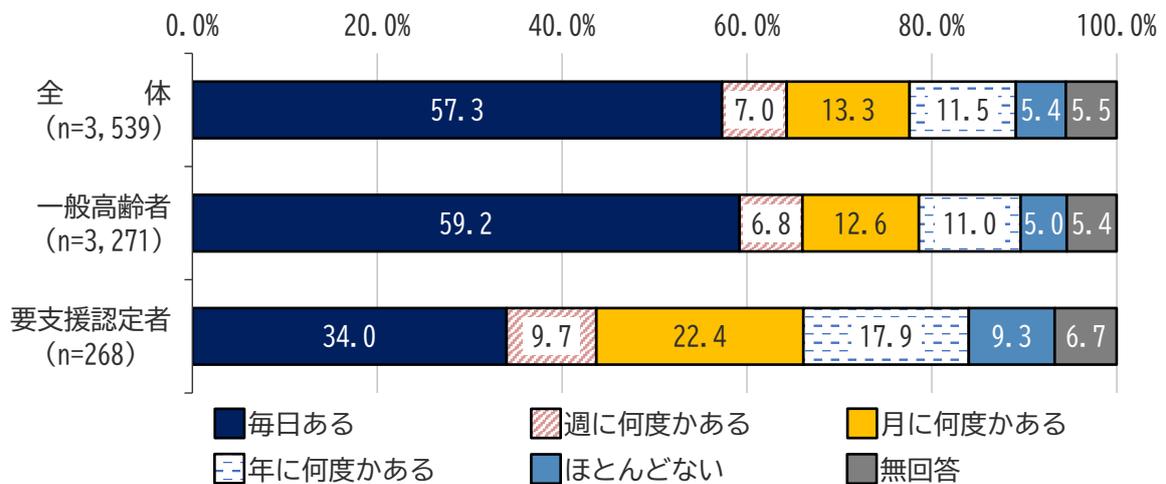


問 23 どなたかと食事をとる機会がありますか（一つを選択）

一般高齢者では、「毎日ある」の割合が59.2%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が12.6%、「年に何度かある」の割合が11.0%となっています。

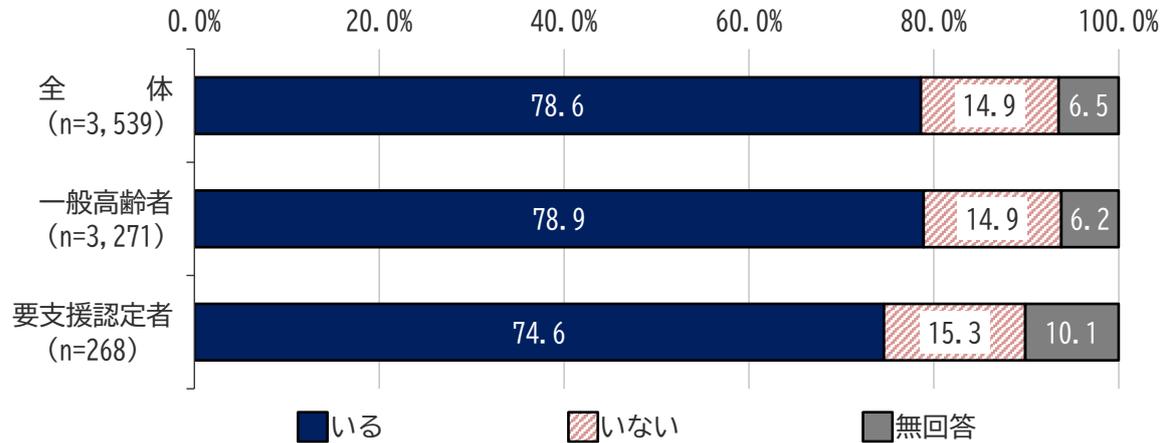
要支援認定者では、「毎日ある」の割合が34.0%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が22.4%、「年に何度かある」の割合が17.9%となっています。

「毎日ある」の割合は、一般高齢者で59.2%、要支援認定者で34.0%となっており、25.2ポイントの差となっています。また、「ほとんどない」の割合は、一般高齢者で5.0%、要支援認定者で9.3%となっており、4.3ポイントの差となっています。



問 24 かかりつけの歯科医はいますか（一つを選択）

一般高齢者では、「いる」の割合が78.9%、「いない」の割合が14.9%となっています。
要支援認定者では、「いる」の割合が74.6%、「いない」の割合が15.3%となっています。
認定の有無別で見ると、大きな差異はみられません。



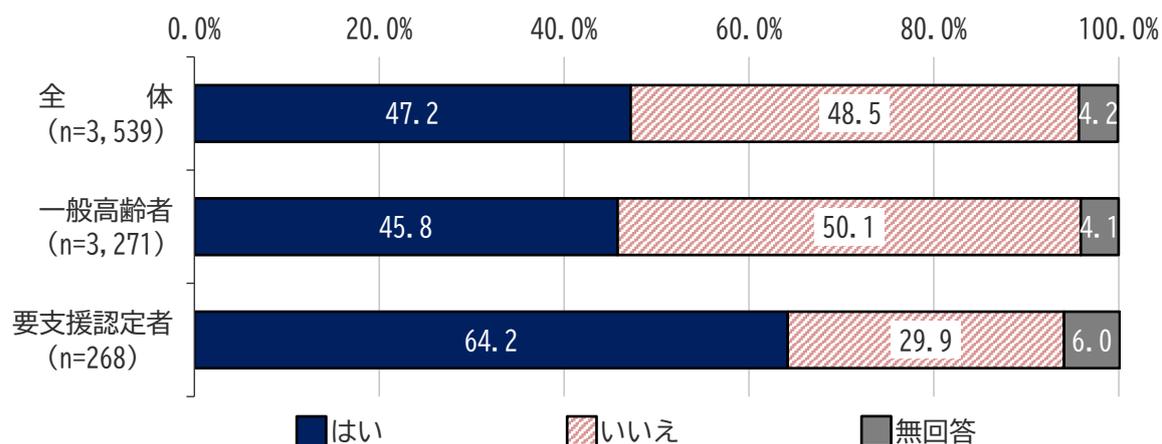
(4) 毎日の生活について

問 25 物忘れが多いと感じますか（一つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が 45.8%、「いいえ」の割合が 50.1%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が 64.2%、「いいえ」の割合が 29.9%となっています。

「はい」の割合は、一般高齢者で 45.8%、要支援認定者で 64.2%となっており、6.1 ポイントの差となっています。

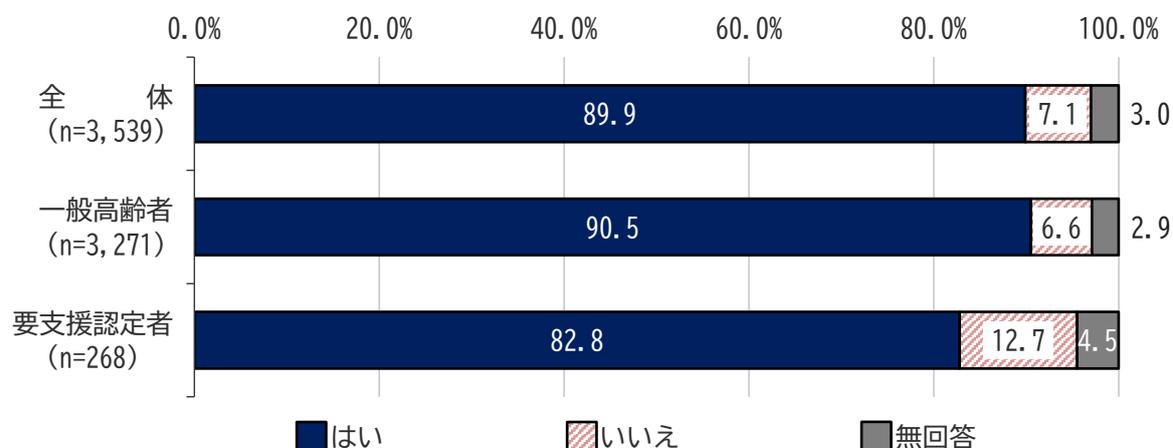


問 26 自分で電話番号を調べて、電話をかけていますか（一つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が 90.5%、「いいえ」の割合が 6.6%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が 82.8%、「いいえ」の割合が 12.7%となっています。

「いいえ」の割合は、一般高齢者で 6.6%、要支援認定者で 12.7%となっており、6.1 ポイントの差となっています。

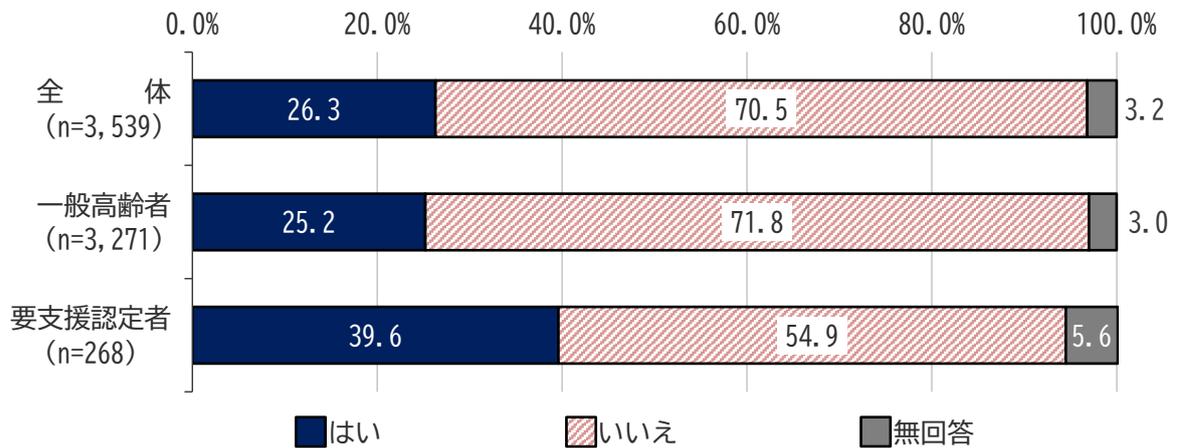


問 27 今日が何月何日かわからない時がありますか（一つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が 25.2%、「いいえ」の割合が 71.8%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が 39.6%、「いいえ」の割合が 54.9%となっています。

「はい」の割合は、一般高齢者で 25.2%、要支援認定者で 39.6%となっており、14.4 ポイントの差となっています。

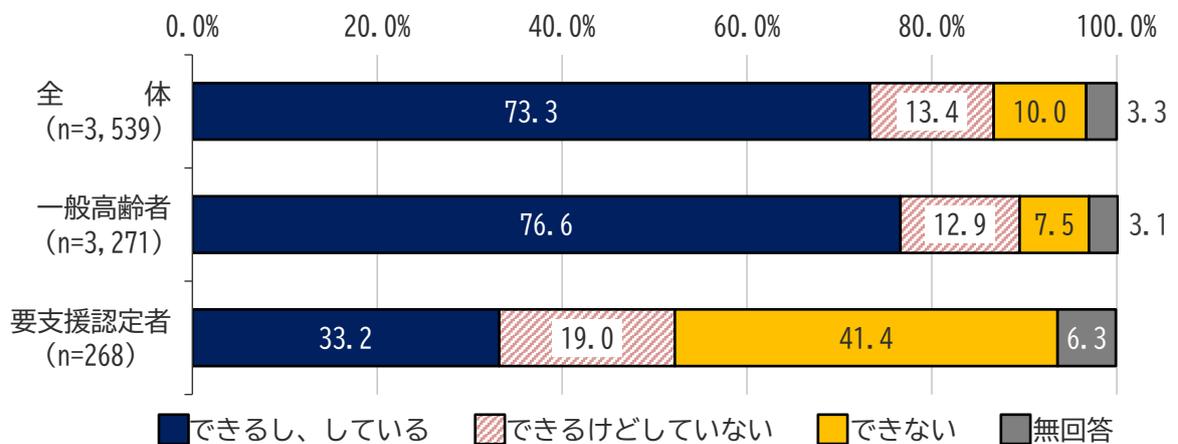


問 28 自家用車またはバスや電車を使って1人で外出していますか（一つを選択）

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が 76.6%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 12.9%、「できない」の割合が 7.5%となっています。

要支援認定者では、「できない」の割合が 41.4%と最も高く、次いで「できるし、している」の割合が 33.2%、「できるけどしていない」の割合が 19.0%となっています。

「できない」の割合は、一般高齢者で 10.0%、要支援認定者で 41.4%となっており、31.4 ポイントの差となっています。

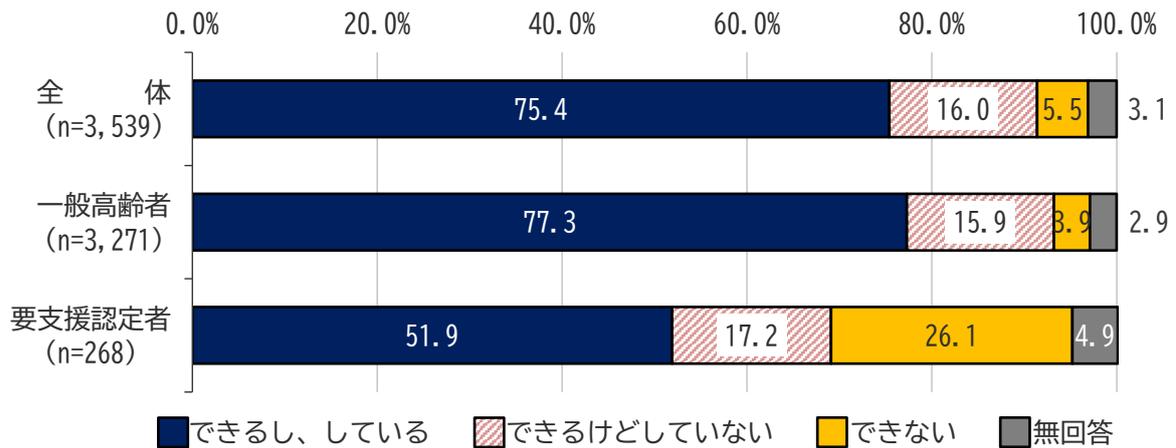


問 29 自分で食品・日用品の買い物をしていますか（一つを選択）

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が 77.3%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 15.9%、「できない」の割合が 3.9%となっています。

要支援認定者では、「できるし、している」の割合が 51.9%と最も高く、次いで「できない」の割合が 26.1%、「できるけどしていない」の割合が 17.2%となっています。

「できない」の割合は、一般高齢者で 3.9%、要支援認定者で 26.1%となっており、22.2ポイントの差となっています。

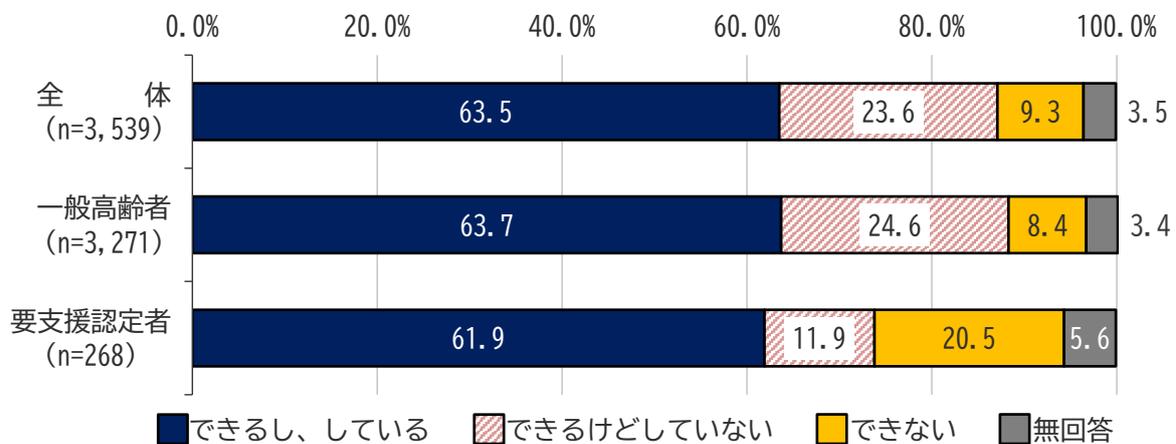


問 30 自分で食事の用意をしていますか（一つを選択）

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が 63.7%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 24.6%、「できない」の割合が 8.4%となっています。

要支援認定者では、「できるし、している」の割合が 61.9%と最も高く、次いで「できない」の割合が 20.5%、「できるけどしていない」の割合が 11.9%となっています。

「できない」の割合は、一般高齢者で 8.4%、要支援認定者で 20.5%となっており、12.1ポイントの差となっています。

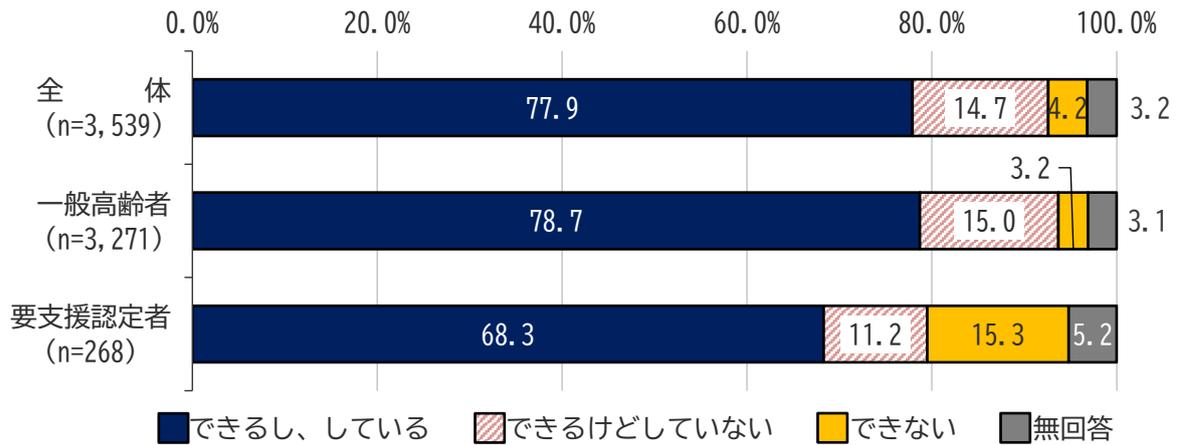


問 31 自分で請求書の支払いをしていますか（一つを選択）

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が 78.7%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 15.0%、「できない」の割合が 3.2%となっています。

要支援認定者では、「できるし、している」の割合が 68.3%と最も高く、次いで「できない」の割合が 15.3%、「できるけどしていない」の割合が 11.2%となっています。

「できない」の割合は、一般高齢者で 3.2%、要支援認定者で 15.3%となっており、12.1ポイントの差となっています。

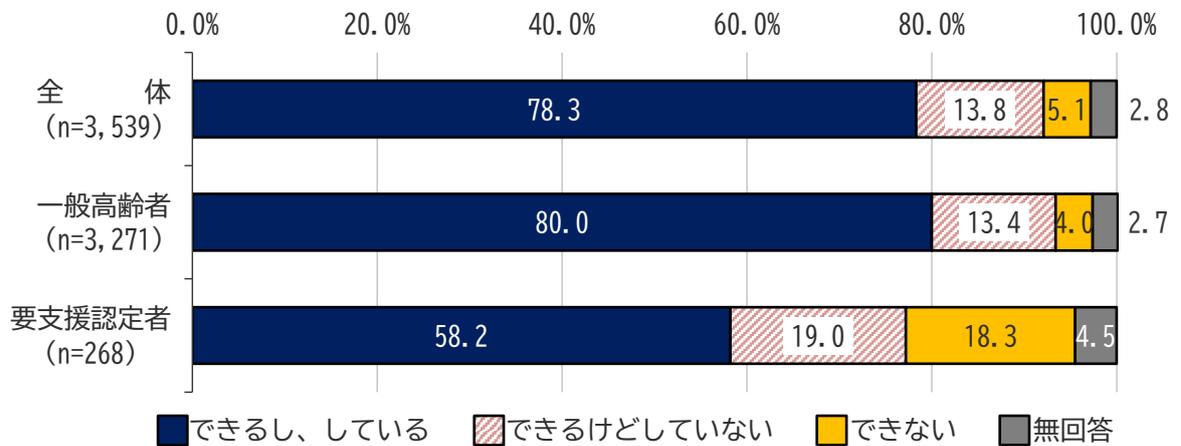


問 32 自分で預貯金の出し入れをしていますか（一つを選択）

一般高齢者では、「できるし、している」の割合が 80.0%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 13.4%、「できない」の割合が 4.0%となっています。

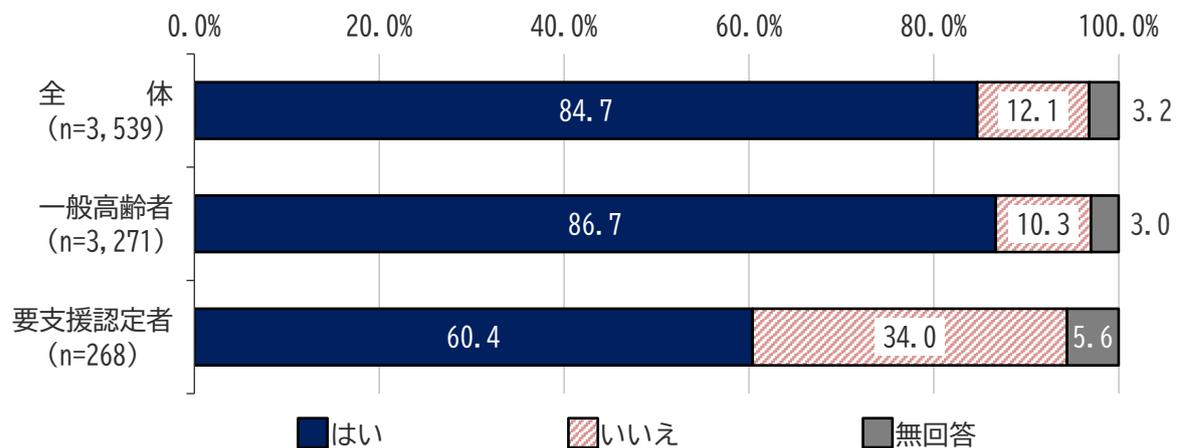
要支援認定者では、「できるし、している」の割合が 58.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 19.0%、「できない」の割合が 18.3%となっています。

「できない」の割合は、一般高齢者で 4.0%、要支援認定者で 18.3%となっており、14.3ポイントの差となっています。



問 33 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（一つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が 86.7%、「いいえ」の割合が 10.3%となっています。
 要支援認定者では、「はい」の割合が 60.4%、「いいえ」の割合が 34.0%となっています。
 「いいえ」の割合は、一般高齢者で 10.3%、要支援認定者で 34.0%となっており、23.7
 ポイントの差となっています。



問 34 新聞を読んでいますか（一つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が 83.6%、「いいえ」の割合が 13.7%となっています。
 要支援認定者では、「はい」の割合が 72.4%、「いいえ」の割合が 23.1%となっています。
 「いいえ」の割合は、一般高齢者で 13.7%、要支援認定者で 23.1%となっており、9.4
 ポイントの差となっています。

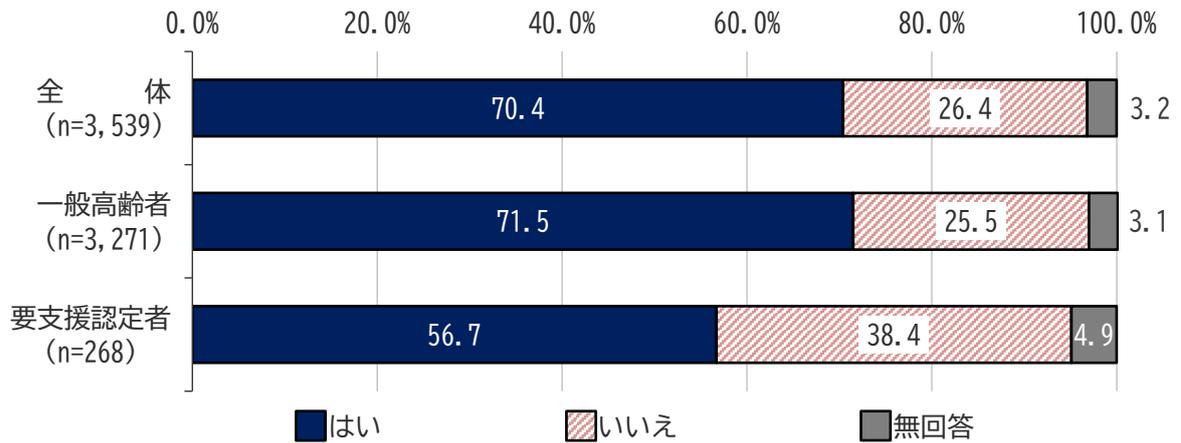


問 35 本や雑誌を読んでいますか（一つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が71.5%、「いいえ」の割合が25.5%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が56.7%、「いいえ」の割合が38.4%となっています。

「いいえ」の割合は、一般高齢者で25.5%、要支援認定者で38.4%となっており、12.9ポイントの差となっています。

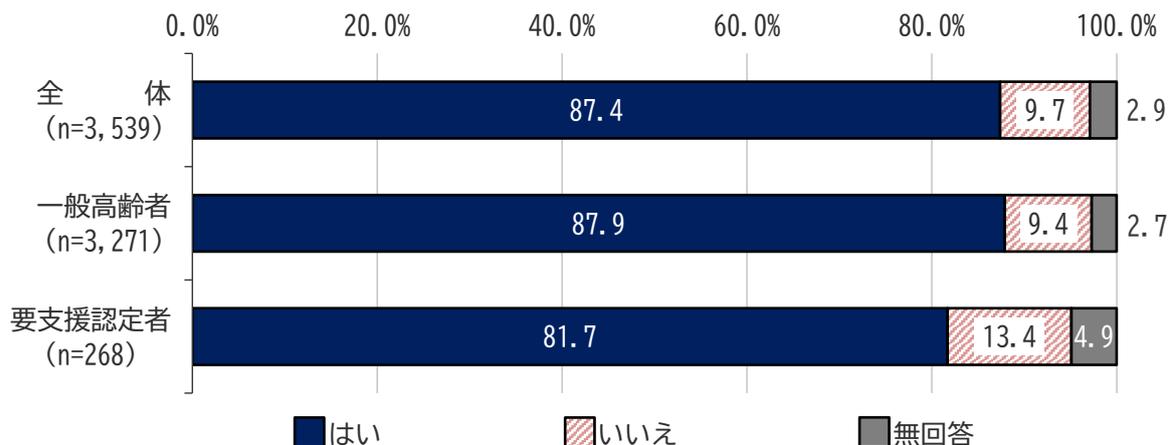


問 36 健康についての記事や番組に関心がありますか（一つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が87.9%、「いいえ」の割合が9.4%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が81.7%、「いいえ」の割合が13.4%となっています。

「いいえ」の割合は、一般高齢者で9.4%、要支援認定者で13.4%となっており、4.0ポイントの差となっています。

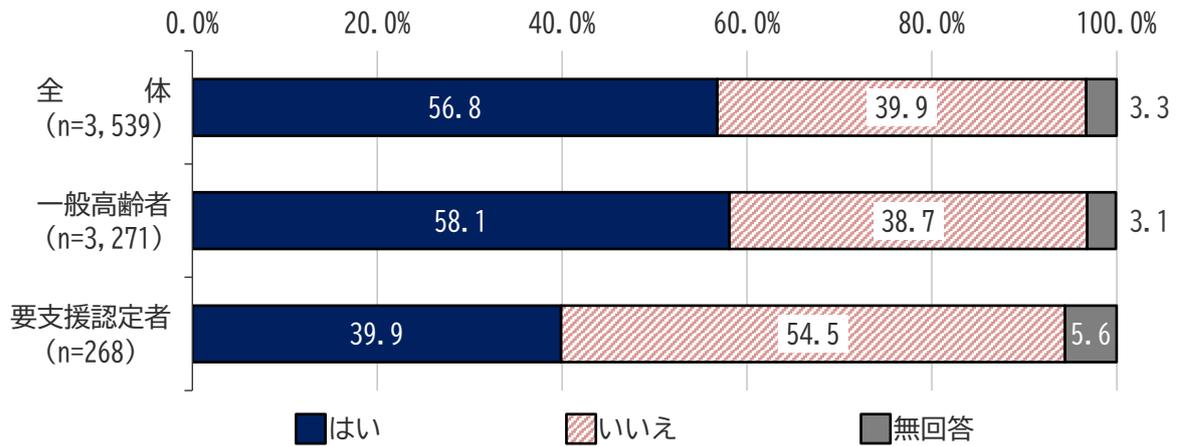


問 37 友人の家を訪ねていますか（一つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が 58.1%、「いいえ」の割合が 38.7%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が 39.9%、「いいえ」の割合が 54.5%となっています。

「いいえ」の割合は、一般高齢者で 38.7%、要支援認定者で 54.5%となっており、15.8ポイントの差となっています。

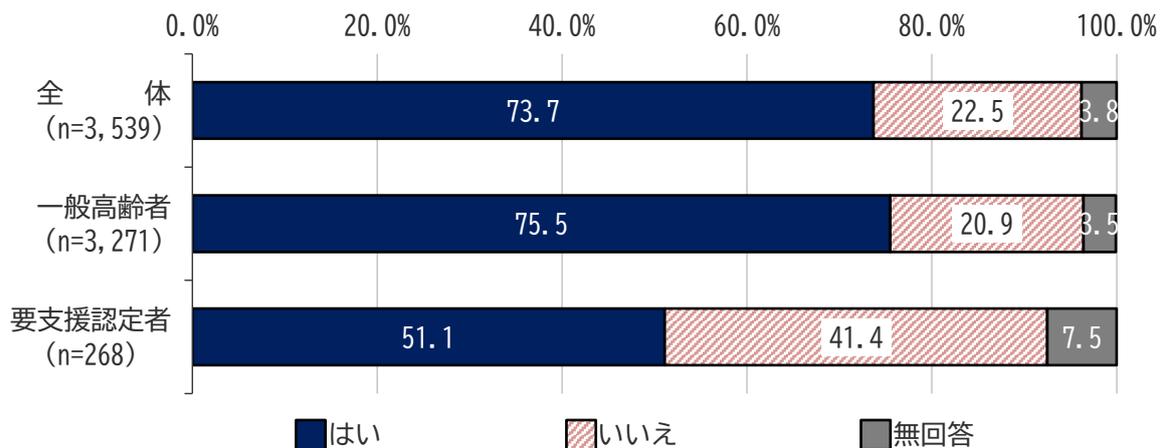


問 38 家族や友人の相談にのっていますか（一つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が 75.5%、「いいえ」の割合が 20.9%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が 51.1%、「いいえ」の割合が 41.4%となっています。

「いいえ」の割合は、一般高齢者で 20.9%、要支援認定者で 41.4%となっており、20.5ポイントの差となっています。

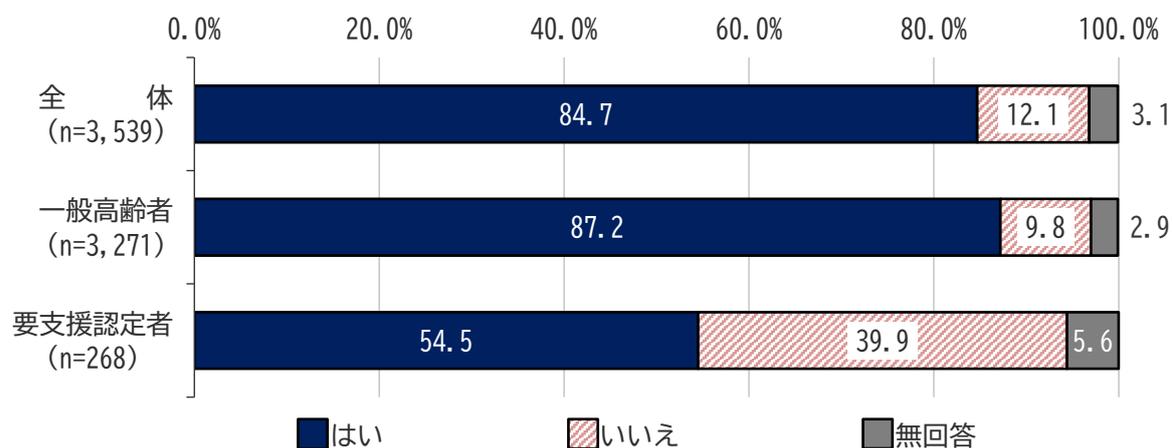


問 39 病人を見舞うことができますか（一つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が 87.2%、「いいえ」の割合が 9.8%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が 54.5%、「いいえ」の割合が 39.9%となっています。

「いいえ」の割合は、一般高齢者で 9.8%、要支援認定者で 39.9%となっており、30.1ポイントの差となっています。

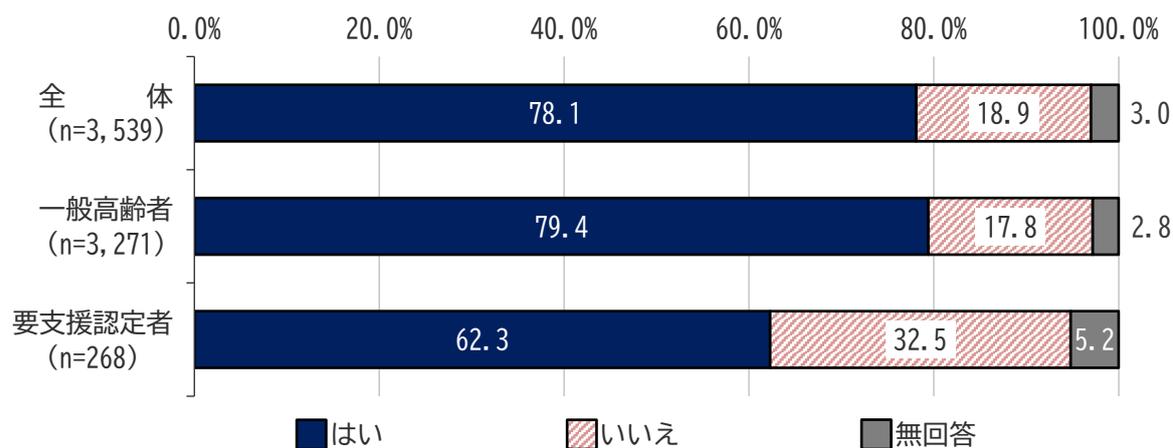


問 40 若い人に自分から話しかけることがありますか（一つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が 79.4%、「いいえ」の割合が 17.8%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が 62.3%、「いいえ」の割合が 32.5%となっています。

「いいえ」の割合は、一般高齢者で 17.8%、要支援認定者で 32.5%となっており、14.7ポイントの差となっています。

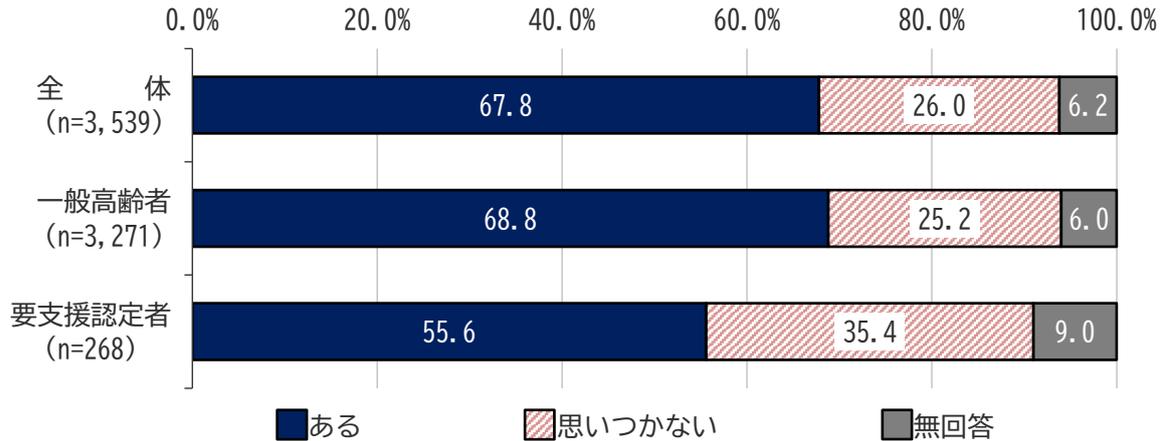


問 41 趣味はありますか（一つを選択）

一般高齢者では、「ある」の割合が 68.8%、「思いつかない」の割合が 25.2%となっています。

要支援認定者では、「ある」の割合が 55.6%、「思いつかない」の割合が 35.4%となっています。

「ある」の割合は、一般高齢者で 68.8%、要支援認定者で 55.6%となっており、13.2 ポイントの差となっています。

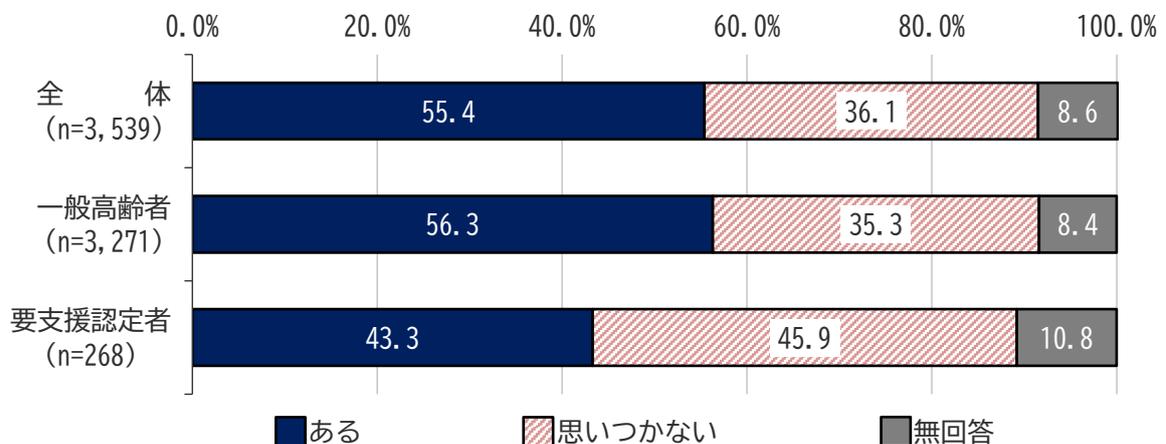


問 42 生きがいはありますか（一つを選択）

一般高齢者では、「ある」の割合が 56.3%、「思いつかない」の割合が 35.3%となっています。

要支援認定者では、「思いつかない」の割合が 45.9%、「ある」の割合が 43.3%となっています。

「ある」の割合は、一般高齢者で 56.3%、要支援認定者で 43.3%となっており、13.0 ポイントの差となっています。



(5) 地域での活動について

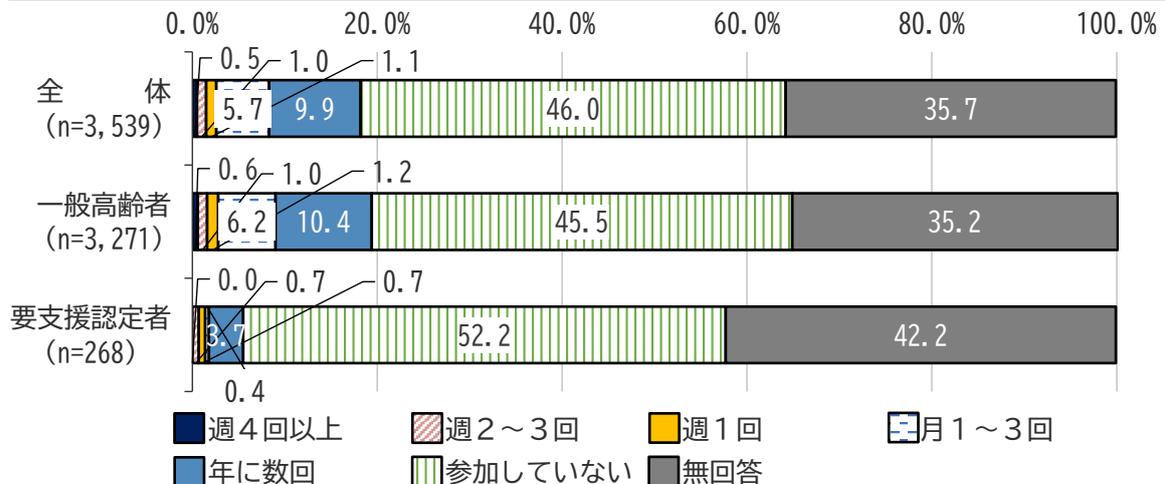
問 43 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

① ボランティアのグループ

一般高齢者では、「参加していない」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が 10.4%、「月1～3回」の割合が 6.2%となっています。

要支援認定者では、「参加していない」の割合が 52.2%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が 3.7%、「週2～3回」の割合が 0.7%となっています。

「参加していない」の割合は、一般高齢者で 45.5%、要支援認定者で 52.2%となっており、6.7ポイントの差となっています。



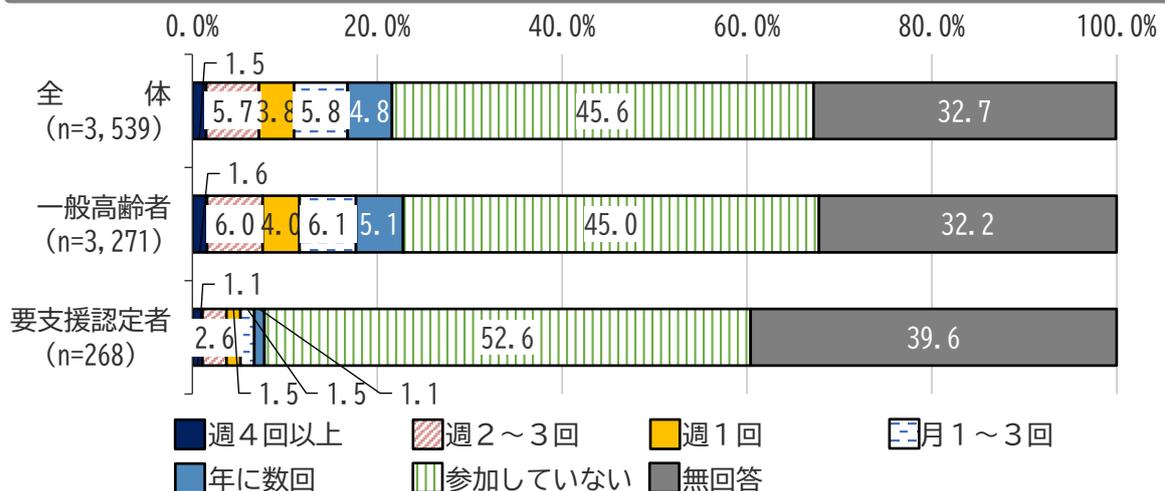
問 43 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

② スポーツ関係のグループやクラブ

一般高齢者では、「参加していない」の割合が 45.0%と最も高く、次いで「月1～3回」の割合が 6.1%、「週2～3回」の割合が 6.0%となっています。

要支援認定者では、「参加していない」の割合が 52.6%と最も高く、次いで「週2～3回」の割合が 2.6%、「週1回」の割合が 1.5%となっています。

「参加していない」の割合は、一般高齢者で 45.0%、要支援認定者で 52.6%となっており、7.6ポイントの差となっています。



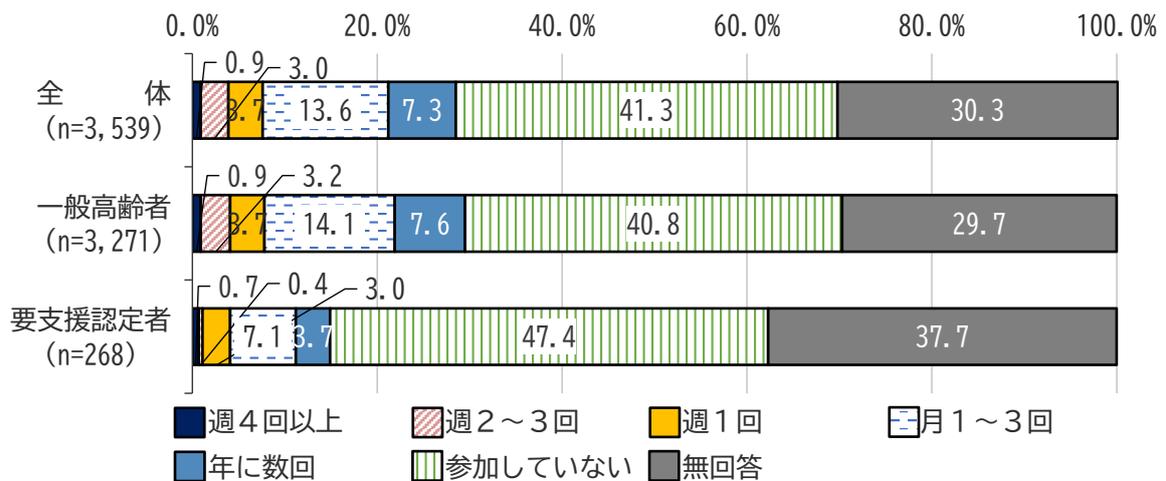
問 43 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

③趣味関係のグループ

一般高齢者では、「参加していない」の割合が 40.8%と最も高く、次いで「月1～3回」の割合が 14.1%、「年に数回」の割合が 7.6%となっています。

要支援認定者では、「参加していない」の割合が 47.4%と最も高く、次いで「月1～3回」の割合が 7.1%、「年に数回」の割合が 3.7%となっています。

「参加していない」の割合は、一般高齢者で 40.8%、要支援認定者で 47.4%となっており、6.6ポイントの差となっています。



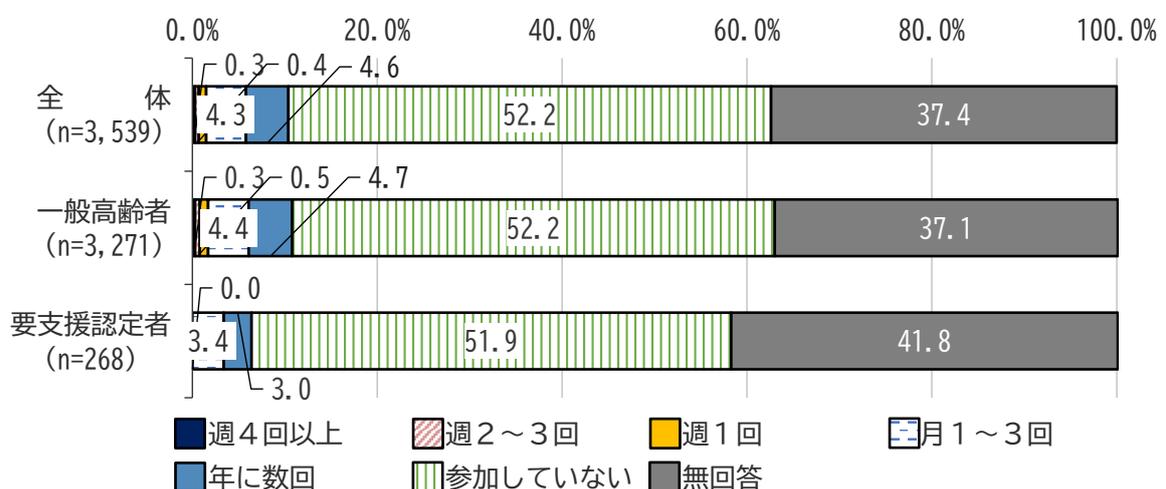
問 43 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

④学習・教養サークル

一般高齢者では、「参加していない」の割合が 52.2%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が 4.7%、「月1～3回」の割合が 4.4%となっています。

要支援認定者では、「参加していない」の割合が 51.9%と最も高く、次いで「月1～3回」の割合が 3.4%、「年に数回」の割合が 3.0%となっています。

「参加していない」の割合は、一般高齢者で 52.2%、要支援認定者で 51.9%となっており、0.3ポイントの差となっています。

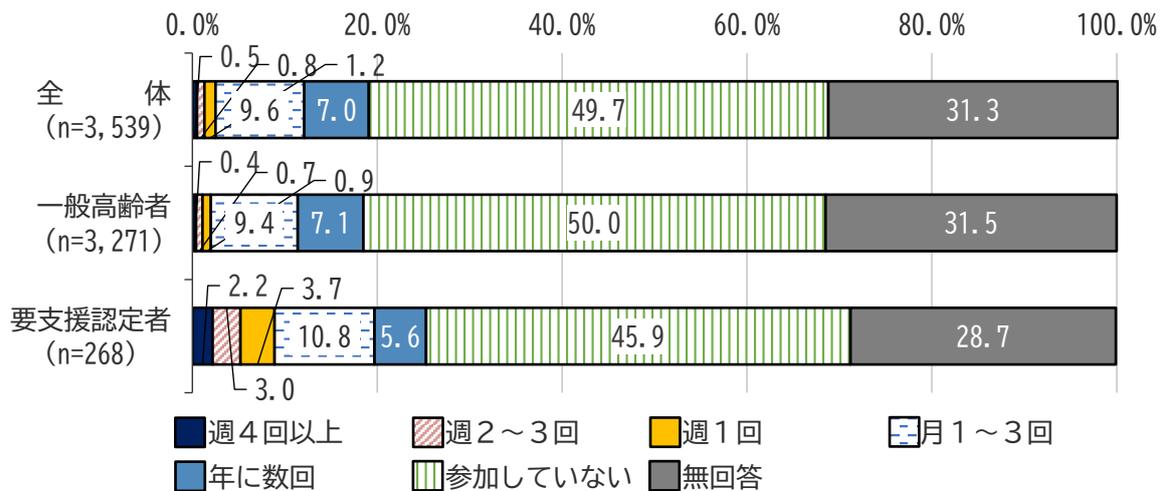


問 43 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
 ⑤「ふれあいいきいきサロン」や「介護予防サロン」など介護予防のための通いの場

一般高齢者では、「参加していない」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「月1～3回」の割合が 9.4%、「年に数回」の割合が 7.1%となっています。

要支援認定者では、「参加していない」の割合が 45.9%と最も高く、次いで「月1～3回」の割合が 10.8%、「年に数回」の割合が 5.6%となっています。

「参加していない」の割合は、一般高齢者で 50.0%、要支援認定者で 45.9%となっており、4.1ポイントの差となっています。

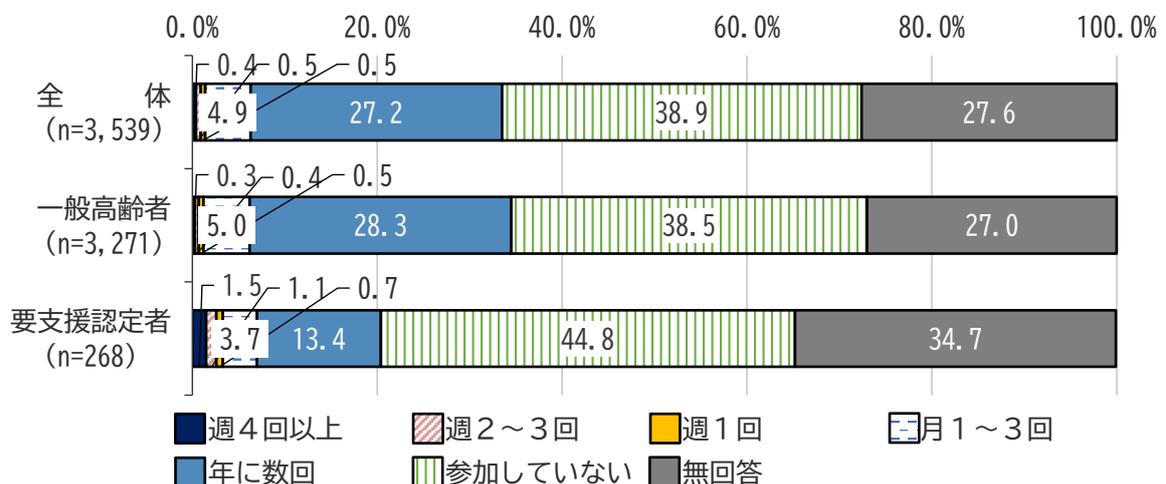


問 43 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
 ⑥老人クラブ

一般高齢者では、「参加していない」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が 28.3%、「月1～3回」の割合が 5.0%となっています。

要支援認定者では、「参加していない」の割合が 44.8%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が 13.4%、「月1～3回」の割合が 3.7%となっています。

「参加していない」の割合は、一般高齢者で 38.5%、要支援認定者で 44.8%となっており、6.3ポイントの差となっています。



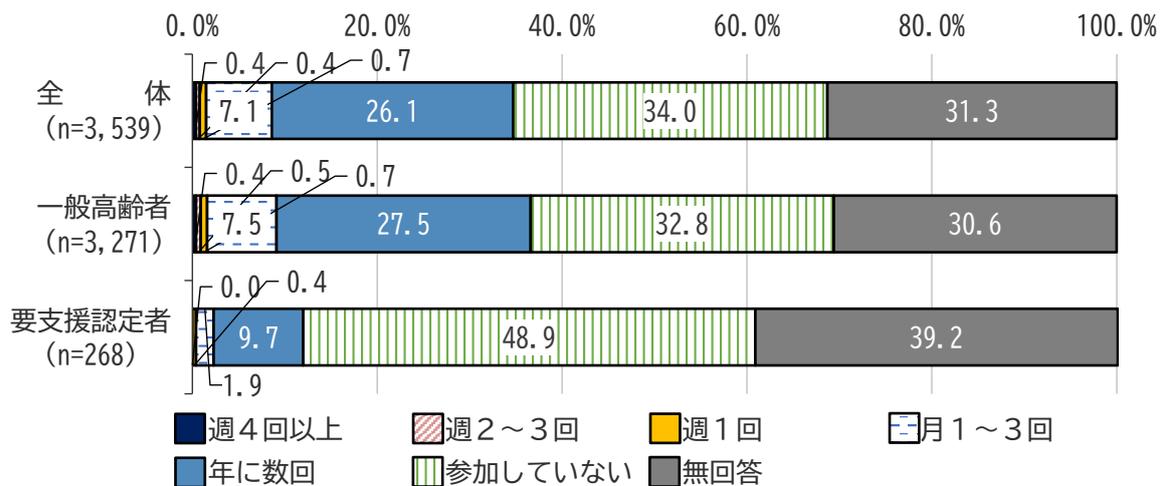
問 43 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

⑦町内会・自治会

一般高齢者では、「参加していない」の割合が 32.8%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が 27.5%、「月1～3回」の割合が 7.5%となっています。

要支援認定者では、「参加していない」の割合が 48.9%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が 9.7%、「月1～3回」の割合が 1.9%となっています。

「参加していない」の割合は、一般高齢者で 32.8%、要支援認定者で 48.9%となっており、16.1ポイントの差となっています。



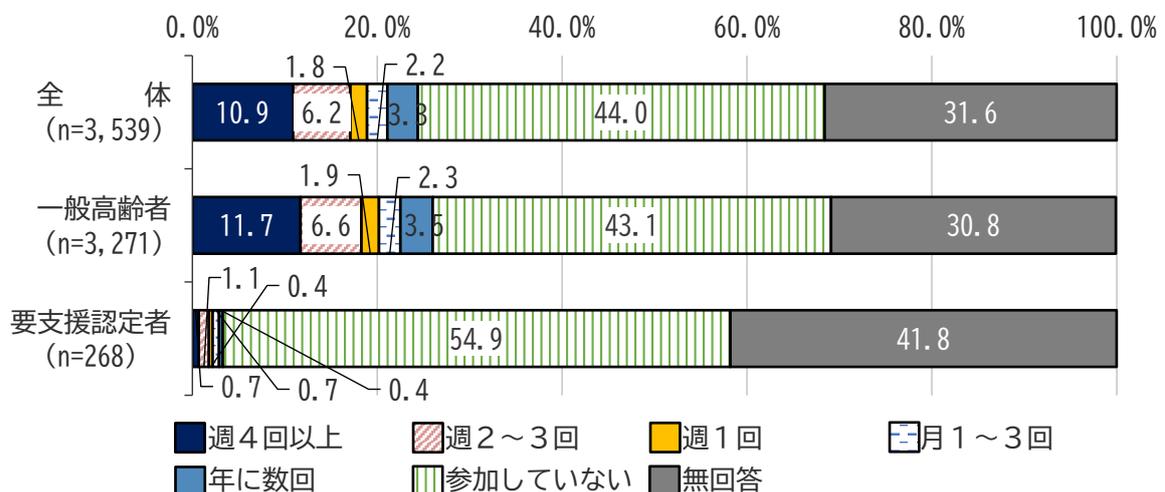
問 43 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

⑧収入のある仕事

一般高齢者では、「参加していない」の割合が 43.1%と最も高く、次いで「週4回以上」の割合が 11.7%、「週2～3回」の割合が 6.6%となっています。

要支援認定者では、「参加していない」の割合が 54.9%と最も高く、次いで「週2～3回」の割合が 1.1%、「週4回以上」の割合が 0.7%となっています。

「参加していない」の割合は、一般高齢者で 43.1%、要支援認定者で 54.9%となっており、11.8ポイントの差となっています。

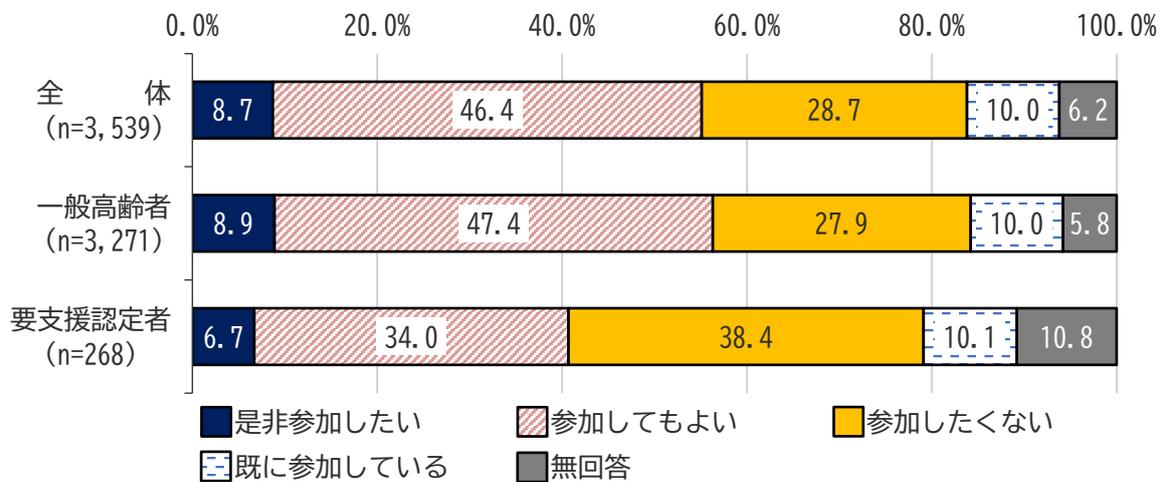


問 44 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（一つを選択）

一般高齢者では、「参加してもよい」の割合が 47.4%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が 27.9%、「既に参加している」の割合が 10.0%となっています。

要支援認定者では、「参加したくない」の割合が 38.4%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が 34.0%、「既に参加している」の割合が 10.1%となっています。

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「参加してもよい」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「参加したくない」の割合が高くなっています。

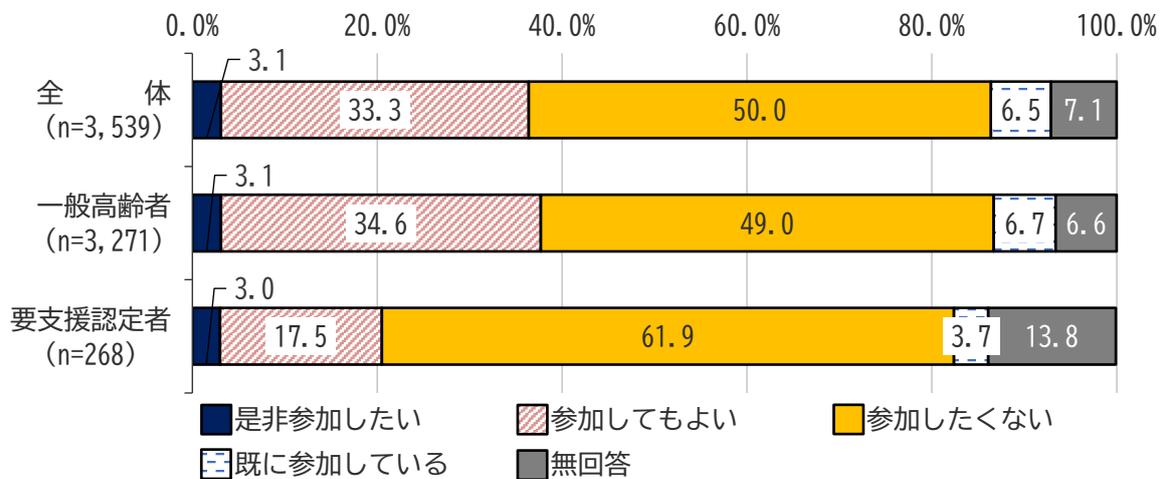


問 45 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（一つを選択）

一般高齢者では、「参加したくない」の割合が 49.0%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が 34.6%、「既に参加している」の割合が 6.7%となっています。

要支援認定者では、「参加したくない」の割合が 61.9%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が 17.5%、「既に参加している」の割合が 3.7%となっています。

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「参加してもよい」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「参加したくない」の割合が高くなっています。



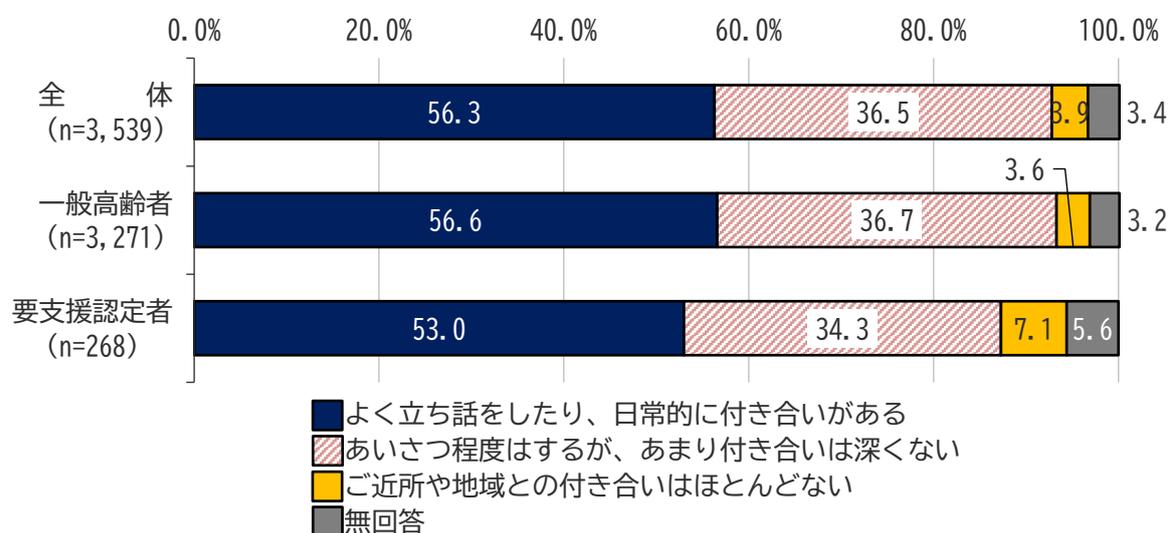
(6) あなたとまわりの人の「たすけあい」について

問 46 ご近所や地域の方との付き合いはどのようなようですか（一つを選択）

一般高齢者では、「よく立ち話をしたり、日常的に付き合いがある」の割合が 56.6%と最も高く、次いで「あいさつ程度はするが、あまり付き合いは深くない」の割合が 36.7%、「ご近所や地域との付き合いはほとんどない」の割合が 3.6%となっています。

要支援認定者では、「よく立ち話をしたり、日常的に付き合いがある」の割合が 53.0%と最も高く、次いで「あいさつ程度はするが、あまり付き合いは深くない」の割合が 34.3%、「ご近所や地域との付き合いはほとんどない」の割合が 7.1%となっています。

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「よく立ち話をしたり、日常的に付き合いがある」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「ご近所や地域との付き合いはほとんどない」の割合が高くなっています。

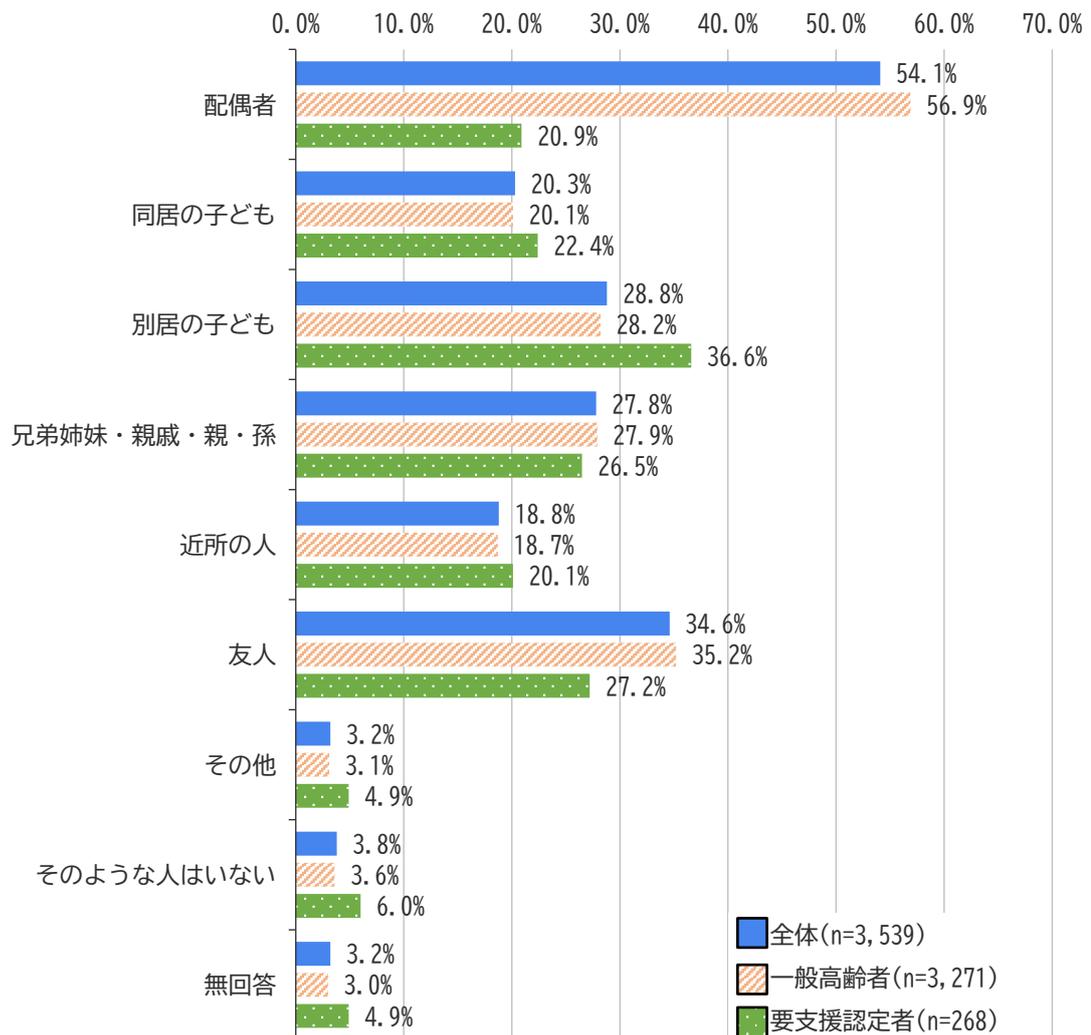


問 47 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人は誰ですか（いくつでも）

一般高齢者では、「配偶者」の割合が 56.9%と最も高く、次いで「友人」の割合が 35.2%、「別居の子ども」の割合が 28.2%となっています。

要支援認定者では、「別居の子ども」の割合が 36.6%と最も高く、次いで「友人」の割合が 27.2%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が 26.5%となっています。

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「配偶者」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「同居の子ども」「別居の子ども」の割合が高くなっています。

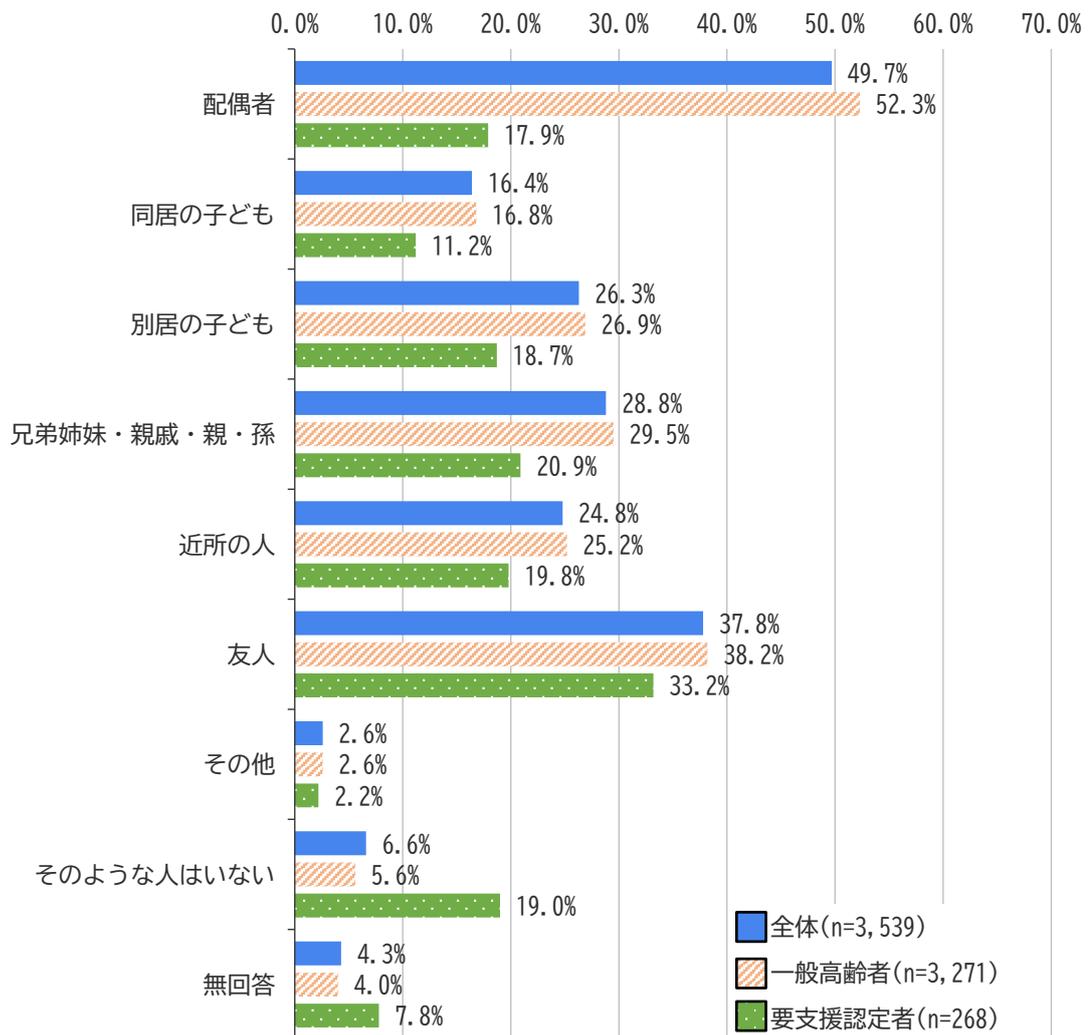


問 48 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人は誰ですか（いくつでも）

一般高齢者では、「配偶者」の割合が 52.3%と最も高く、次いで「友人」の割合が 38.2%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が 29.5%となっています。

要支援認定者では、「友人」の割合が 33.2%と最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が 20.9%、「近所の人」の割合が 19.8%となっています。

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「配偶者」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

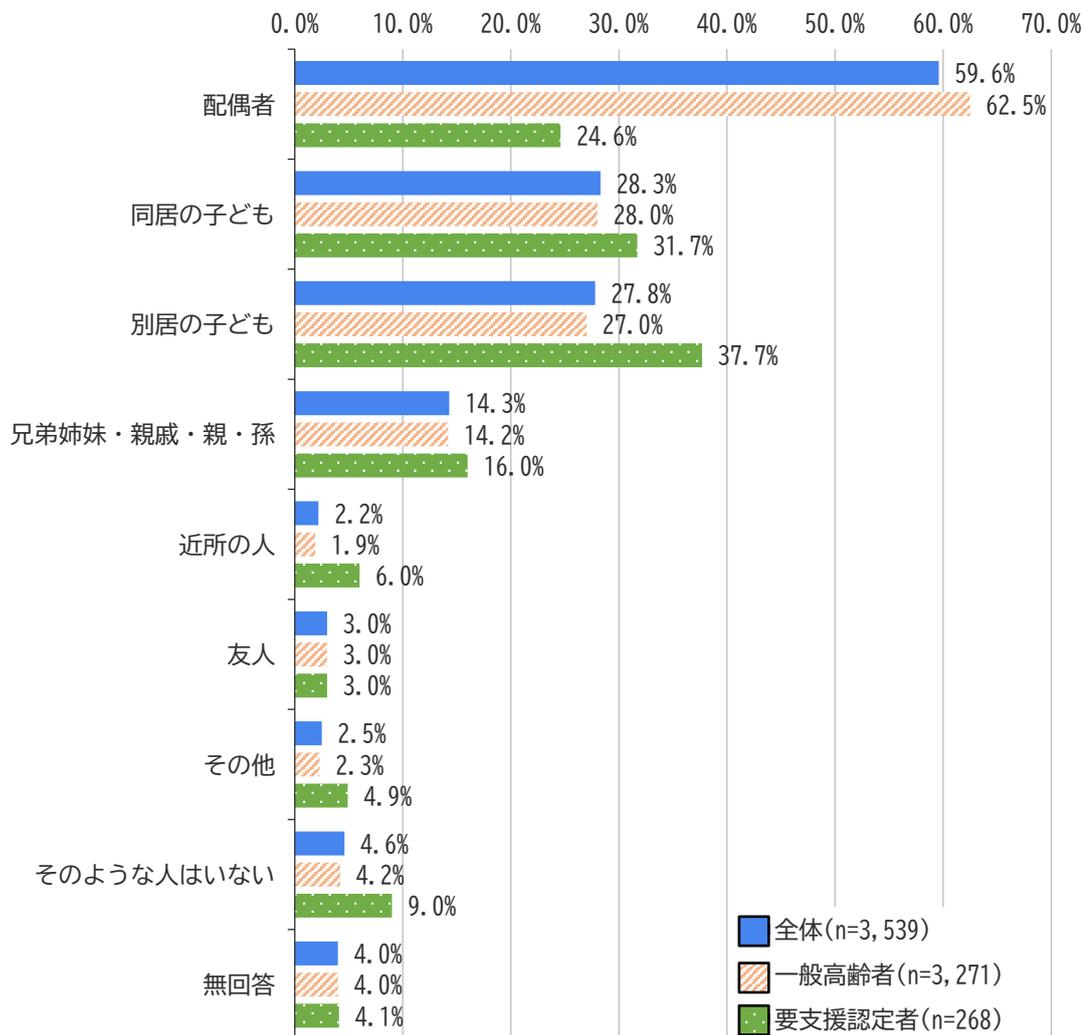


問 49 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は誰ですか
(いくつでも)

一般高齢者では、「配偶者」の割合が 62.5%と最も高く、次いで「同居の子ども」の割合が 28.0%、「別居の子ども」の割合が 27.0%となっています。

要支援認定者では、「別居の子ども」の割合が 37.7%と最も高く、次いで「同居の子ども」の割合が 31.7%、「配偶者」の割合が 24.6%となっています。

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「配偶者」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「同居の子ども」「別居の子ども」の割合が高くなっています。

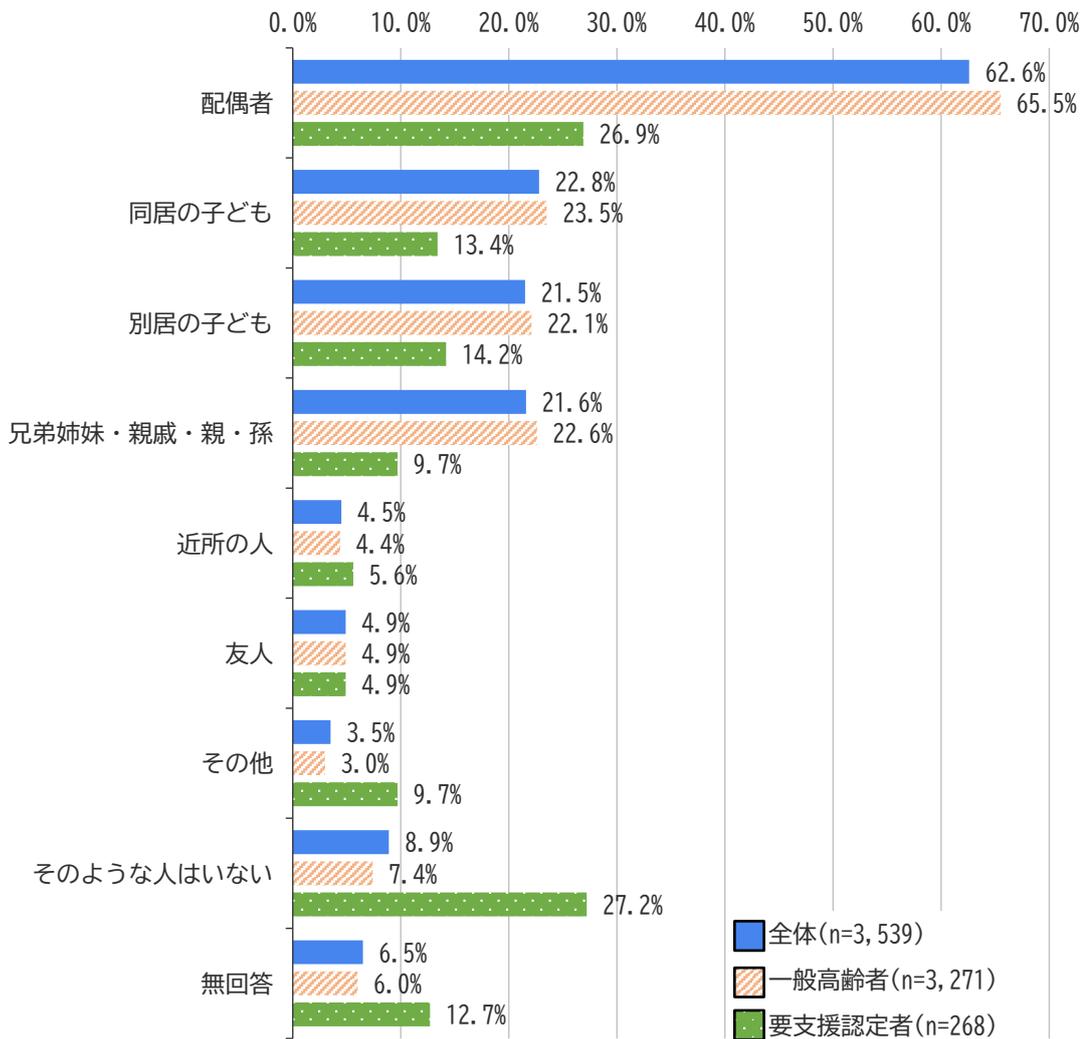


問 50 反対に、あなたが看病や世話をしつてあげる人は誰ですか（いくつでも）

一般高齢者では、「配偶者」の割合が 65.5%と最も高く、次いで「同居の子ども」の割合が 23.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が 22.6%となっています。

要支援認定者では、「そのような人はいない」の割合が 27.2%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が 26.9%、「別居の子ども」の割合が 14.2%となっています。

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「配偶者」「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

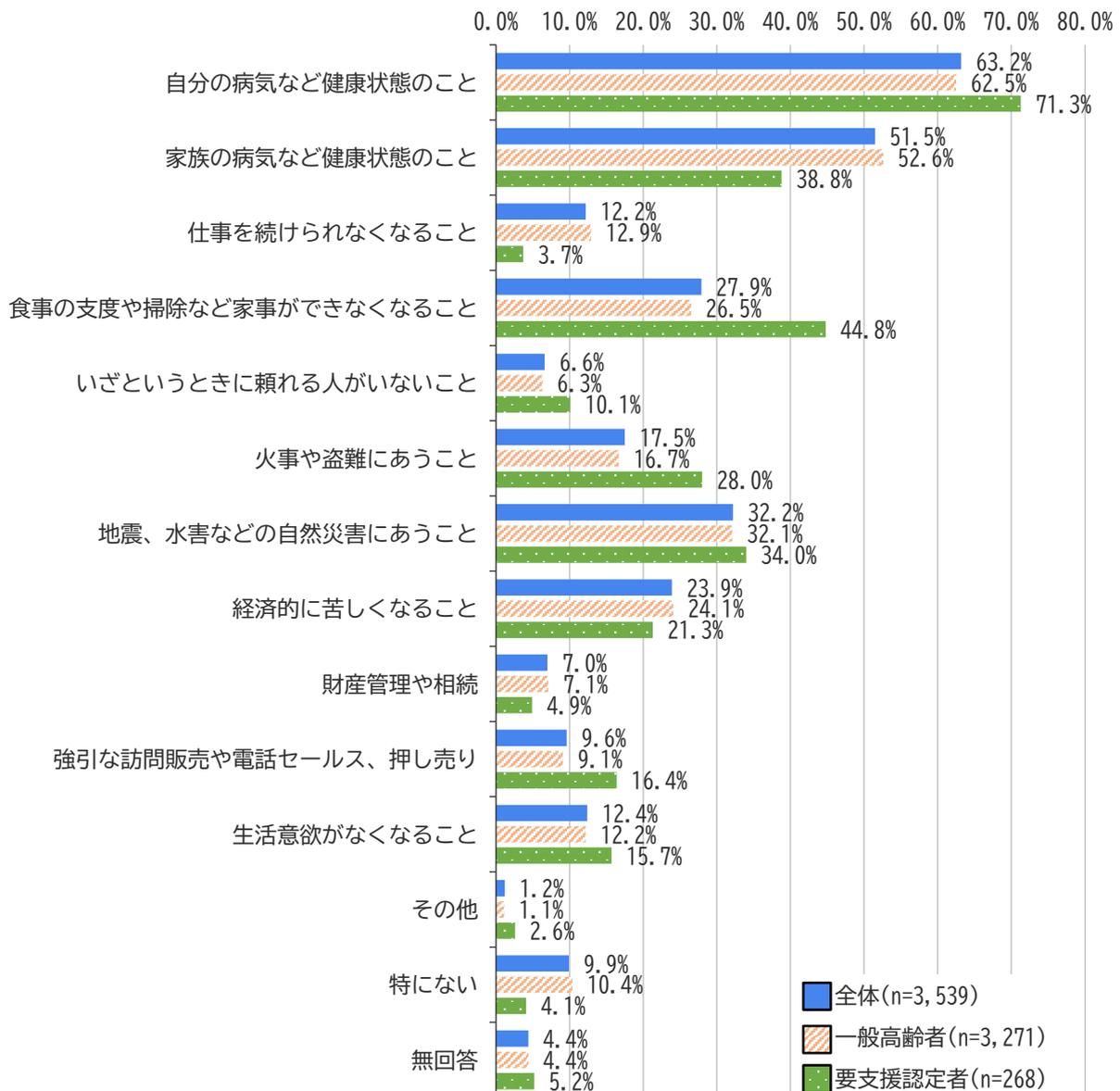


問51 日ごろの生活で不安に思っていることはありますか（いくつでも）

一般高齢者では、「自分の病気など健康状態のこと」の割合が62.5%と最も高く、次いで「家族の病気など健康状態のこと」の割合が52.6%、「地震、水害などの自然災害にあうこと」の割合が32.1%となっています。

要支援認定者では、「自分の病気など健康状態のこと」の割合が71.3%と最も高く、次いで「食事の支度や掃除など家事ができなくなること」の割合が44.8%、「家族の病気など健康状態のこと」の割合が38.8%となっています。

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「家族の病気など健康状態のこと」「特にない」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「自分の病気など健康状態のこと」「食事の支度や掃除など家事ができなくなること」「火事や盗難にあうこと」「強引な訪問販売や電話セールス、押し売り」「生活意欲がなくなること」の割合が高くなっています。

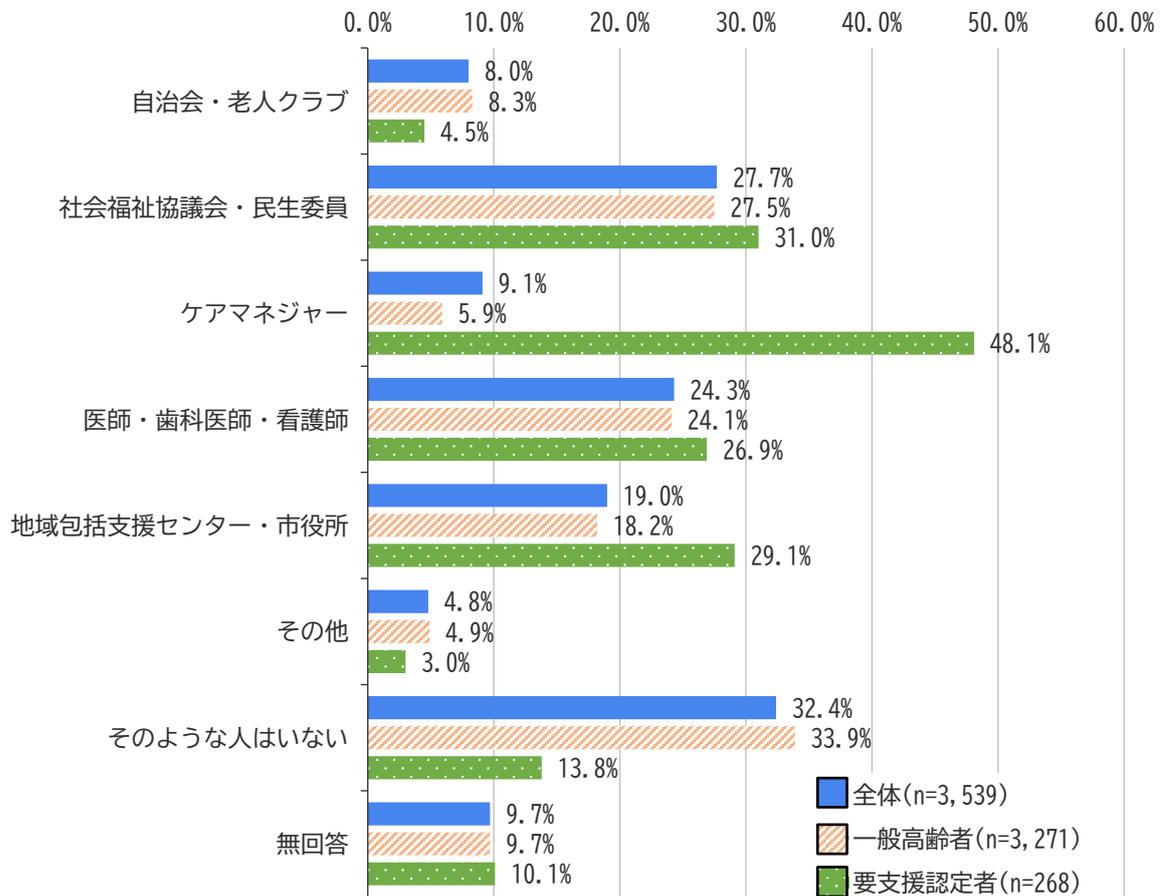


問 52 家族や友人・知人以外で、何かあったときにあなたが相談する人（いくつでも）

一般高齢者では、「そのような人はいない」の割合が 33.9%と最も高く、次いで「社会福祉協議会・民生委員」の割合が 27.5%、「医師・歯科医師・看護師」の割合が 24.1%となっています。

要支援認定者では、「ケアマネジャー」の割合が 48.1%と最も高く、次いで「社会福祉協議会・民生委員」の割合が 31.0%、「地域包括支援センター・市役所」の割合が 29.1%となっています。

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「ケアマネジャー」「地域包括支援センター・市役所」の割合が高くなっています。

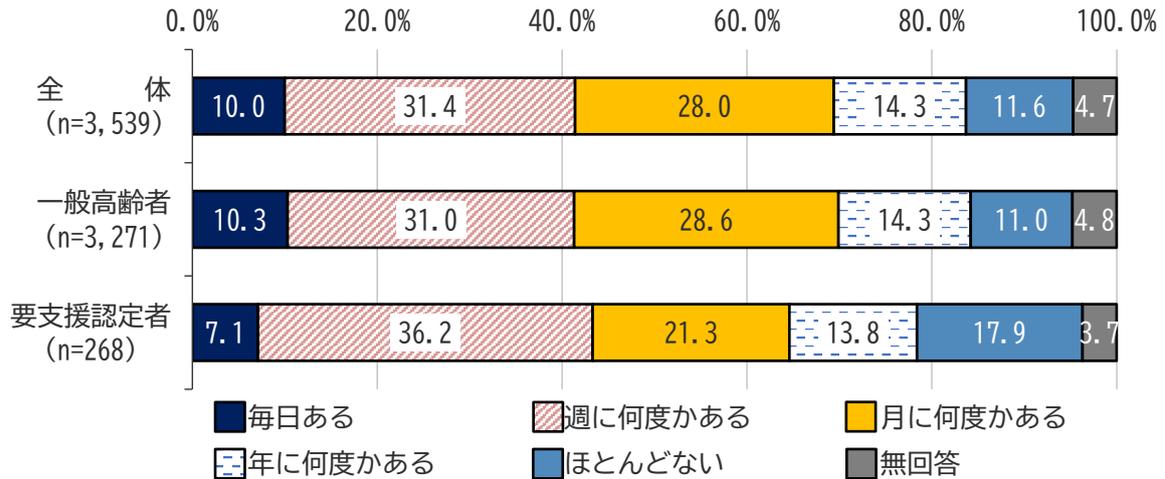


問 53 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（一つを選択）

一般高齢者では、「週に何度かある」の割合が 31.0%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が 28.6%、「年に何度かある」の割合が 14.3%となっています。

要支援認定者では、「週に何度かある」の割合が 36.2%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が 21.3%、「ほとんどない」の割合が 17.9%となっています。

認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「ほとんどない」の割合が高くなっています。

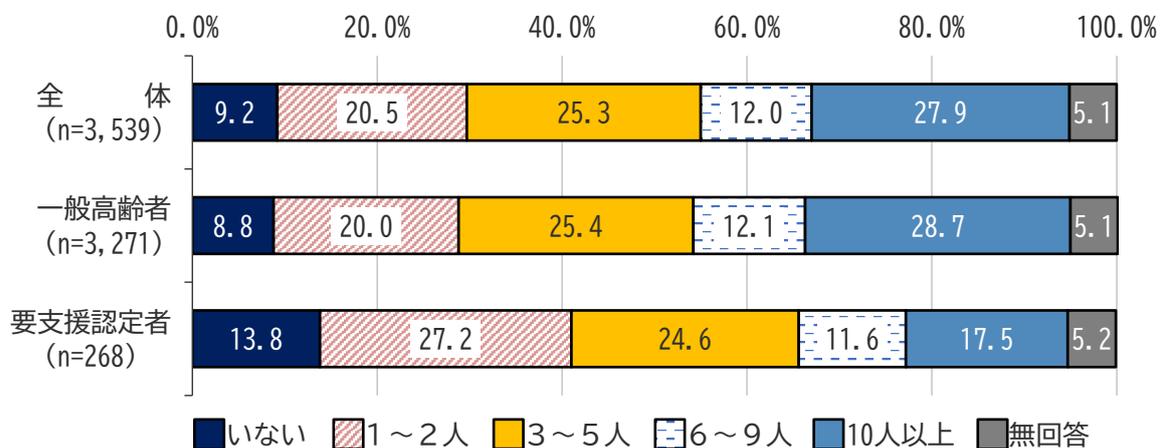


問 54 あなたは、この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします（一つを選択）

一般高齢者では、「10人以上」の割合が 28.7%と最も高く、次いで「3～5人」の割合が 25.4%、「1～2人」の割合が 20.0%となっています。

要支援認定者では、「1～2人」の割合が 27.2%と最も高く、次いで「3～5人」の割合が 24.6%、「10人以上」の割合が 17.5%となっています。

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「10人以上」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「1～2人」の割合が高くなっています。

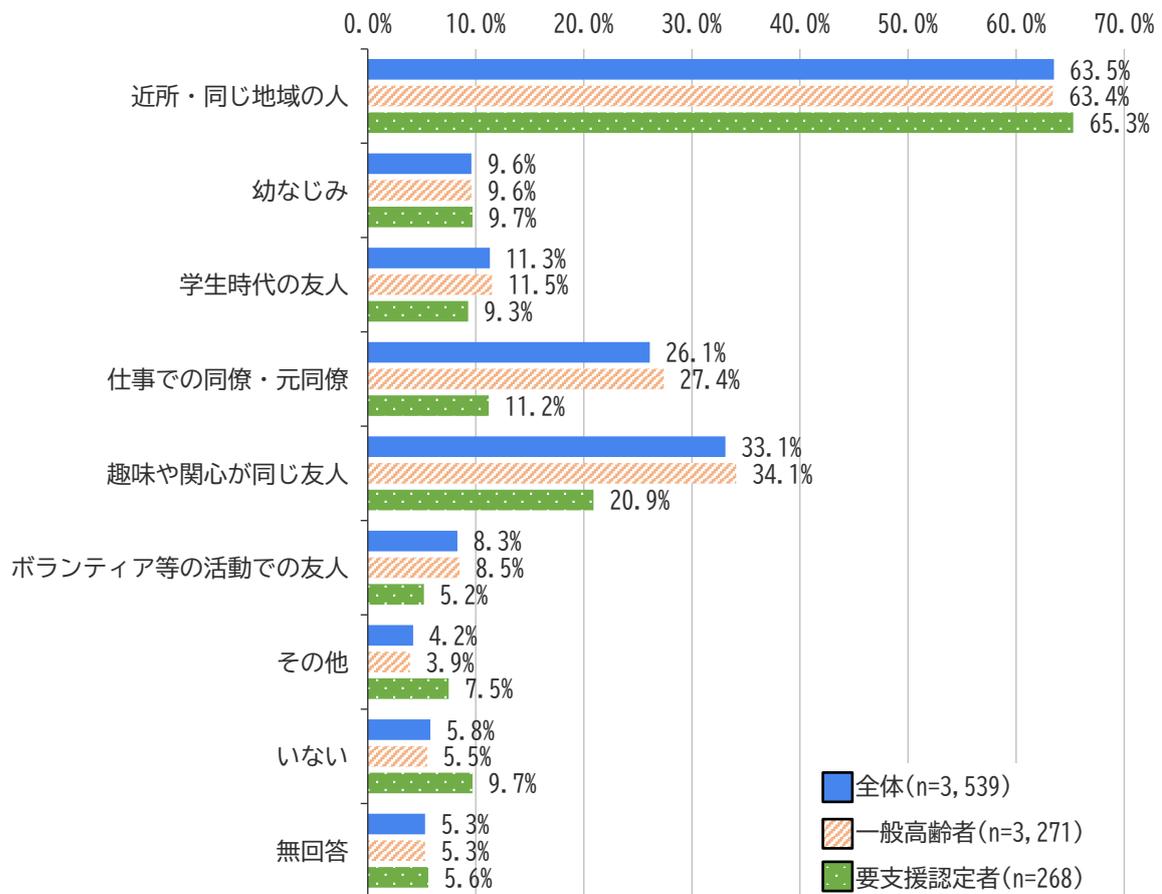


問 55 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（いくつでも）

一般高齢者では、「近所・同じ地域の人」の割合が 63.4%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」の割合が 34.1%、「仕事での同僚・元同僚」の割合が 27.4%となっています。

要支援認定者では、「近所・同じ地域の人」の割合が 65.3%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」の割合が 20.9%、「仕事での同僚・元同僚」の割合が 11.2%となっています。

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「仕事での同僚・元同僚」「趣味や関心が同じ友人」の割合が高くなっています。



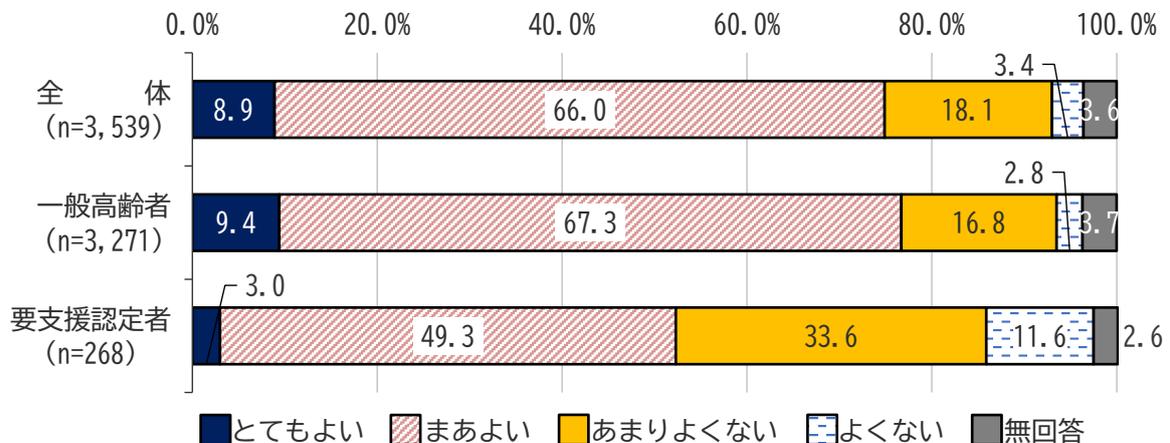
(7) 健康について

問 56 現在のあなたの健康状態はいかがですか（一つを選択）

一般高齢者では、「まあよい」の割合が 67.3%と最も高く、次いで「あまりよくない」の割合が 16.8%、「とてもよい」の割合が 9.4%となっています。

要支援認定者では、「まあよい」の割合が 49.3%と最も高く、次いで「あまりよくない」の割合が 33.6%、「よくない」の割合が 11.6%となっています。

『健康状態がよい人』の割合は、一般高齢者で 76.7%、要支援認定者で 52.3%となっており、24.4 ポイントの差となっています。また、『健康状態がよくない人』の割合は、一般高齢者で 21.5%、要支援認定者で 45.2%となっており、23.7 ポイントの差となっています。

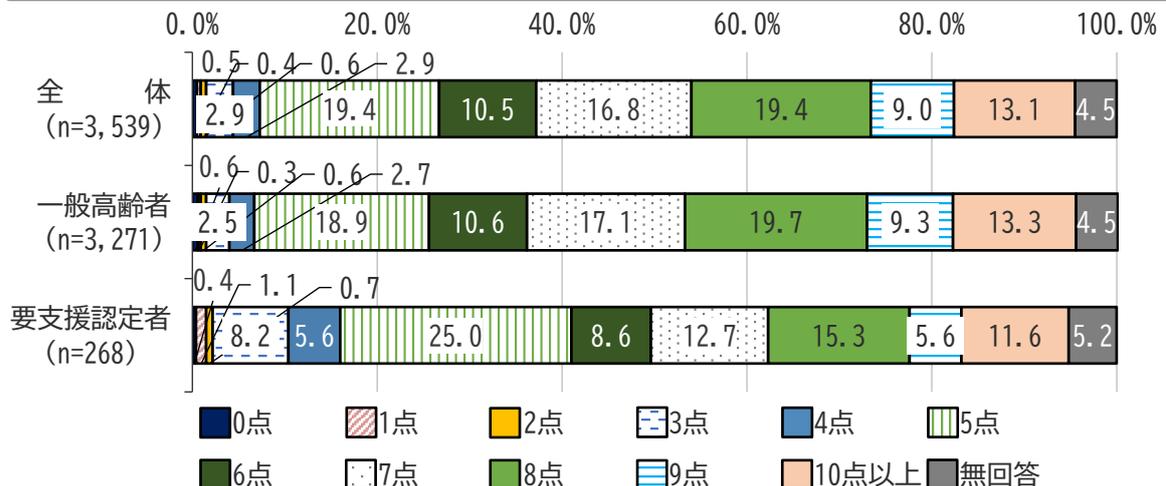


問 57 あなたは、現在どの程度幸せですか（一つを選択） （「とても不幸」を 0 点、「とても幸せ」を 10 点とします）

一般高齢者では、「8点」の割合が 19.7%と最も高く、次いで「5点」の割合が 18.9%、「7点」の割合が 17.1%となっています。

要支援認定者では、「5点」の割合が 25.0%と最も高く、次いで「8点」の割合が 15.3%、「7点」の割合が 12.7%となっています。

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「7～9点」の割合が高く、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「3～5点」の割合が高くなっています。

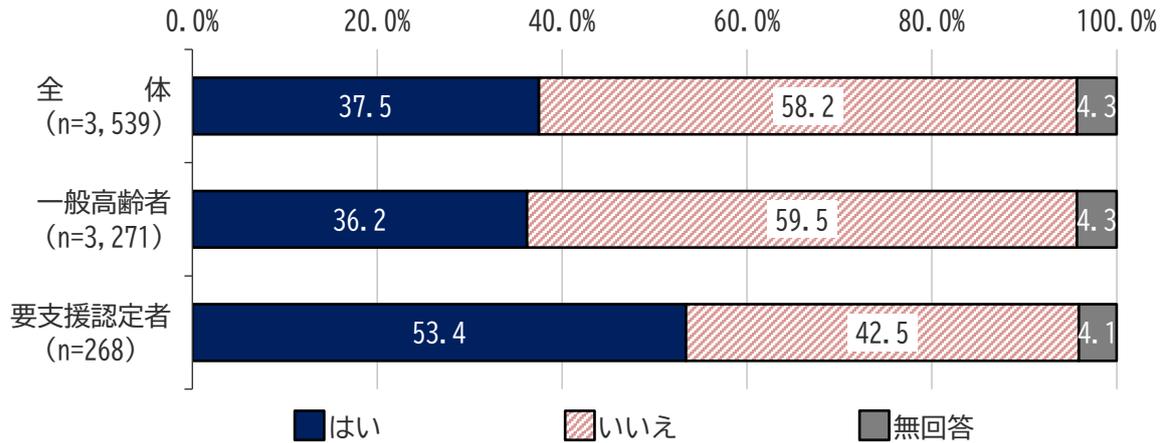


問 58 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（一つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が36.2%、「いいえ」の割合が59.5%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が53.4%、「いいえ」の割合が42.5%となっています。

「はい」の割合は、一般高齢者で36.2%、要支援認定者で53.4%となっており、17.2ポイントの差となっています。

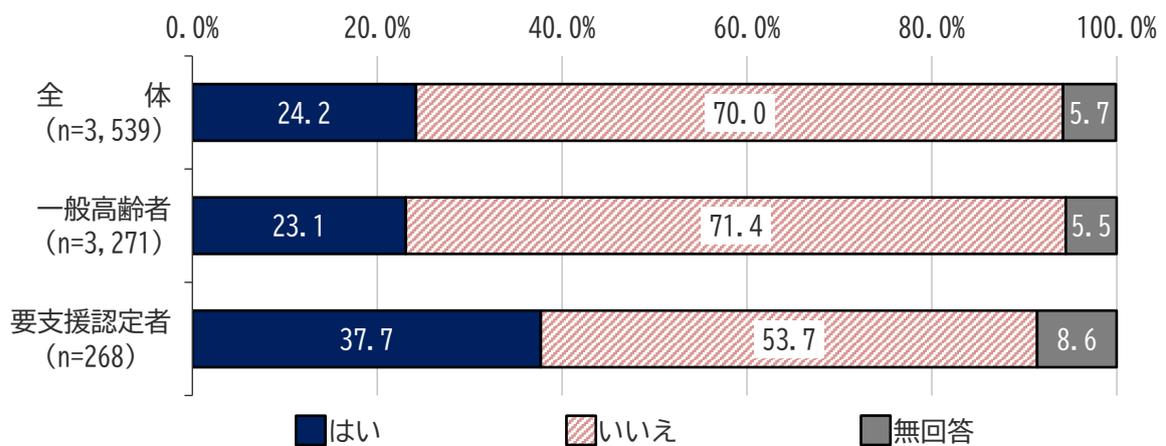


問 59 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめないと思ったことがよくありましたか（一つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が23.1%、「いいえ」の割合が71.4%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が37.7%、「いいえ」の割合が53.7%となっています。

「はい」の割合は、一般高齢者で23.1%、要支援認定者で37.7%となっており、14.6ポイントの差となっています。

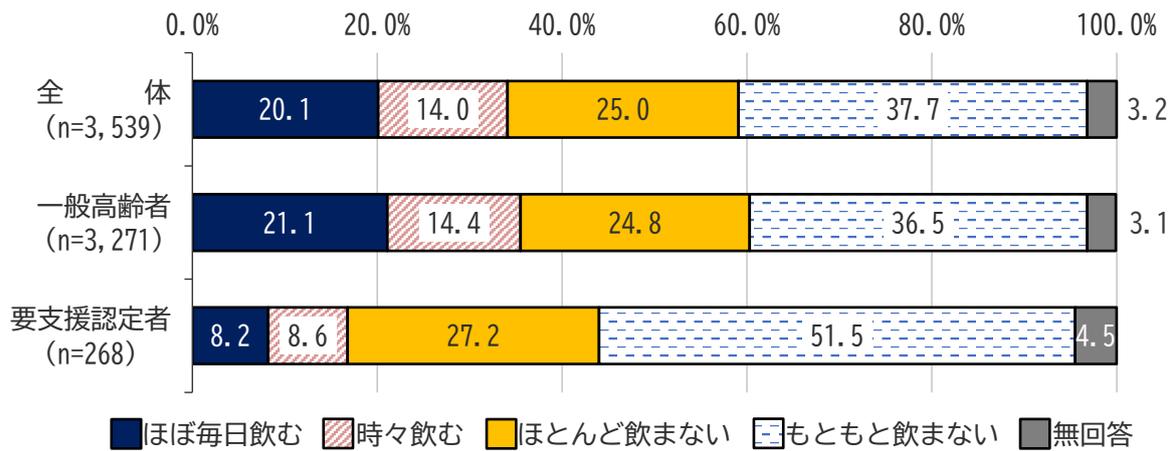


問 60 お酒は飲みますか（一つを選択）

一般高齢者では、「もともと飲まない」の割合が 36.5%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」の割合が 24.8%、「ほぼ毎日飲む」の割合が 21.1%となっています。

要支援認定者では、「もともと飲まない」の割合が 51.5%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」の割合が 27.2%、「時々飲む」の割合が 8.6%となっています。

「ほぼ毎日飲む」の割合は、一般高齢者で 21.1%、要支援認定者で 8.2%となっており、12.9 ポイントの差となっています。

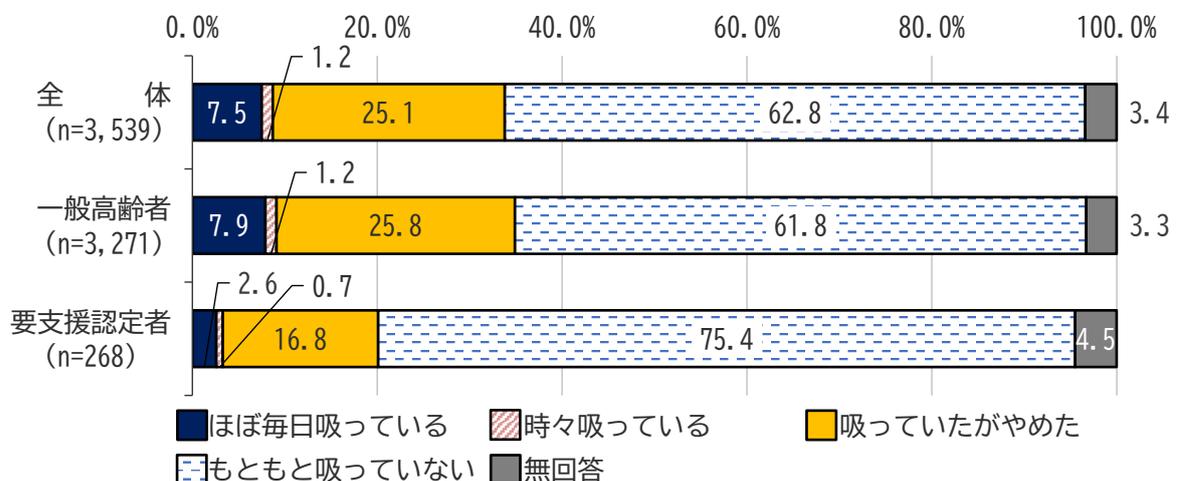


問 61 タバコは吸っていますか（一つを選択）

一般高齢者では、「もともと吸っていない」の割合が 61.8%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が 25.8%、「ほぼ毎日吸っている」の割合が 7.9%となっています。

要支援認定者では、「もともと吸っていない」の割合が 75.4%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が 16.8%、「ほぼ毎日吸っている」の割合が 2.6%となっています。

「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた『吸っている人』の割合は、一般高齢者で 8.7%、要支援認定者で 3.3%となっており、5.4 ポイントの差となっています。

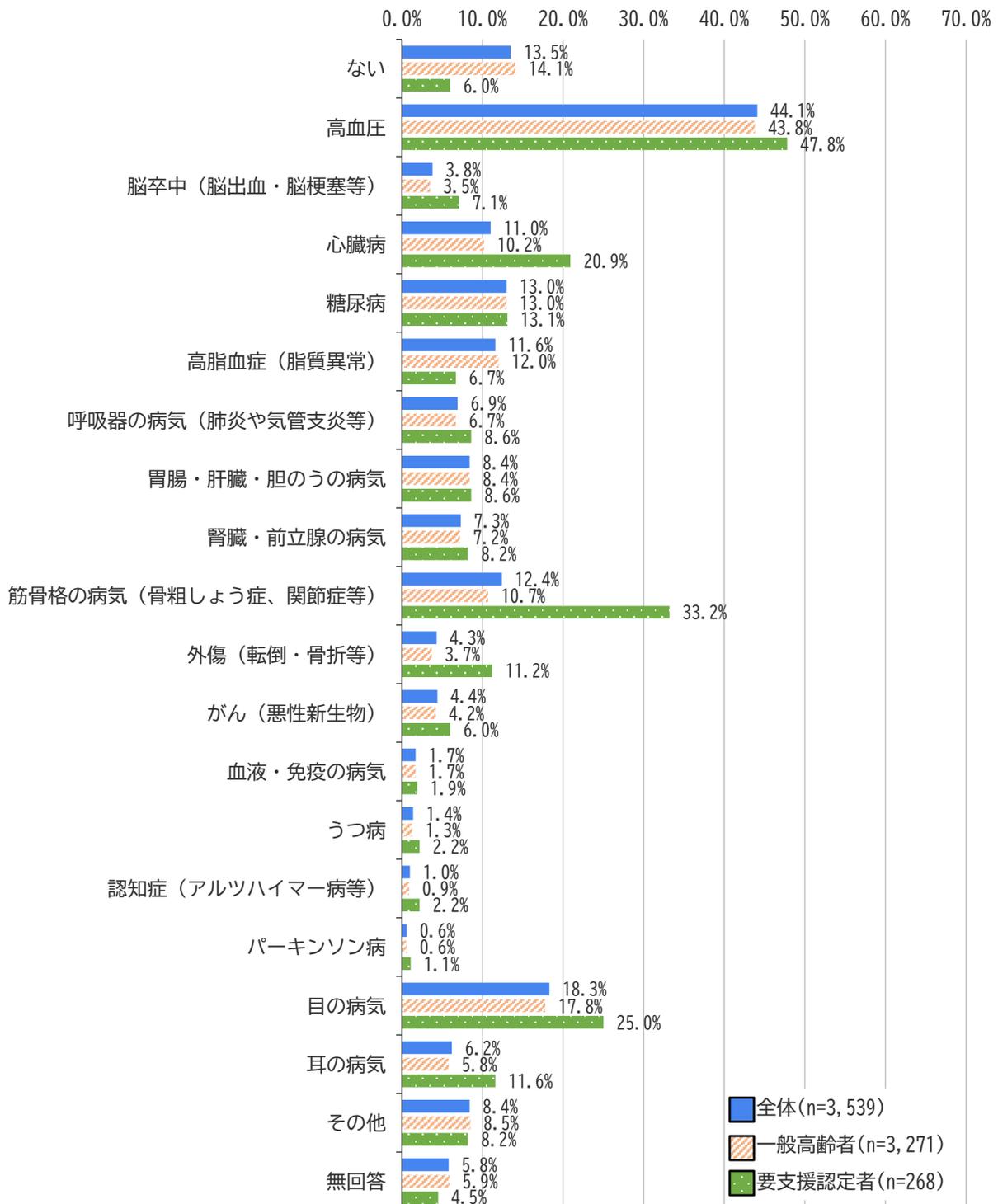


問 62 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

一般高齢者では、「高血圧」の割合が 43.8%と最も高く、次いで「目の病気」の割合が 17.8%、「ない」の割合が 14.1%となっています。

要支援認定者では、「高血圧」の割合が 47.8%と最も高く、次いで「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の割合が 33.2%、「目の病気」の割合が 25.0%となっています。

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「ない」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「心臓病」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」「外傷（転倒・骨折等）」「目の病気」の割合が高くなっています。

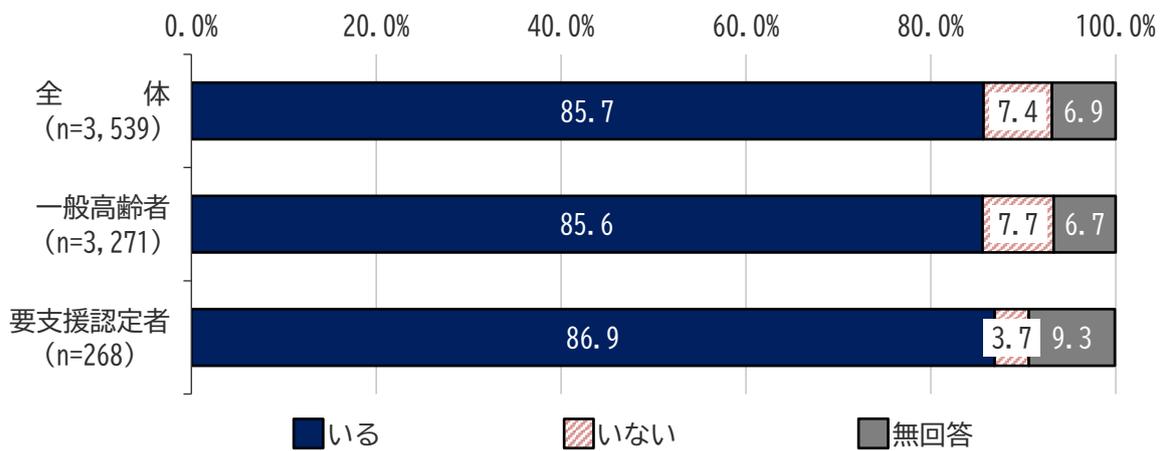


問 63 かかりつけ医はいますか（一つを選択）

一般高齢者では、「いる」の割合が 85.6%、「いない」の割合が 7.7%となっています。

要支援認定者では、「いる」の割合が 86.9%、「いない」の割合が 3.7%となっています。

「いない」の割合は、一般高齢者で 7.7%、要支援認定者で 3.7%となっており、4.0ポイントの差となっています。



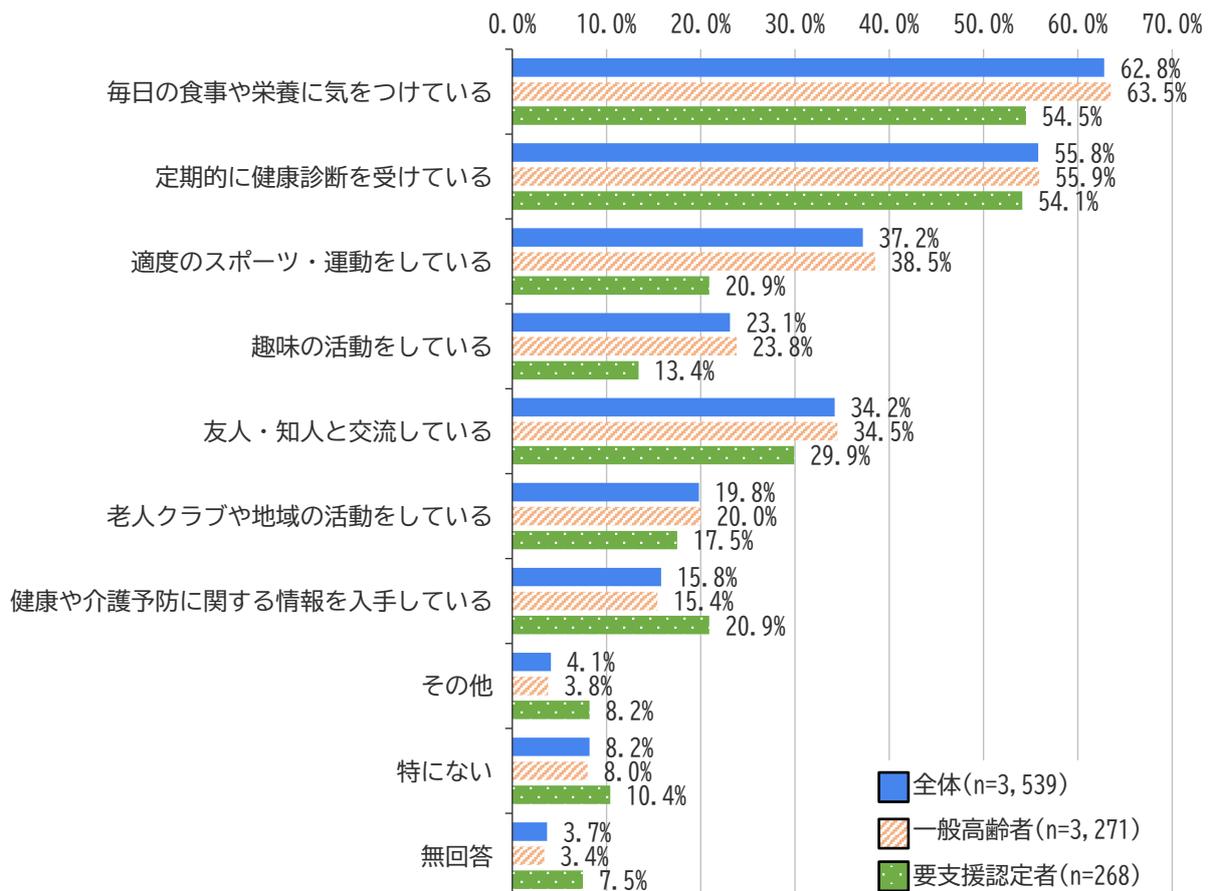
(8) 介護予防について

問 64 介護予防（介護が必要な状態にならないようにすること）のために、日ごろから取り組んでいることはありますか（いくつでも）

一般高齢者では、「毎日の食事や栄養に気をつけている」の割合が 63.5%と最も高く、次いで「定期的に健康診断を受けている」の割合が 55.9%、「適度のスポーツ・運動をしている」の割合が 38.5%となっています。

要支援認定者では、「毎日の食事や栄養に気をつけている」の割合が 54.5%と最も高く、次いで「定期的に健康診断を受けている」の割合が 54.1%、「友人・知人と交流している」の割合が 29.9%となっています。

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「毎日の食事や栄養に気をつけている」「適度のスポーツ・運動をしている」「趣味の活動をしている」「友人・知人と交流している」「老人クラブや地域の活動をしている」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「健康や介護予防に関する情報を入手している」の割合が高くなっています。



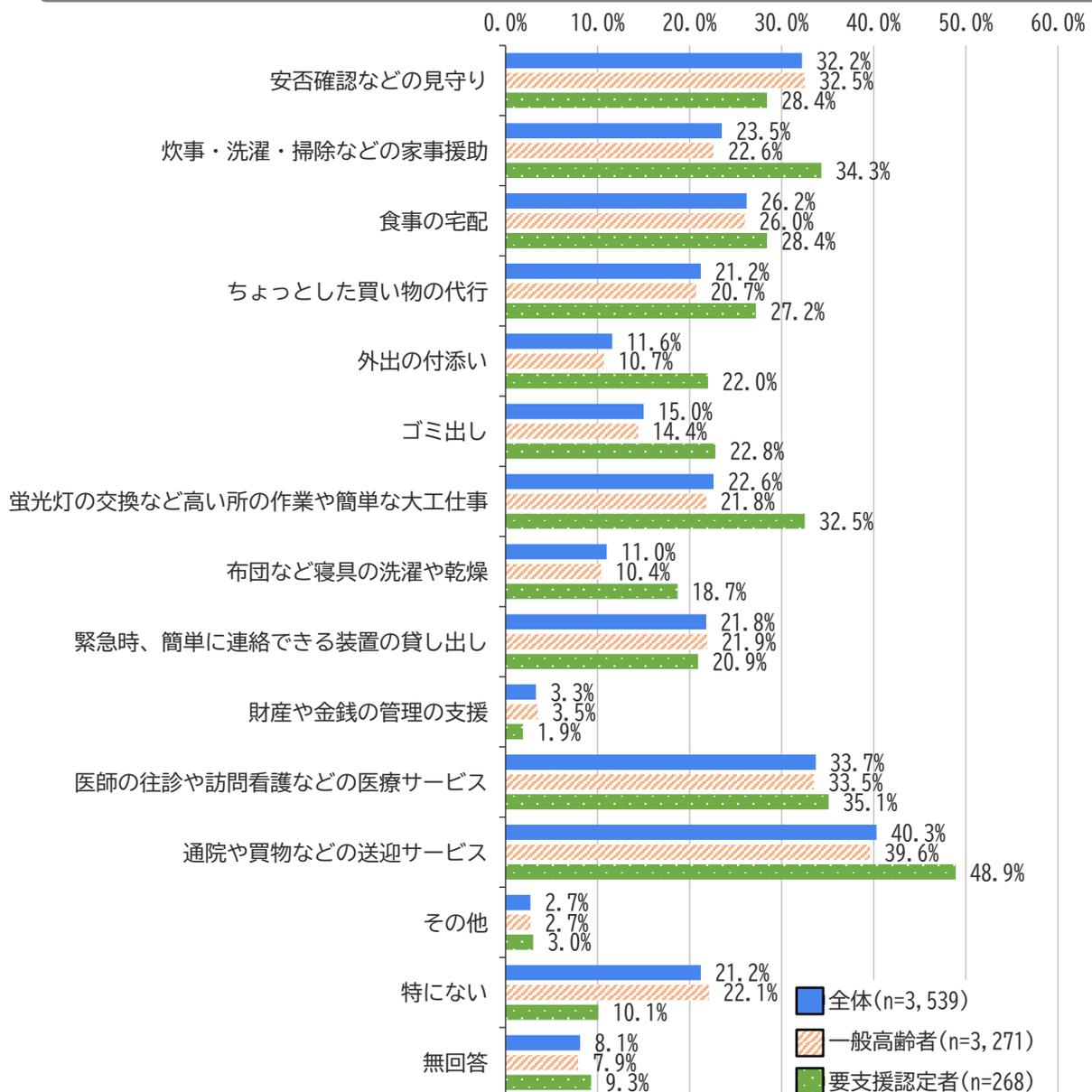
(9) 高齢者の生活を支援するサービスについて

問 65 今後、住み慣れた自宅で暮らし続けるために必要と思われる手助け（サービス）
がありますか（いくつでも）

一般高齢者では、「通院や買物などの送迎サービス」の割合が 39.6%と最も高く、次いで「医師の往診や訪問看護などの医療サービス」の割合が 33.5%、「安否確認などの見守り」の割合が 32.5%となっています。

要支援認定者では、「通院や買物などの送迎サービス」の割合が 48.9%と最も高く、次いで「医師の往診や訪問看護などの医療サービス」の割合が 35.1%、「炊事・洗濯・掃除などの家事援助」の割合が 34.3%となっています。

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「特にない」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「炊事・洗濯・掃除などの家事援助」「ちょっとした買い物の代行」「外出の付添い」「ゴミ出し」「蛍光灯の交換など高い所の作業や簡単な大工仕事」の割合が高くなっています。



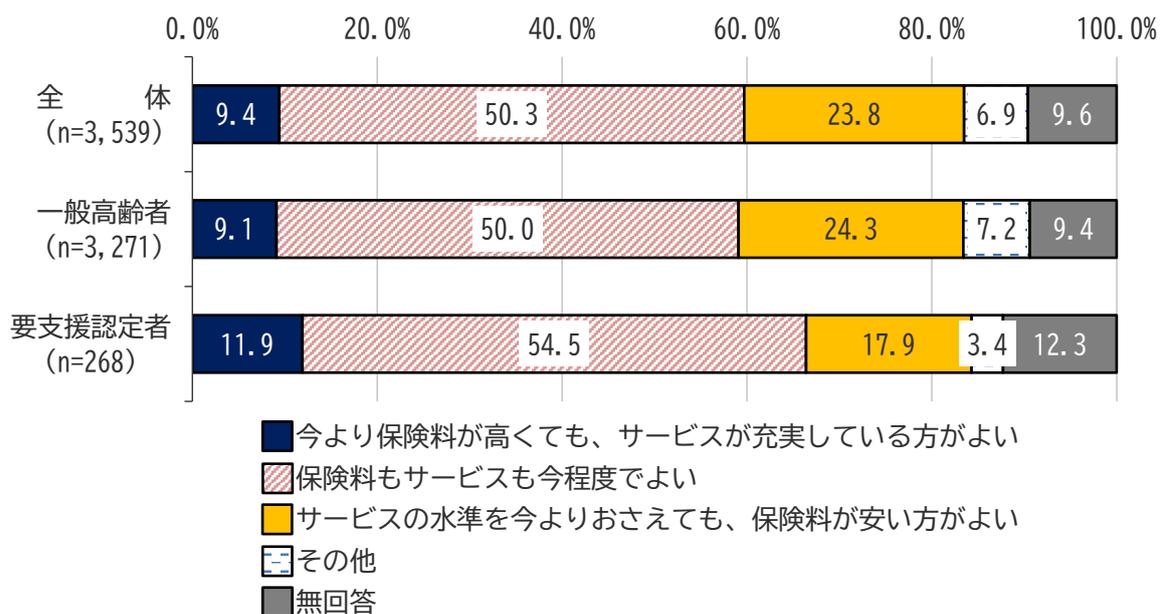
(10) 介護保険制度などについて

問 66 介護保険制度は、介護保険サービスの利用が多くなれば、それだけ保険料も上がることとなります。あなたは、介護サービスの水準と保険料についてどのように考えますか（一つを選択）

一般高齢者では、「保険料もサービスも今程度でよい」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「サービスの水準を今よりおさえても、保険料が安い方がよい」の割合が 24.3%、「今より保険料が高くても、サービスが充実している方がよい」の割合が 9.1%となっています。

要支援認定者では、「保険料もサービスも今程度でよい」の割合が 54.5%と最も高く、次いで「サービスの水準を今よりおさえても、保険料が安い方がよい」の割合が 17.9%、「今より保険料が高くても、サービスが充実している方がよい」の割合が 11.9%となっています。

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「サービスの水準を今よりおさえても、保険料が安い方がよい」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「今より保険料が高くても、サービスが充実している方がよい」の割合が高くなっています。

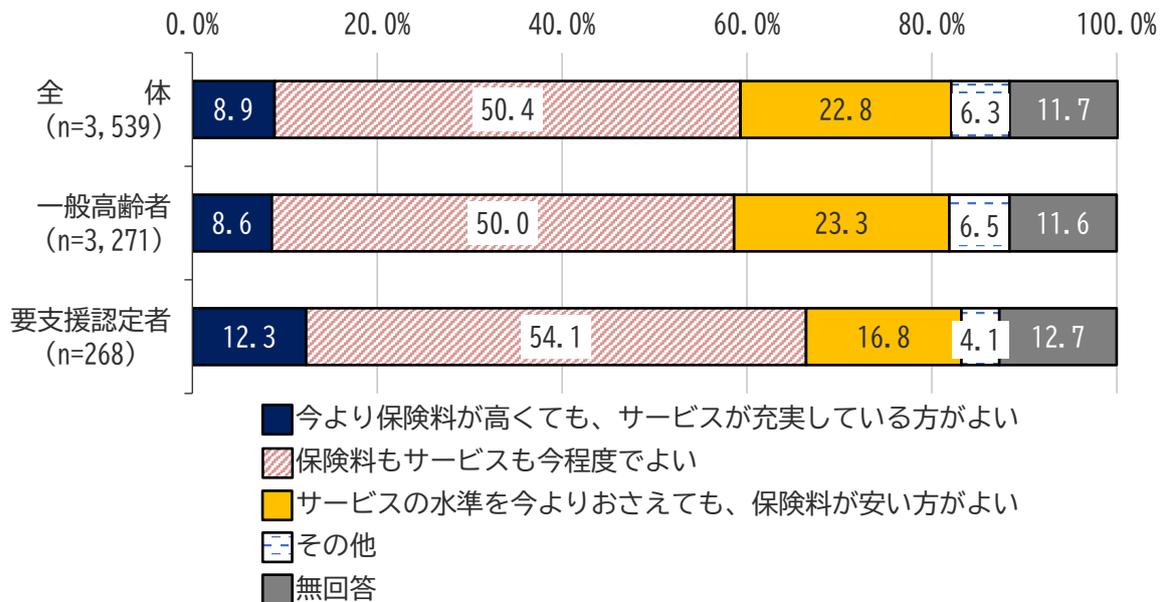


問 67 介護予防事業は、健康維持などにより保険料の軽減につながることが期待できますが、介護予防事業の利用が多くなれば、それだけ保険料も上がることになります。あなたは、介護予防事業の水準と保険料についてどのように考えますか（一つを選択）

一般高齢者では、「保険料もサービスも今程度でよい」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「サービスの水準を今よりおさえても、保険料が安い方がよい」の割合が 23.3%、「今より保険料が高くて、サービスが充実している方がよい」の割合が 8.6%となっています。

要支援認定者では、「保険料もサービスも今程度でよい」の割合が 54.1%と最も高く、次いで「サービスの水準を今よりおさえても、保険料が安い方がよい」の割合が 16.8%、「今より保険料が高くて、サービスが充実している方がよい」の割合が 12.3%となっています。

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「サービスの水準を今よりおさえても、保険料が安い方がよい」の割合が高くなっています。

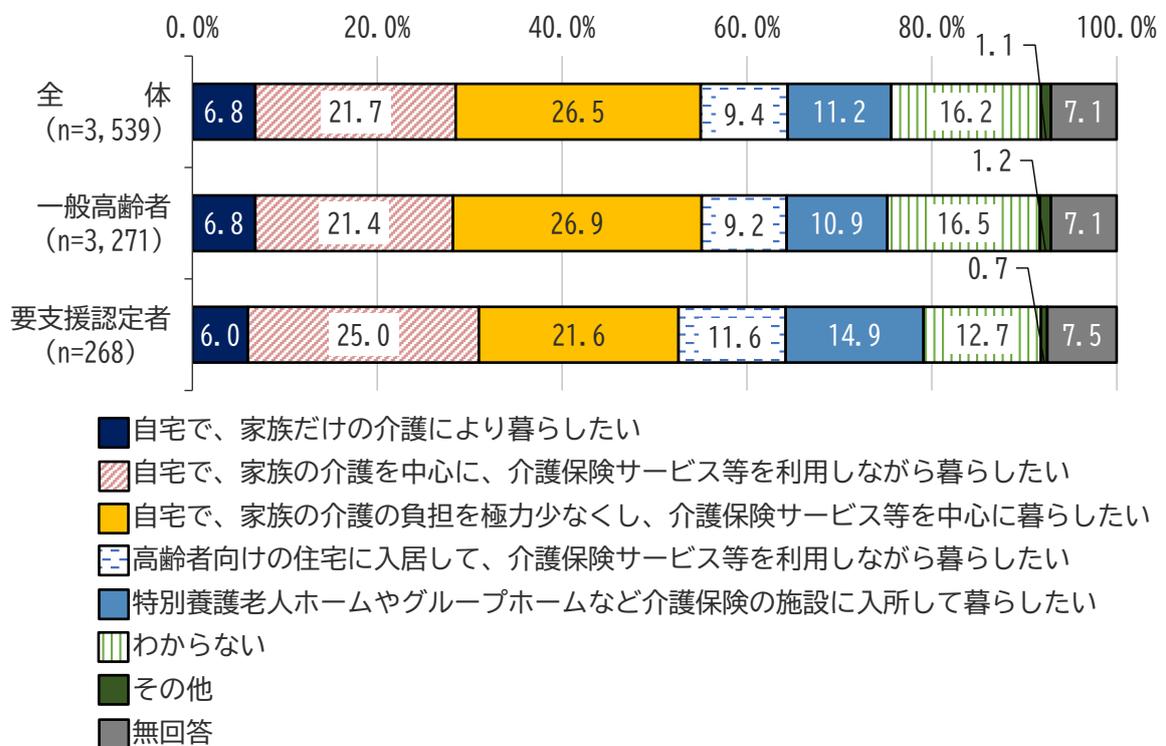


問 68 今後、あなた自身に介護が必要になった場合、どのようにしたいですか
(一つを選択)

一般高齢者では、「自宅で、家族の介護の負担を極力少なくし、介護保険サービス等を中心に暮らしたい」の割合が26.9%と最も高く、次いで「自宅で、家族の介護を中心に、介護保険サービス等を利用しながら暮らしたい」の割合が21.4%、「わからない」の割合が16.5%となっています。

要支援認定者では、「自宅で、家族の介護を中心に、介護保険サービス等を利用しながら暮らしたい」の割合が25.0%と最も高く、次いで「自宅で、家族の介護の負担を極力少なくし、介護保険サービス等を中心に暮らしたい」の割合が21.6%、「特別養護老人ホームやグループホームなど介護保険の施設に入所して暮らしたい」の割合が14.9%となっています。

認定の有無別でみると、大きな差異はみられません。

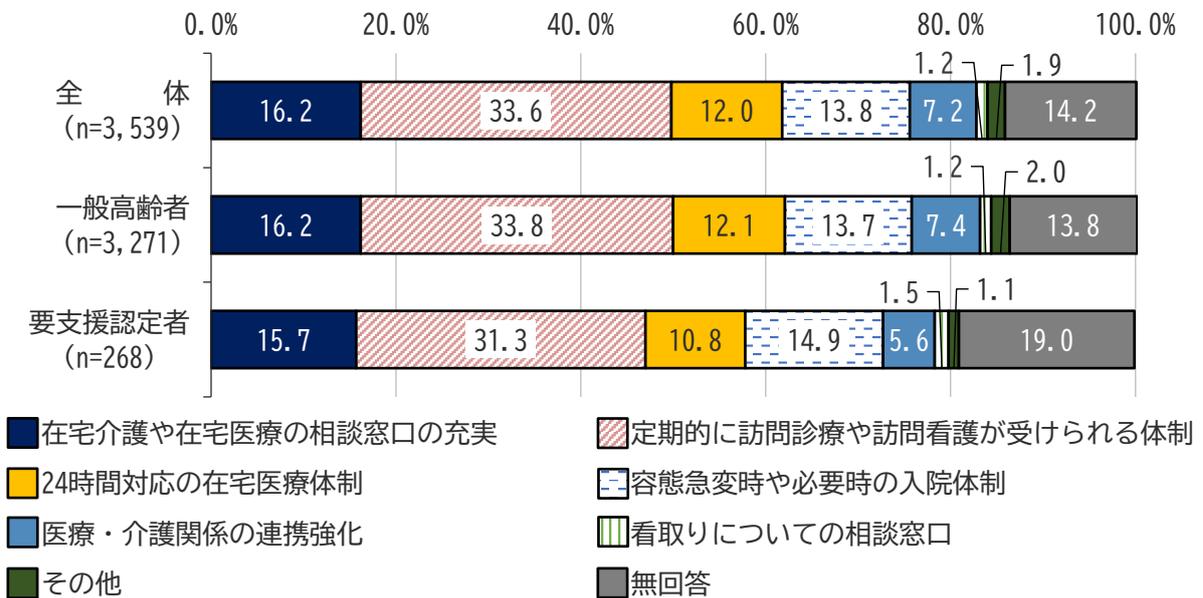


問 69 介護が必要になっても、住み慣れた地域で安心して生活をするための在宅医療や在宅介護が課題となっていますが、どのような整備が特に必要と思いますか（一つを選択）

一般高齢者では、「定期的に訪問診療や訪問看護が受けられる体制」の割合が 33.8%と最も高く、次いで「在宅介護や在宅医療の相談窓口の充実」の割合が 16.2%、「容態急変時や必要時の入院体制」の割合が 13.7%となっています。

要支援認定者では、「定期的に訪問診療や訪問看護が受けられる体制」の割合が 31.3%と最も高く、次いで「在宅介護や在宅医療の相談窓口の充実」の割合が 15.7%、「容態急変時や必要時の入院体制」の割合が 14.9%となっています。

認定の有無別でみると、大きな差異はみられません。

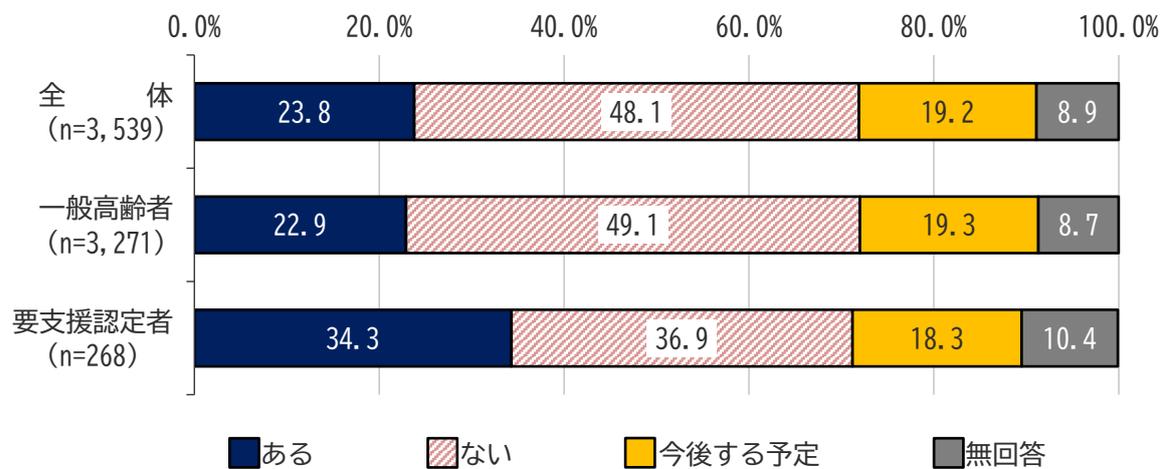


問 70 在宅医療や在宅介護について、家族や身近な人と話し合いなどをしたことがありますか（一つを選択）

一般高齢者では、「ない」の割合が 49.1%と最も高く、次いで「ある」の割合が 22.9%、「今後する予定」の割合が 19.3%となっています。

要支援認定者では、「ない」の割合が 36.9%と最も高く、次いで「ある」の割合が 34.3%、「今後する予定」の割合が 18.3%となっています。

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「ない」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「ある」の割合が高くなっています。



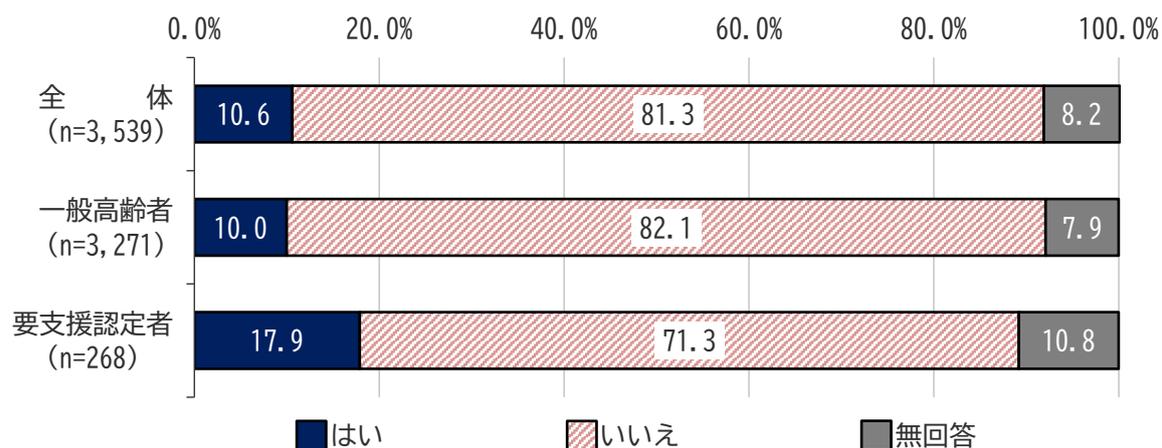
(11) 認知症の方や家族への支援などについて

問 71 あなたは認知症の症状があると思われますか。または家族に、認知症の症状がある人がいますか（一つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が10.0%、「いいえ」の割合が82.1%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が17.9%、「いいえ」の割合が71.3%となっています。

「はい」の割合は、一般高齢者で10.0%、要支援認定者で17.9%となっており、7.9ポイントの差となっています。

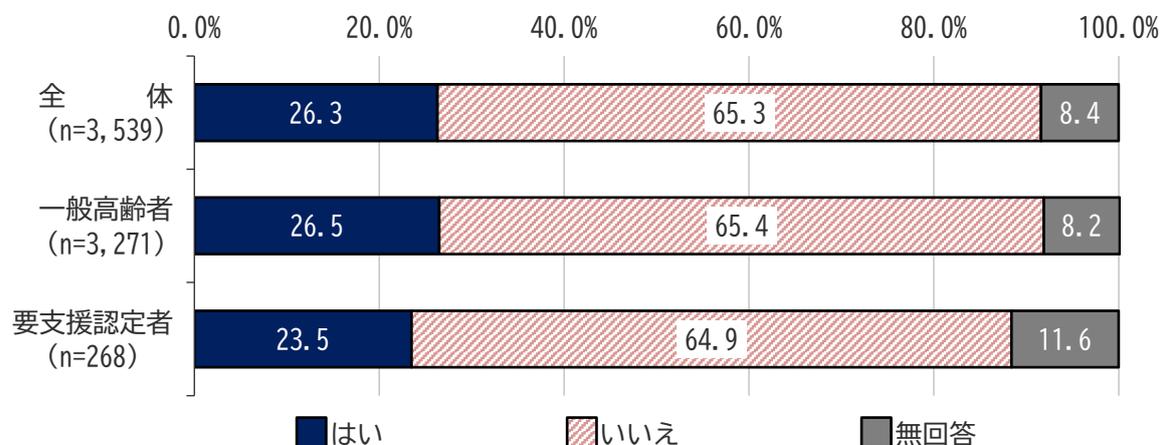


問 72 認知症に関する相談窓口を知っていますか（一つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が26.5%、「いいえ」の割合が65.4%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が23.5%、「いいえ」の割合が64.9%となっています。

「はい」の割合は、一般高齢者で26.5%、要支援認定者で23.5%となっており、3.0ポイントの差となっています。

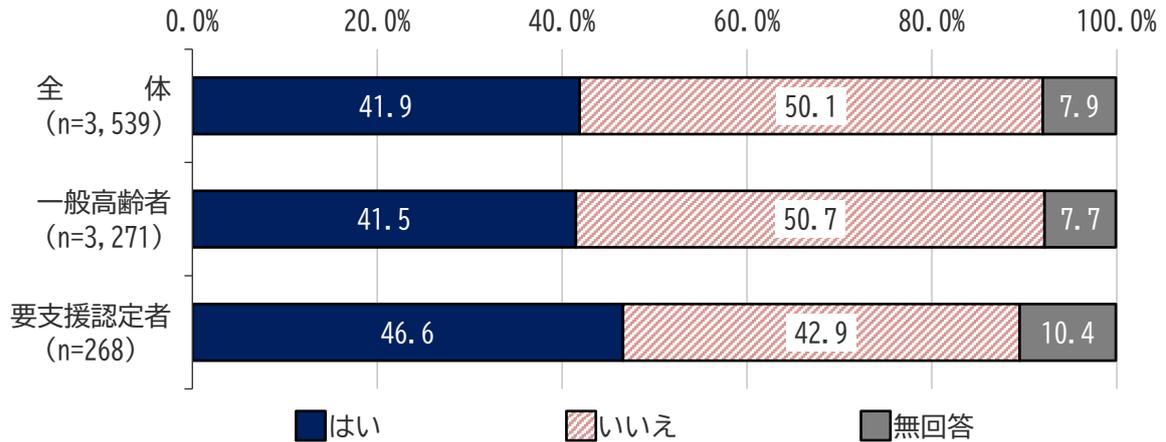


問 73 認知症の心配がある時、かかりつけ医や地域包括支援センター等に相談できることを知っていますか（一つを選択）

一般高齢者では、「はい」の割合が41.5%、「いいえ」の割合が50.7%となっています。

要支援認定者では、「はい」の割合が46.6%、「いいえ」の割合が42.9%となっています。

「はい」の割合は、一般高齢者で41.5%、要支援認定者で46.6%となっており、5.1ポイントの差となっています。

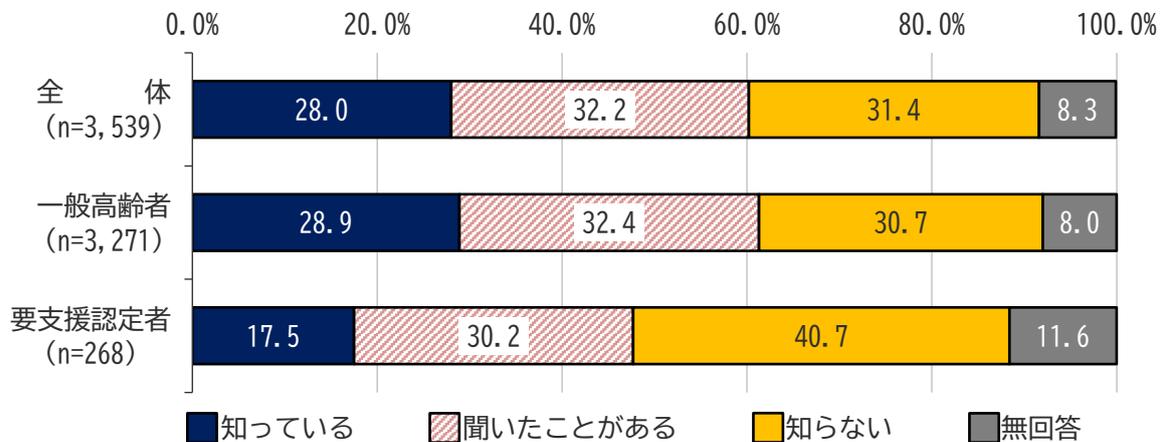


問 74 「成年後見制度」を知っていますか（一つを選択）

一般高齢者では、「聞いたことがある」の割合が32.4%と最も高く、次いで「知らない」の割合が30.7%、「知っている」の割合が28.9%となっています。

要支援認定者では、「知らない」の割合が40.7%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が30.2%、「知っている」の割合が17.5%となっています。

「知っている」の割合は、一般高齢者で28.9%、要支援認定者で17.5%となっており、11.4ポイントの差となっています。

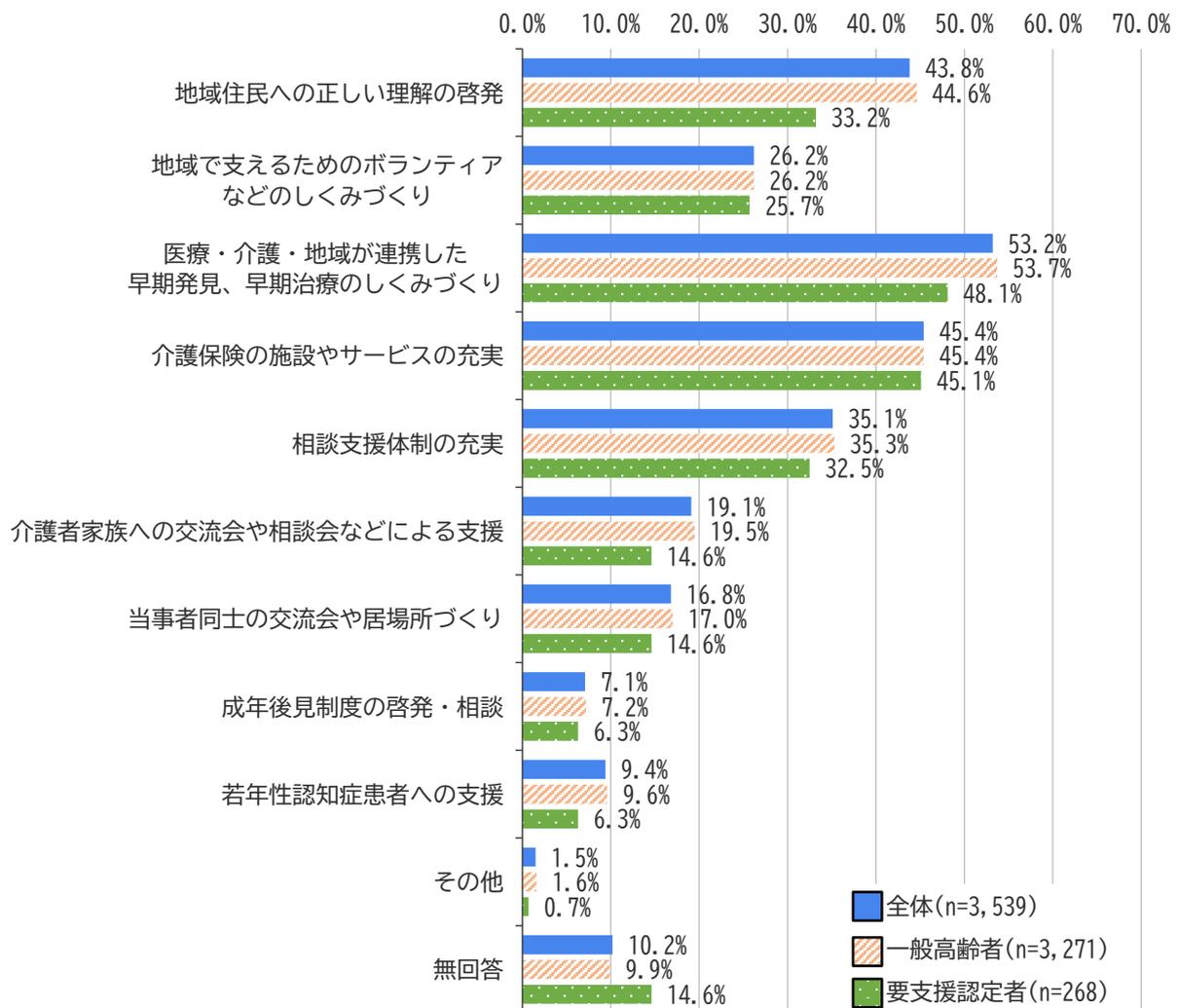


問 75 認知症になっても、住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、どのようなことが重要だと思いますか（いくつでも）

一般高齢者では、「医療・介護・地域が連携した早期発見、早期治療のしくみづくり」の割合が 53.7%と最も高く、次いで「介護保険の施設やサービスの充実」の割合が 45.4%、「地域住民への正しい理解の啓発」の割合が 44.6%となっています。

要支援認定者では、「医療・介護・地域が連携した早期発見、早期治療のしくみづくり」の割合が 48.1%と最も高く、次いで「介護保険の施設やサービスの充実」の割合が 45.1%、「地域住民への正しい理解の啓発」の割合が 33.2%となっています。

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「地域住民への正しい理解の啓発」「医療・介護・地域が連携した早期発見、早期治療のしくみづくり」の割合が高くなっています。

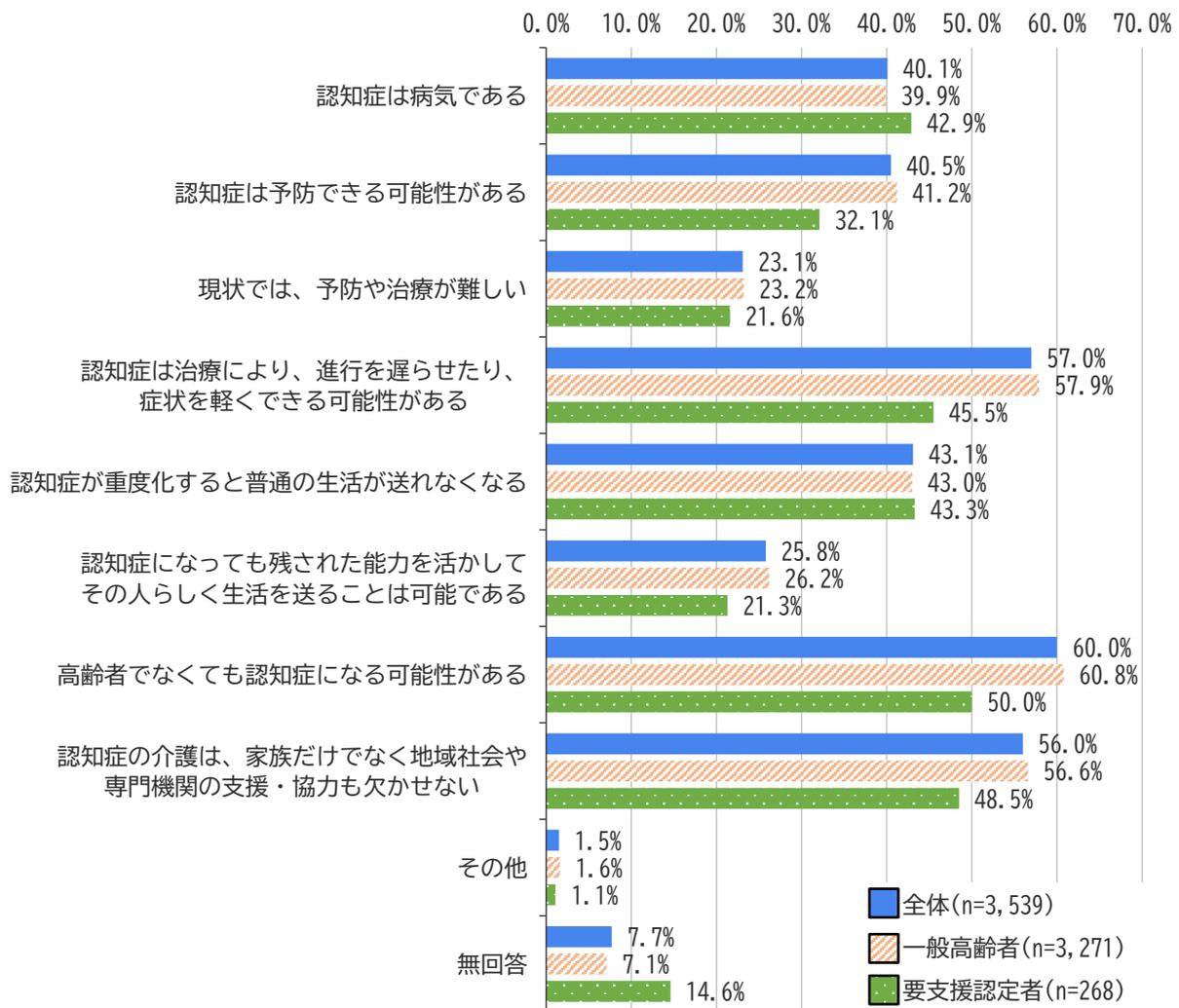


問 76 あなたは、認知症について、どのようなイメージをお持ちですか（いくつでも）

一般高齢者では、「高齢者でなくても認知症になる可能性がある」の割合が 60.8%と最も高く、次いで「認知症は治療により、進行を遅らせたり、症状を軽くできる可能性がある」の割合が 57.9%、「認知症の介護は、家族だけでなく地域社会や専門機関の支援・協力も欠かせない」の割合が 56.6%となっています。

要支援認定者では、「高齢者でなくても認知症になる可能性がある」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「認知症の介護は、家族だけでなく地域社会や専門機関の支援・協力も欠かせない」の割合が 48.5%、「認知症は治療により、進行を遅らせたり、症状を軽くできる可能性がある」の割合が 45.5%となっています。

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「認知症は予防できる可能性がある」「認知症は治療により、進行を遅らせたり、症状を軽くできる可能性がある」「高齢者でなくても認知症になる可能性がある」「認知症の介護は、家族だけでなく地域社会や専門機関の支援・協力も欠かせない」の割合が高くなっています。

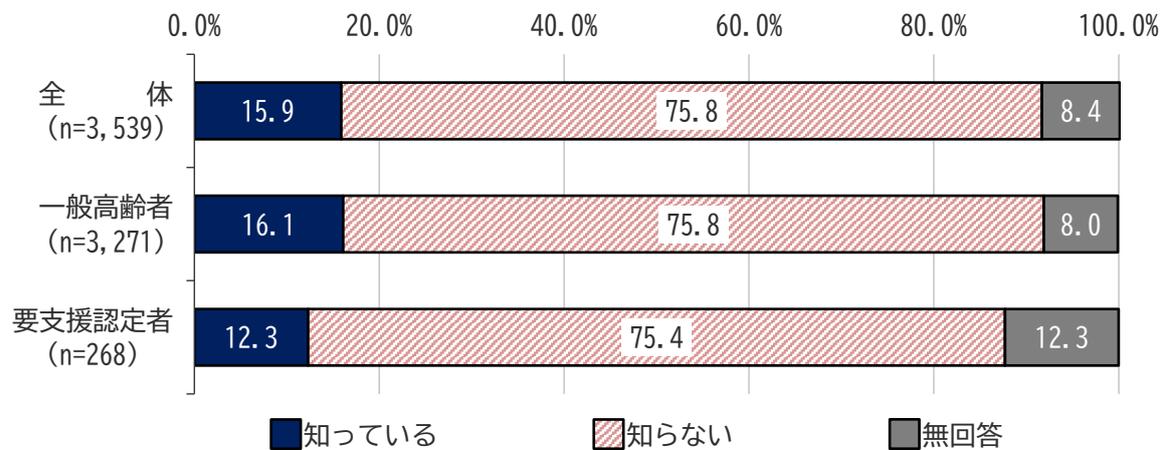


問 77 伊賀市では、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるよう、さまざまな事業を行っています。あなたは「ひとり歩き高齢者等見守り支援事業」についてご存じですか（一つを選択）

一般高齢者では、「知っている」の割合が16.1%、「知らない」の割合が75.8%となっています。

要支援認定者では、「知っている」の割合が12.3%、「知らない」の割合が75.4%となっています。

「知っている」の割合は、一般高齢者で16.1%、要支援認定者で12.3%となっており、3.8ポイントの差となっています。



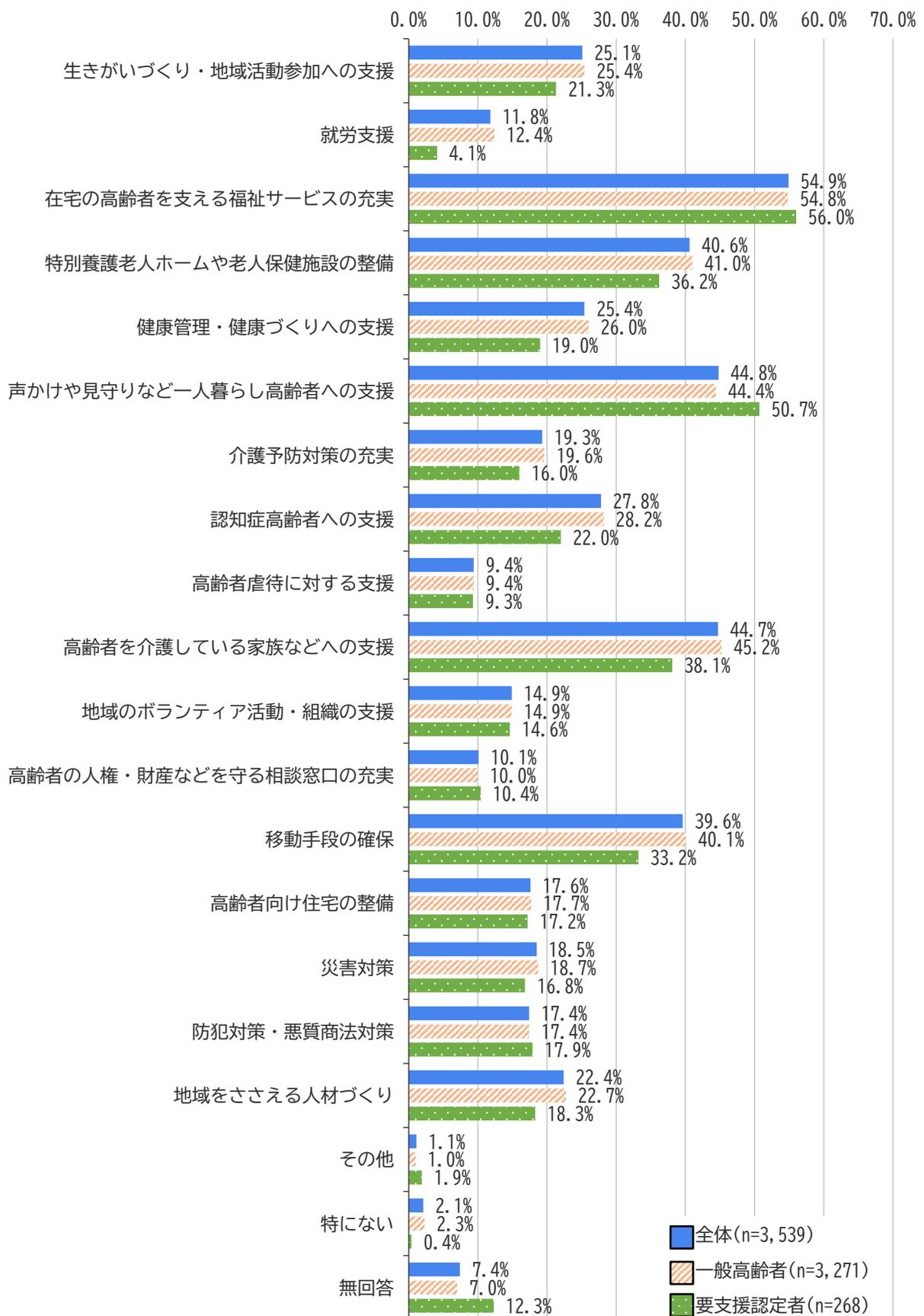
(12) 今後の高齢者施策について

問 78 市が取り組むべき高齢者の施策として、今後、特に充実させてほしいことは何ですか（いくつでも）

一般高齢者では、「在宅の高齢者を支える福祉サービスの充実」の割合が 54.8%と最も高く、次いで「高齢者を介護している家族などへの支援」の割合が 45.2%、「声かけや見守りなど一人暮らし高齢者への支援」の割合が 44.4%となっています。

要支援認定者では、「在宅の高齢者を支える福祉サービスの充実」の割合が 56.0%と最も高く、次いで「声かけや見守りなど一人暮らし高齢者への支援」の割合が 50.7%、「高齢者を介護している家族などへの支援」の割合が 38.1%となっています。

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「就労支援」「特別養護老人ホームや老人保健施設の整備」「認知症高齢者への支援」「高齢者を介護している家族などへの支援」「移動手段の確保」の割合が高くなっています。一方、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「声かけや見守りなど一人暮らし高齢者への支援」の割合が高くなっています。



ご意見やご要望がありましたら、ご記入ください

今回の調査で自由な意見・要望を聞いたところ、503人の意見が得られました。内訳は以下のとおりになっています。なお以下の件数は、1人が何件ものテーマにも言及している場合もあるため、回答者数と一致しません。

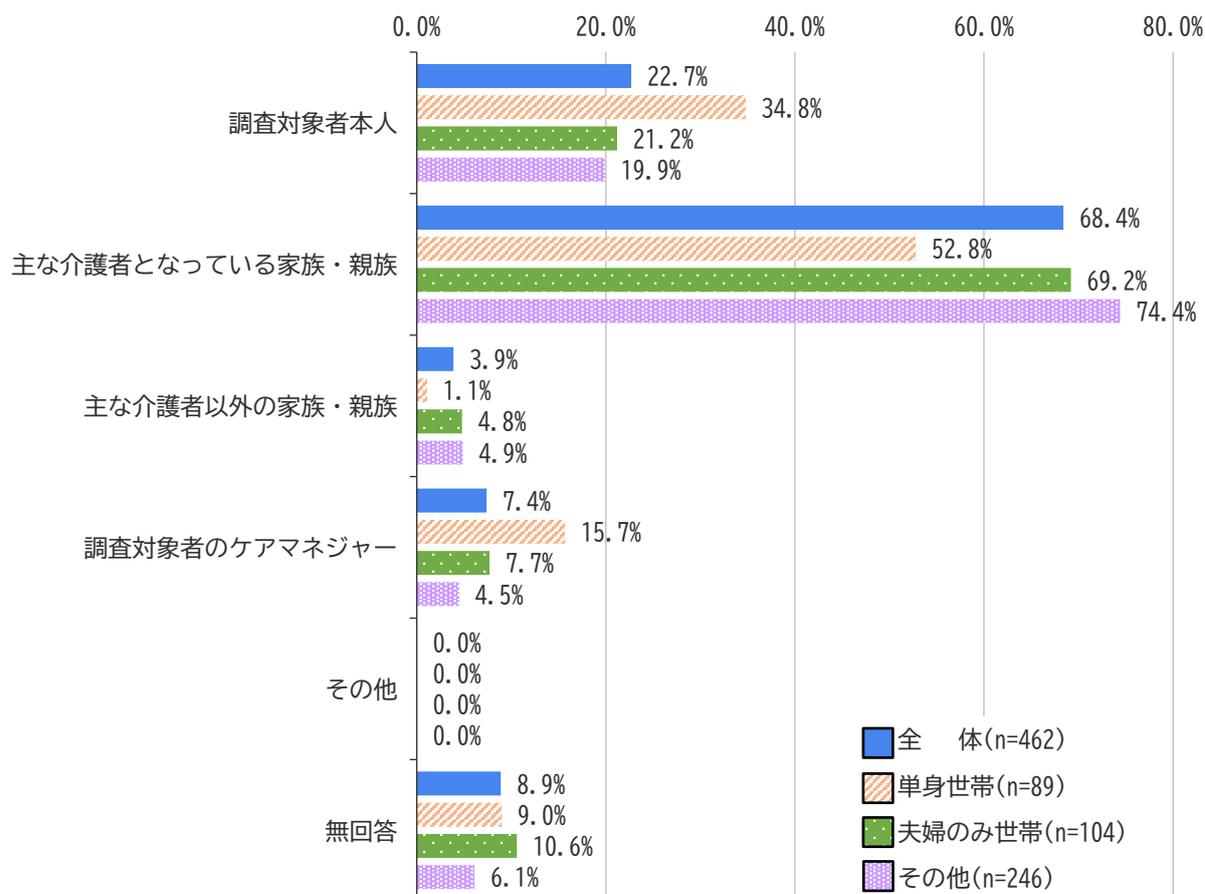
テーマ	件数
福祉全般	12
介護保険制度	61
高齢者の将来	22
生活環境	51
移動・交通・運転免許	84
在宅サービス	79
施設サービス	58
経済的問題	51
情報提供・相談	20
介護予防・健康	48
仕事	28
生きがい・楽しみ	18
地域活動・ボランティア	25
認知症	34
医療・医療費・病院	43
住宅・居場所	6
自立・自助	7
付き合い・地域との関わり	15
独居	79
家族介護	79
行政・地域包括支援センター	10
民生委員	10
事業所スタッフ	79
災害・安全	7
市に望むあり方	12
アンケートについて	79
その他	27

第2章 在宅介護実態調査の集計結果

(1) 基本調査項目 (A票)

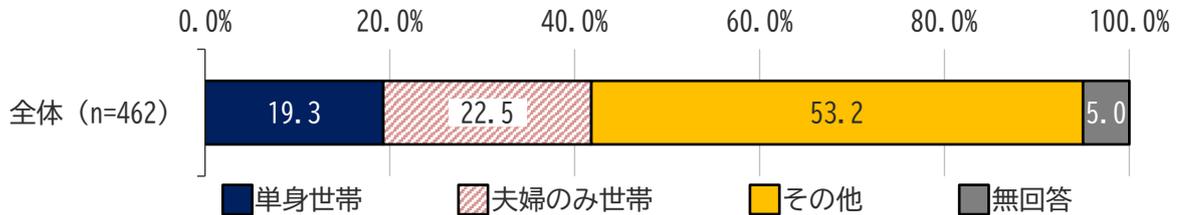
聞き取りを行った相手の方は、どなたですか (複数選択可)

全体では、「主な介護者となっている家族・親族」の割合が 68.4%と最も高く、次いで「調査対象者本人」の割合が 22.7%、「調査対象者のケアマネジャー」の割合が 7.4%となっています。



問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

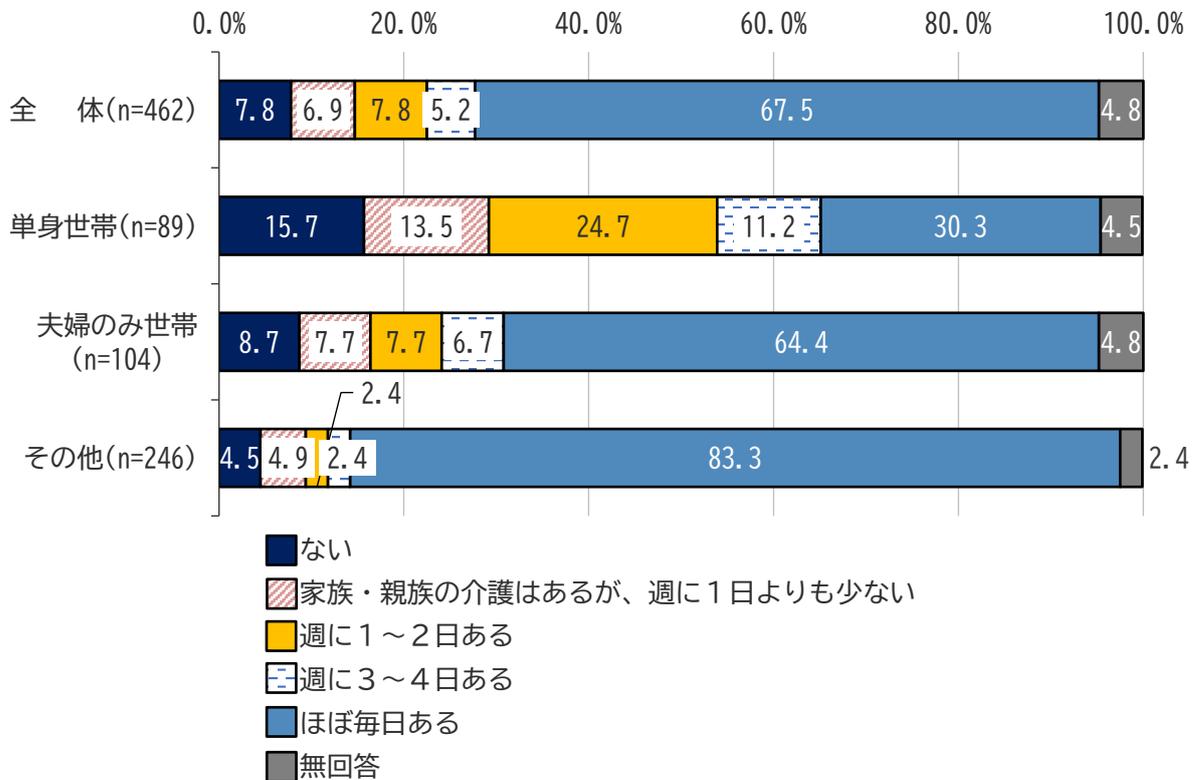
「その他」の割合が53.2%と最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」の割合が22.5%、「単身世帯」の割合が19.3%となっています。



問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

全体では、「ほぼ毎日ある」の割合が67.5%と最も高く、次いで「ない」の割合が7.8%、「週に1～2日ある」の割合が7.8%となっています。

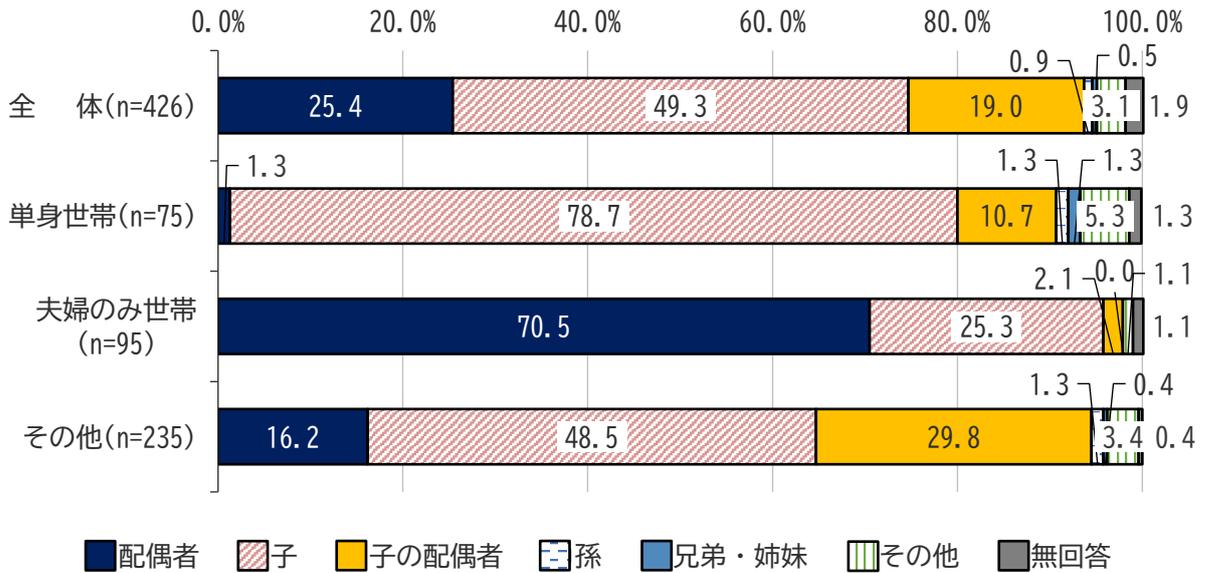
世帯類型別で見ると、「ほぼ毎日ある」の割合は「単身世帯」では3割強にとどまるのに対し、「夫婦のみ世帯」では6割強に上っています。



問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

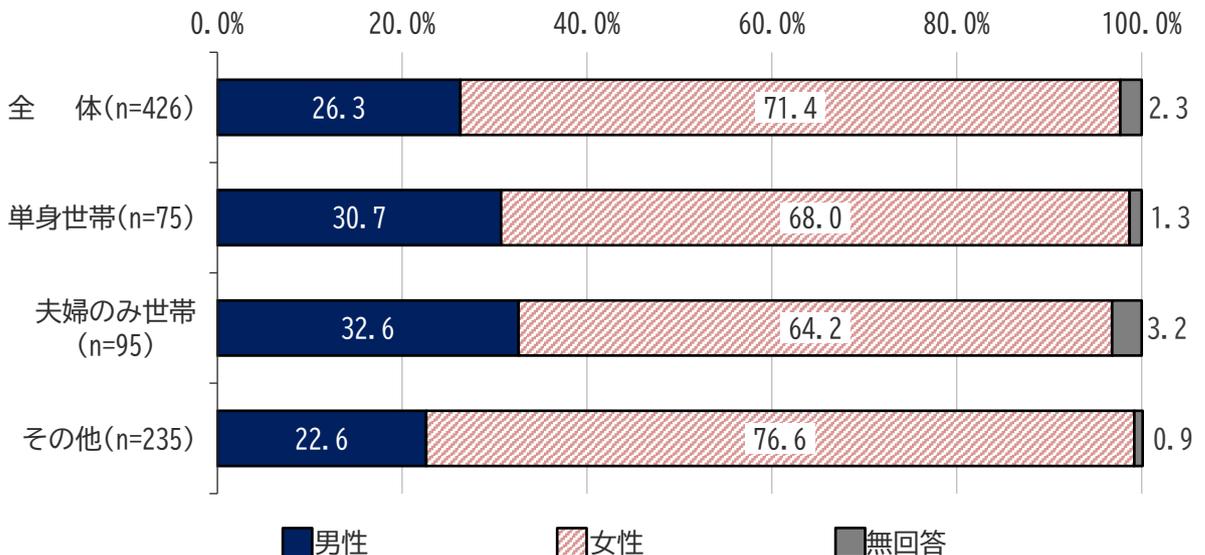
全体では、「子」の割合が49.3%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が25.4%、「子の配偶者」の割合が19.0%となっています。

世帯類型別で見ると、「単身世帯」では「子」が8割弱で最も高く、「夫婦のみ世帯」では「配偶者」が7割強で最も高くなっています。「その他」でも「子」の割合が5割弱で最も高くなっていますが、「単身世帯」と比較して30ポイントほど低くなっています。



問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

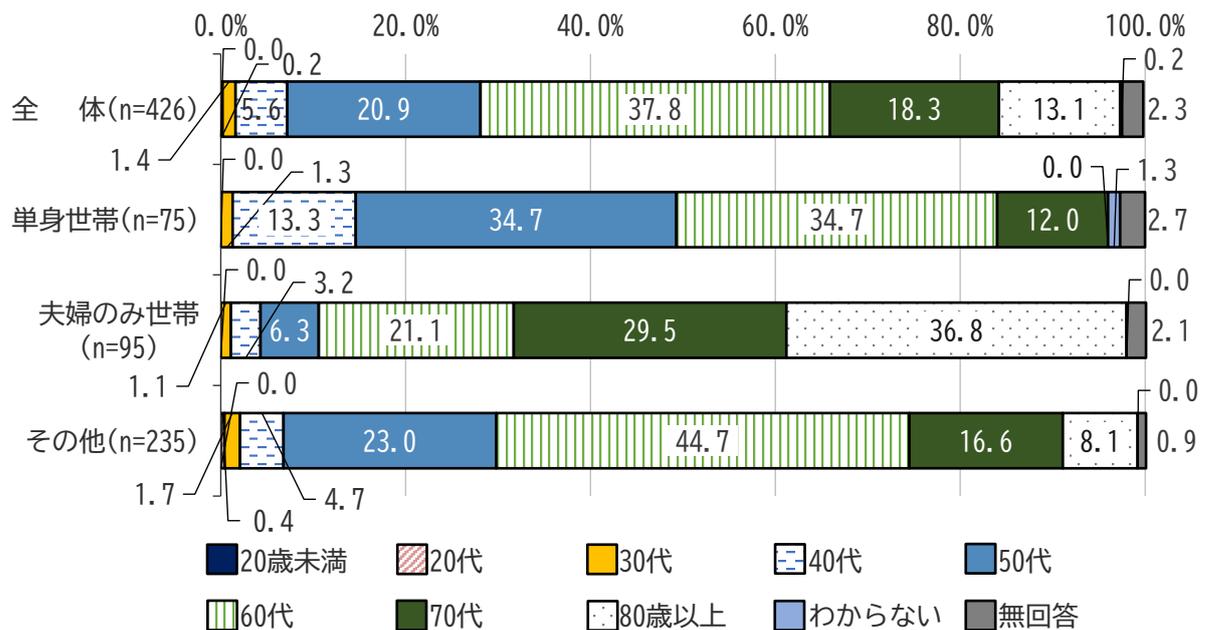
全体では、「男性」の割合が26.3%、「女性」の割合が71.4%となっています。



問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

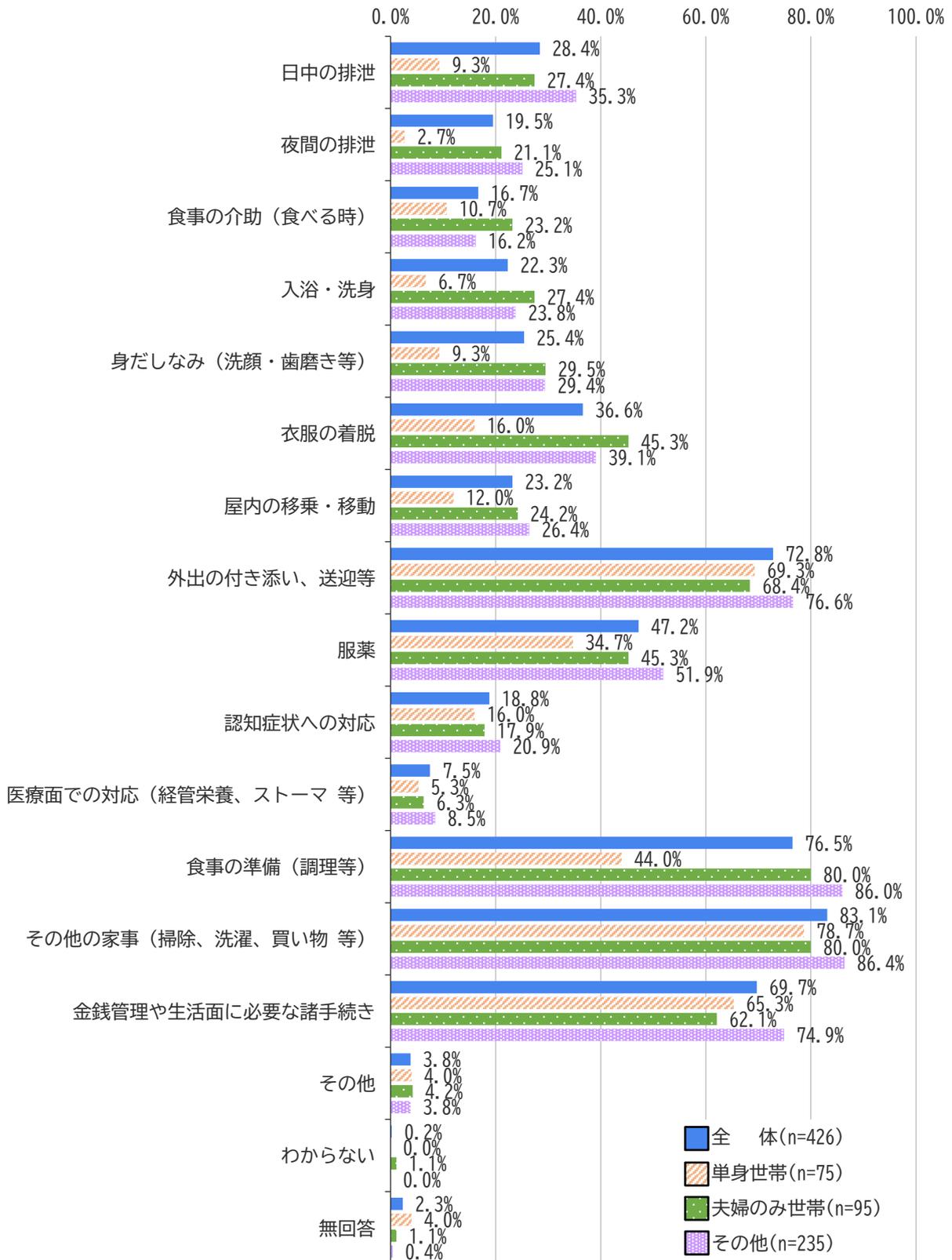
全体では、「60代」の割合が37.8%と最も高く、次いで「50代」の割合が20.9%、「70代」の割合が18.3%となっています。

「単身世帯」では「50代」「60代」がともに3割強で最も高くなっています。「夫婦のみ世帯」では「80歳以上」が4割弱で最も高く、これに「70代」が3割弱で続いており、介護者の高齢化が際立っています。「その他」では「60代」が4割強で最も高くなっています。



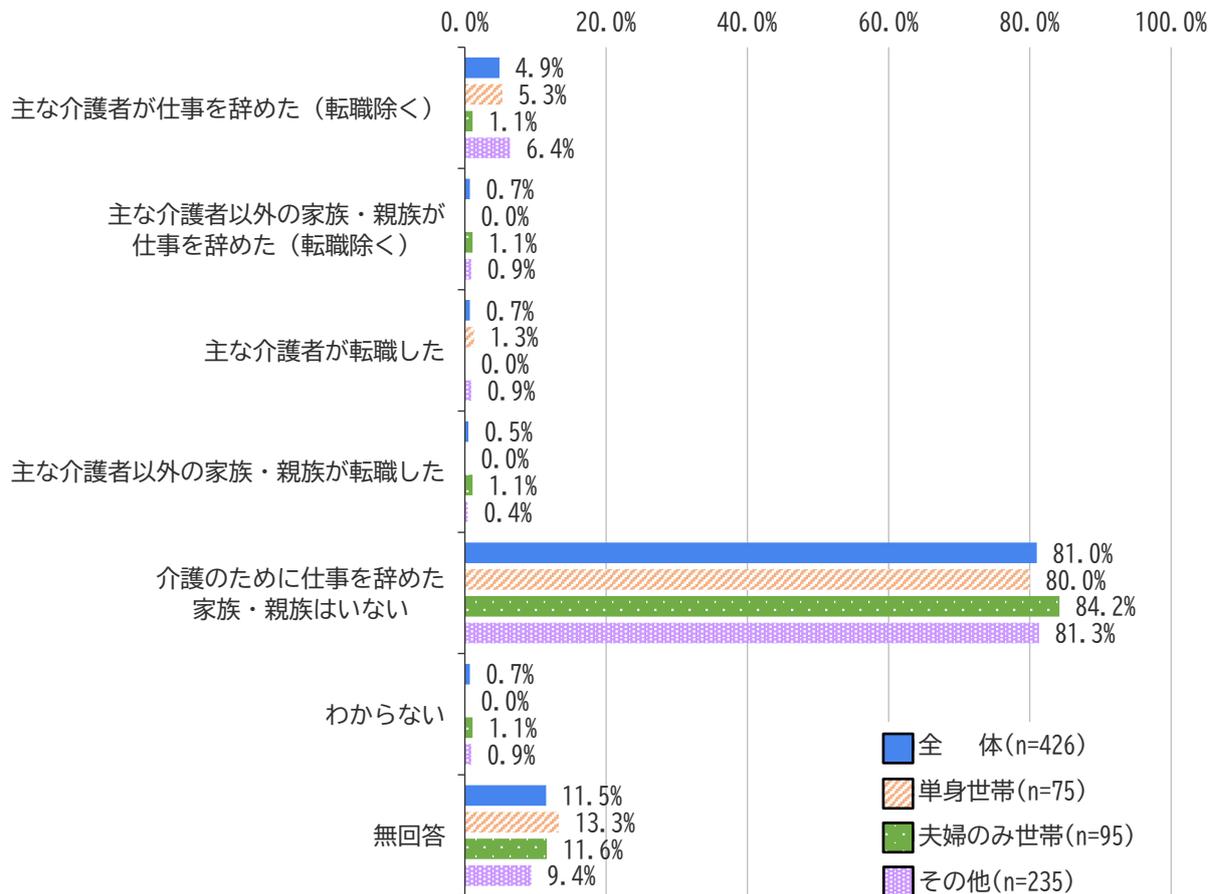
問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください
(複数選択可)

全体では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が83.1%と最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」の割合が76.5%、「外出の付き添い、送迎等」の割合が72.8%となっています。



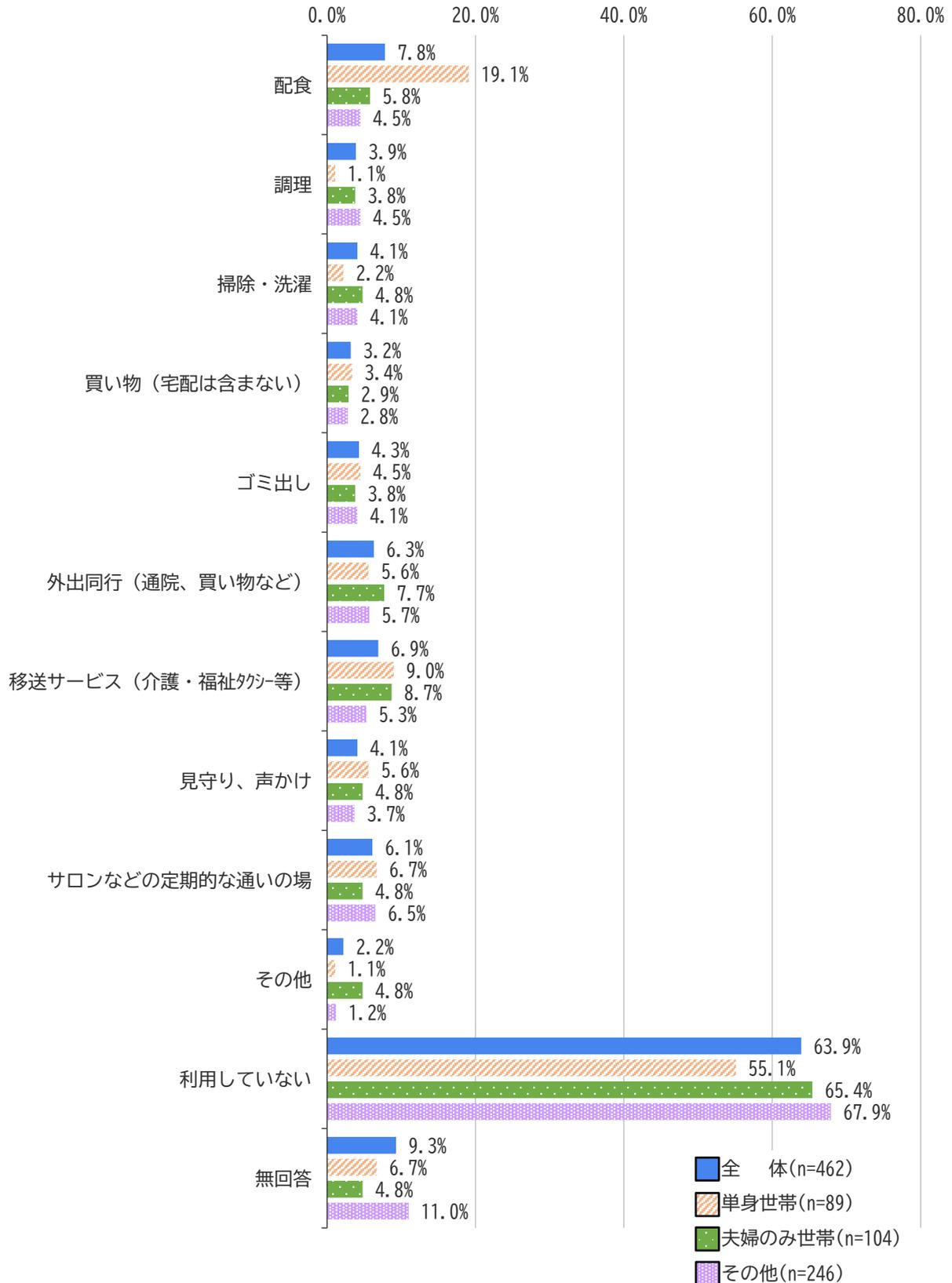
問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

全体では、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が81.0%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」の割合が4.9%となっています。



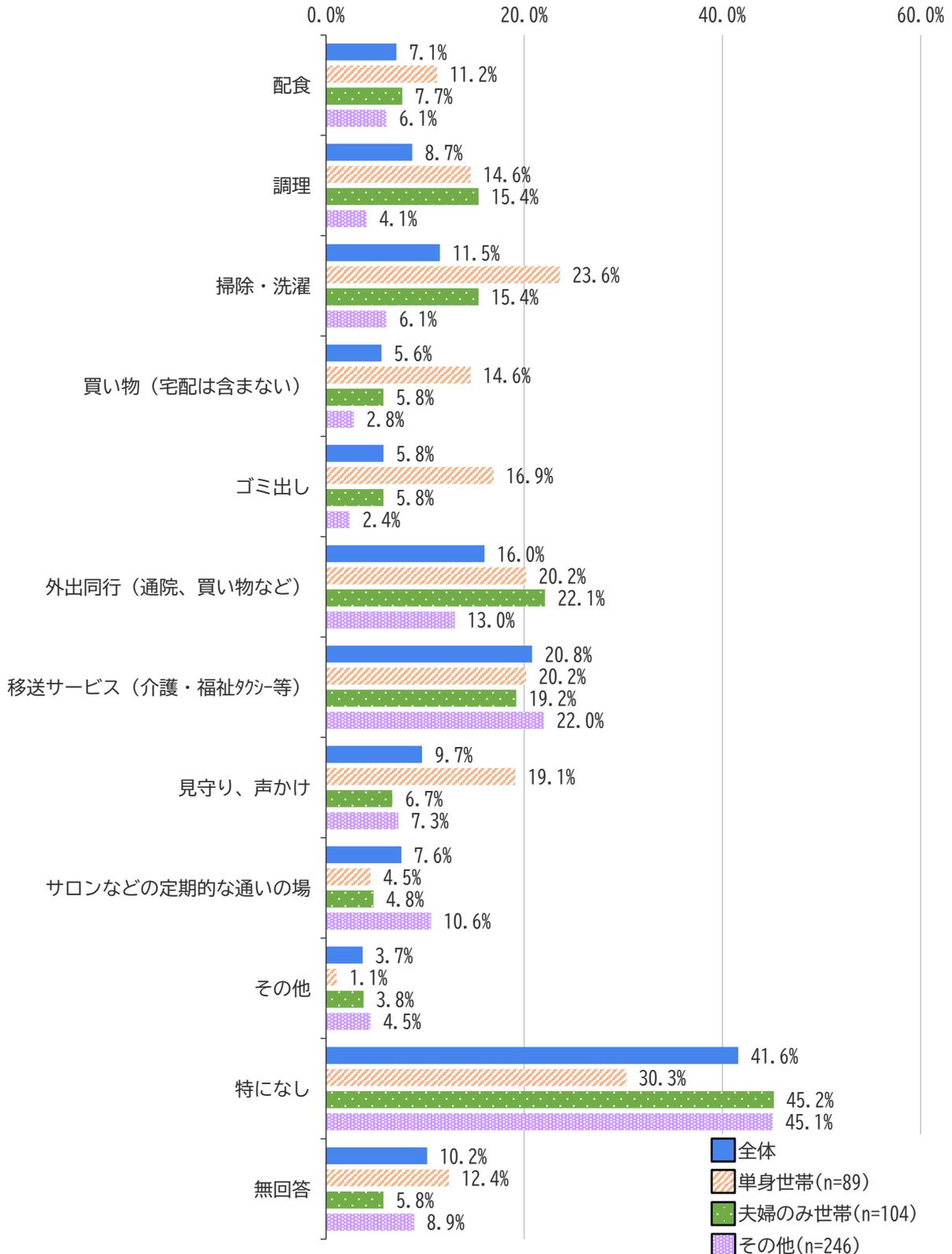
問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、
ご回答ください（複数選択可）

全体では、「利用していない」の割合が 63.9%と最も高く、次いで「配食」の割合が
7.8%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が 6.9%となっています。



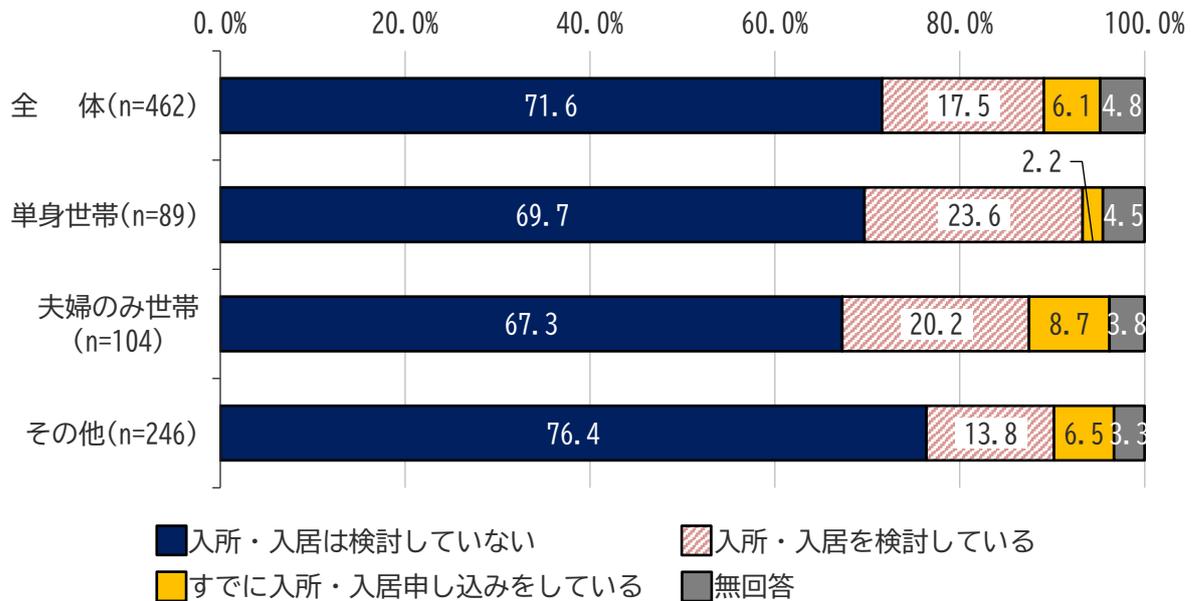
問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

全体では、「特になし」の割合が41.6%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が20.8%、「外出同行（通院、買い物など）」の割合が16.0%となっています。



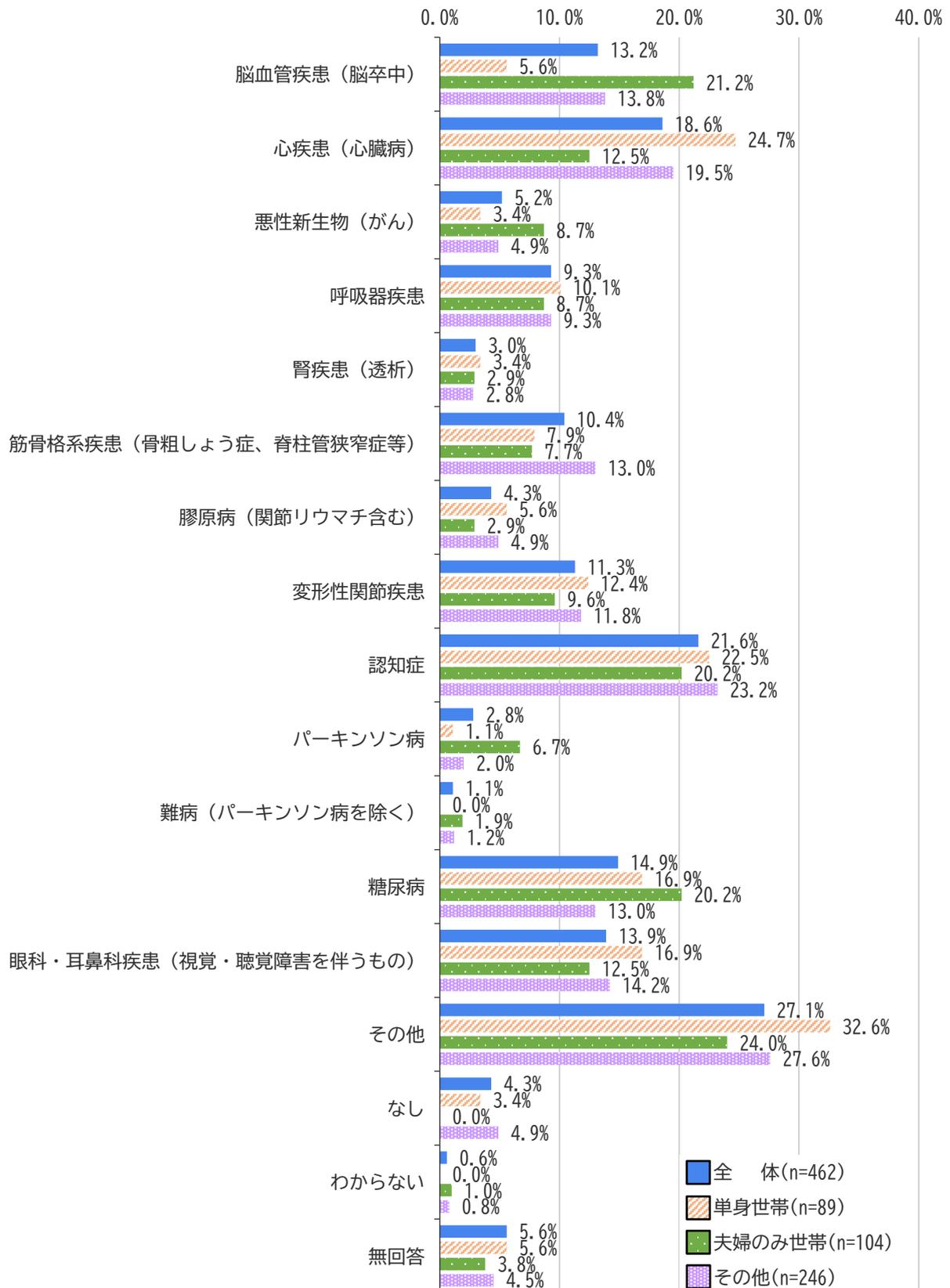
問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください
(1つを選択)

全体では、「入所・入居は検討していない」の割合が 71.6%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」の割合が 17.5%、「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が 6.1%となっています。



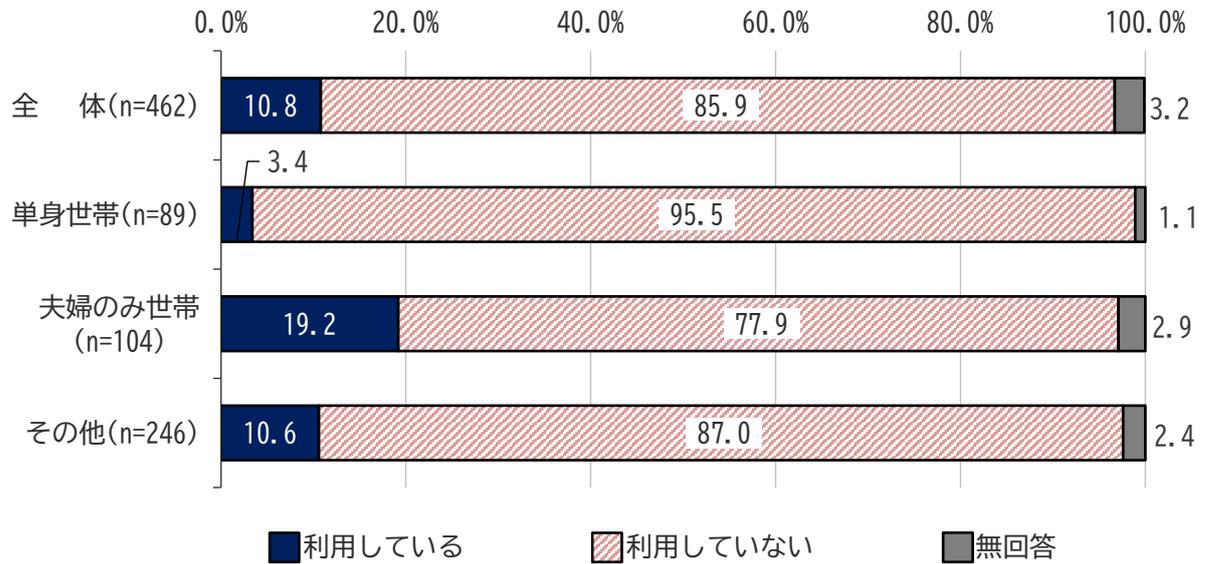
問 11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）

全体では、「その他」の割合が27.1%と最も高く、次いで「認知症」の割合が21.6%、「心疾患（心臓病）」の割合が18.6%となっています。



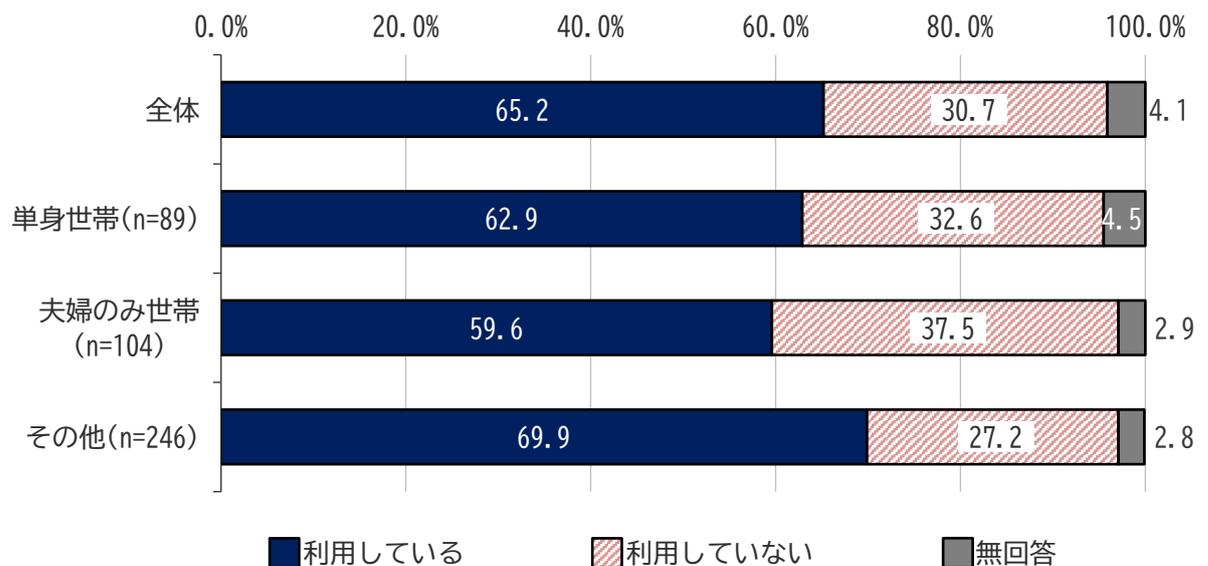
問 12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）

全体では、「利用していない」の割合が 85.9%と最も高く、次いで「利用している」の割合が 10.8%、「無回答」の割合が 3.2%となっています。



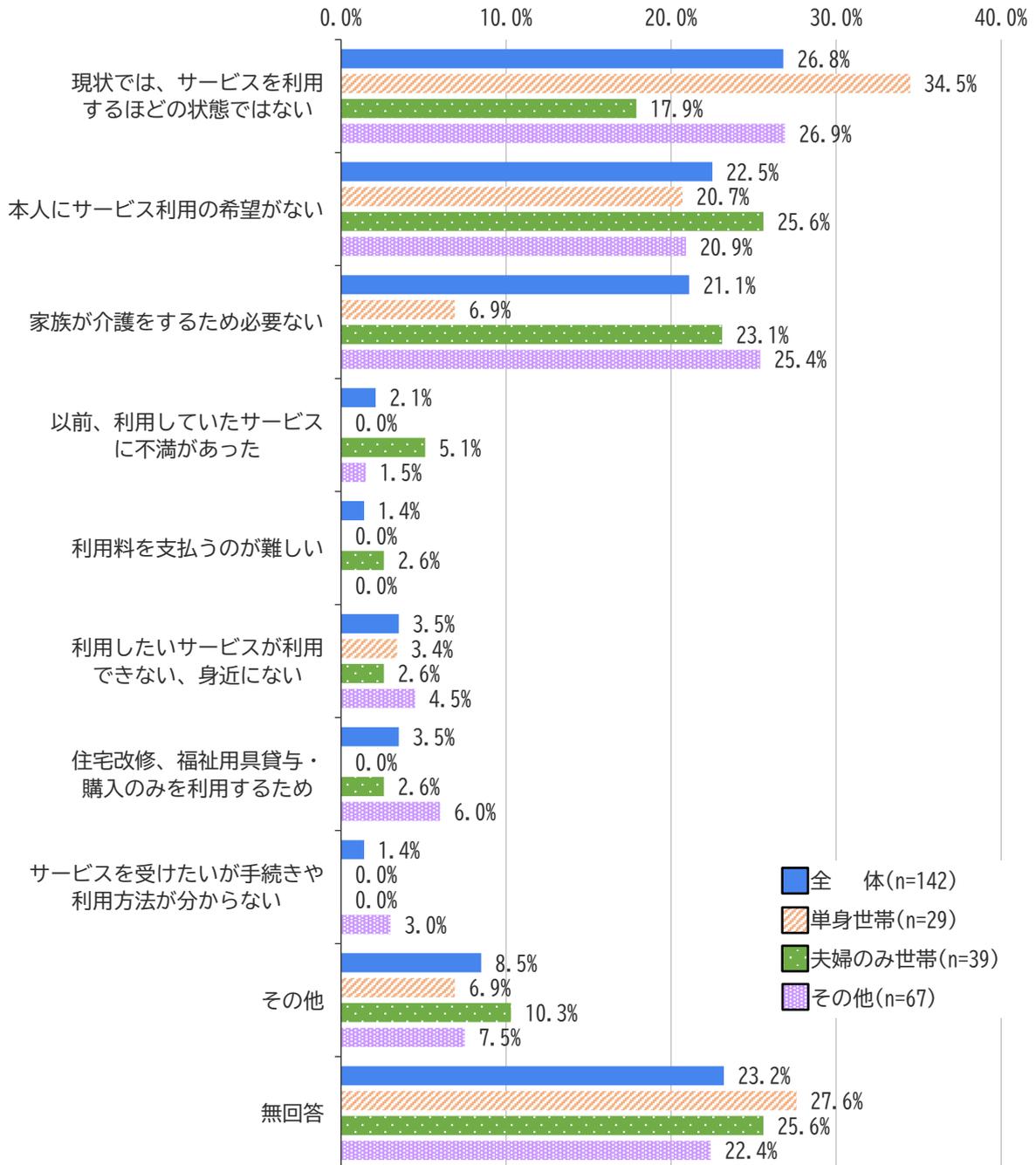
問 13 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（1つを選択）

全体では、「利用している」の割合が 65.2%と最も高く、次いで「利用していない」の割合が 30.7%、「無回答」の割合が 4.1%となっています。



問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

全体では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が 26.8%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」の割合が 22.5%、「家族が介護をするため必要ない」の割合が 21.1%となっています。

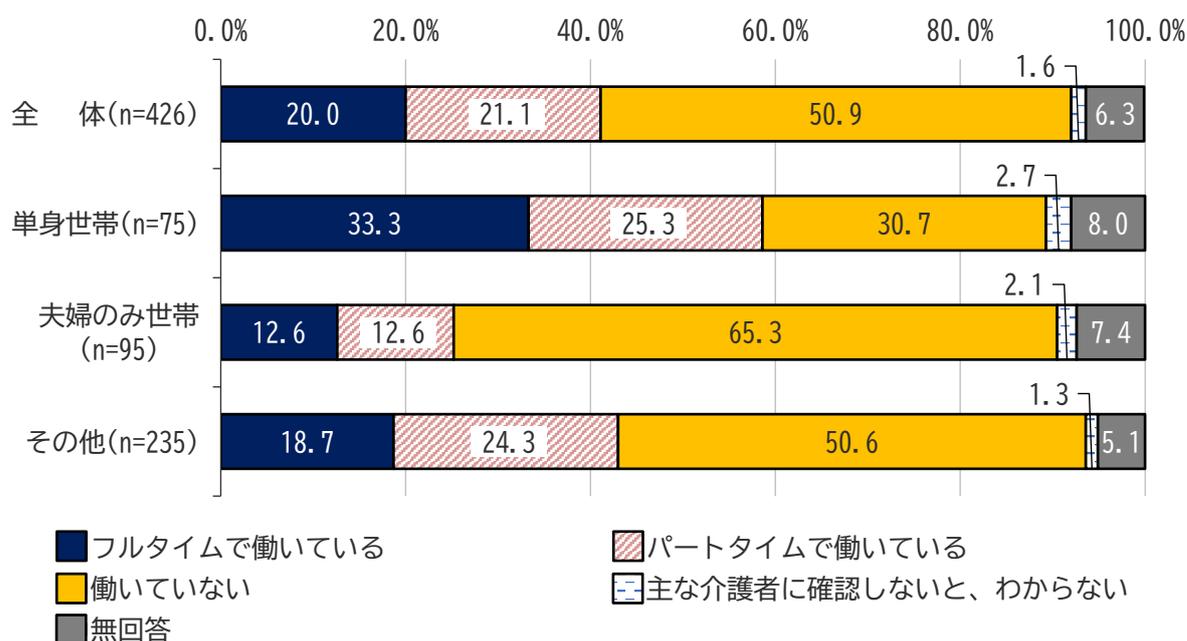


(2) 主な介護者様用の調査項目 (B票)

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください (1つを選択)

全体では、「働いていない」の割合が 50.9%と最も高く、次いで「パートタイムで働いている」の割合が 21.1%、「フルタイムで働いている」の割合が 20.0%となっています。

世帯類型別でみると、「フルタイムで働いている」の割合は「単身世帯」が最も高く、3割強となっています。「働いていない」の割合は「夫婦のみ世帯」が最も高く、6割強となっています。

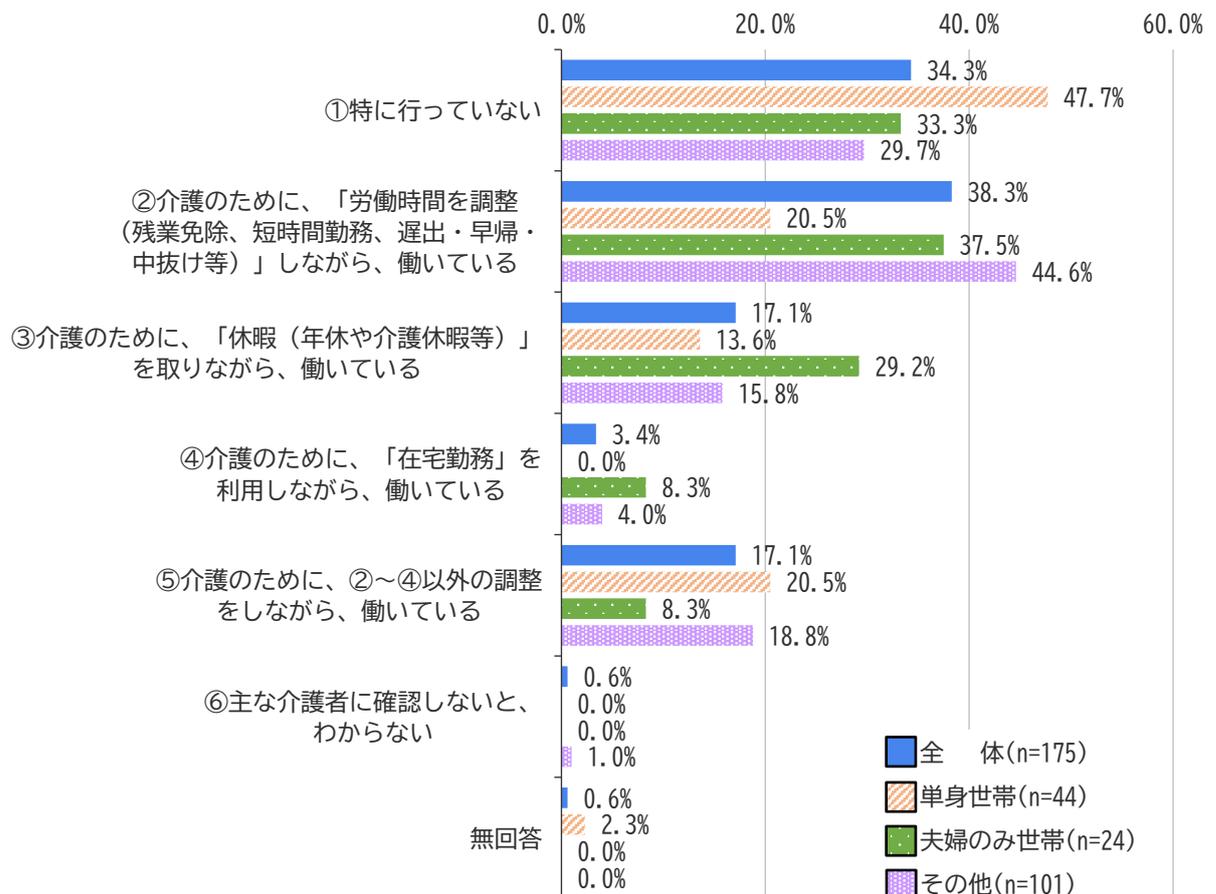


<問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。>

問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか（複数選択可）

全体では、「②介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が 38.3%と最も高く、次いで「①特に行っていない」の割合が 34.3%、「③介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」の割合が 17.1%となっています。

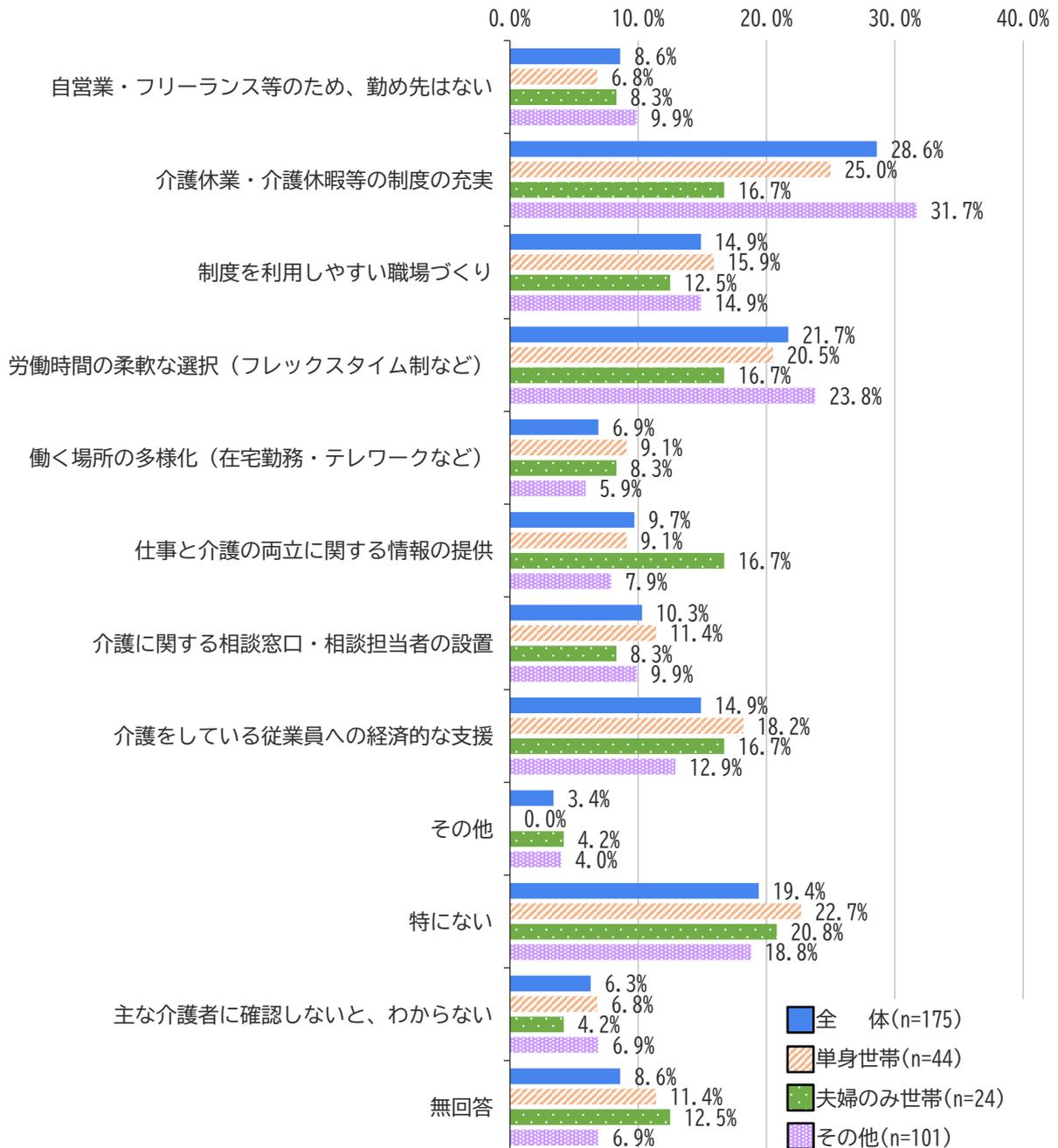
世帯類型別でみると、「①特に行っていない」の割合は、「単身世帯」が5割弱で最も高く、他の世帯類型と比較して10ポイントほど高くなっています。「夫婦のみ世帯」の「②介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合は4割強となっており、他の世帯類型よりも高くなっています。「その他」の「③介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」の割合は3割弱で他の世帯類型よりも高くなっています。



<問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。>

問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

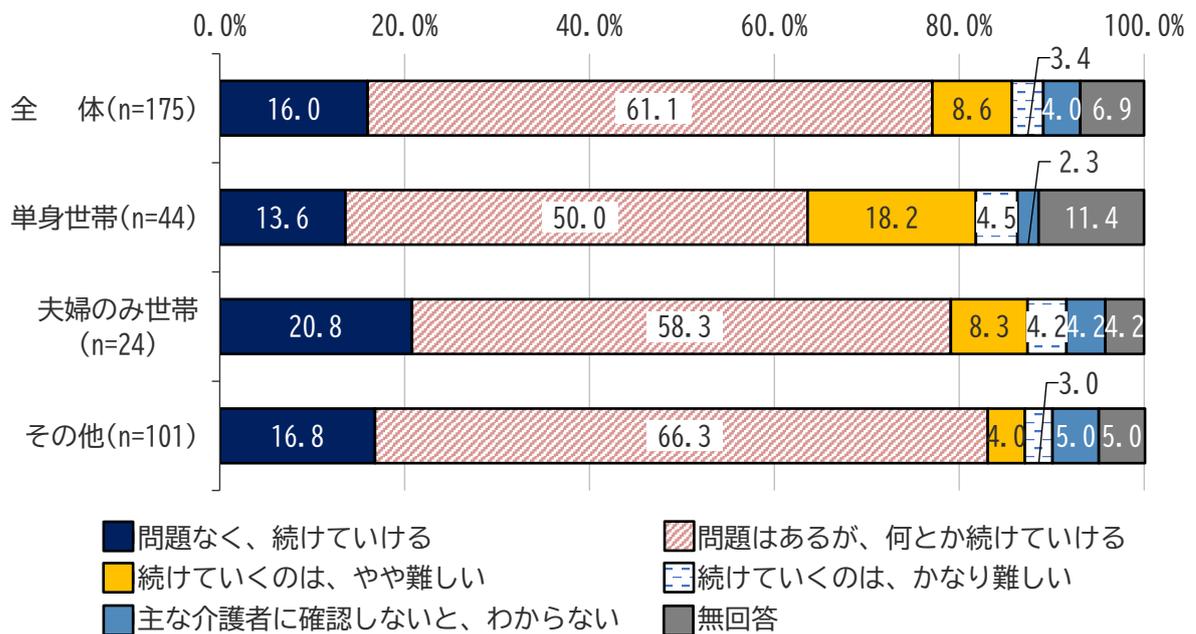
全体では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が28.6%と最も高く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」の割合が21.7%、「特にない」の割合が19.4%となっています。



<問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。>
 問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか
 (1つを選択)

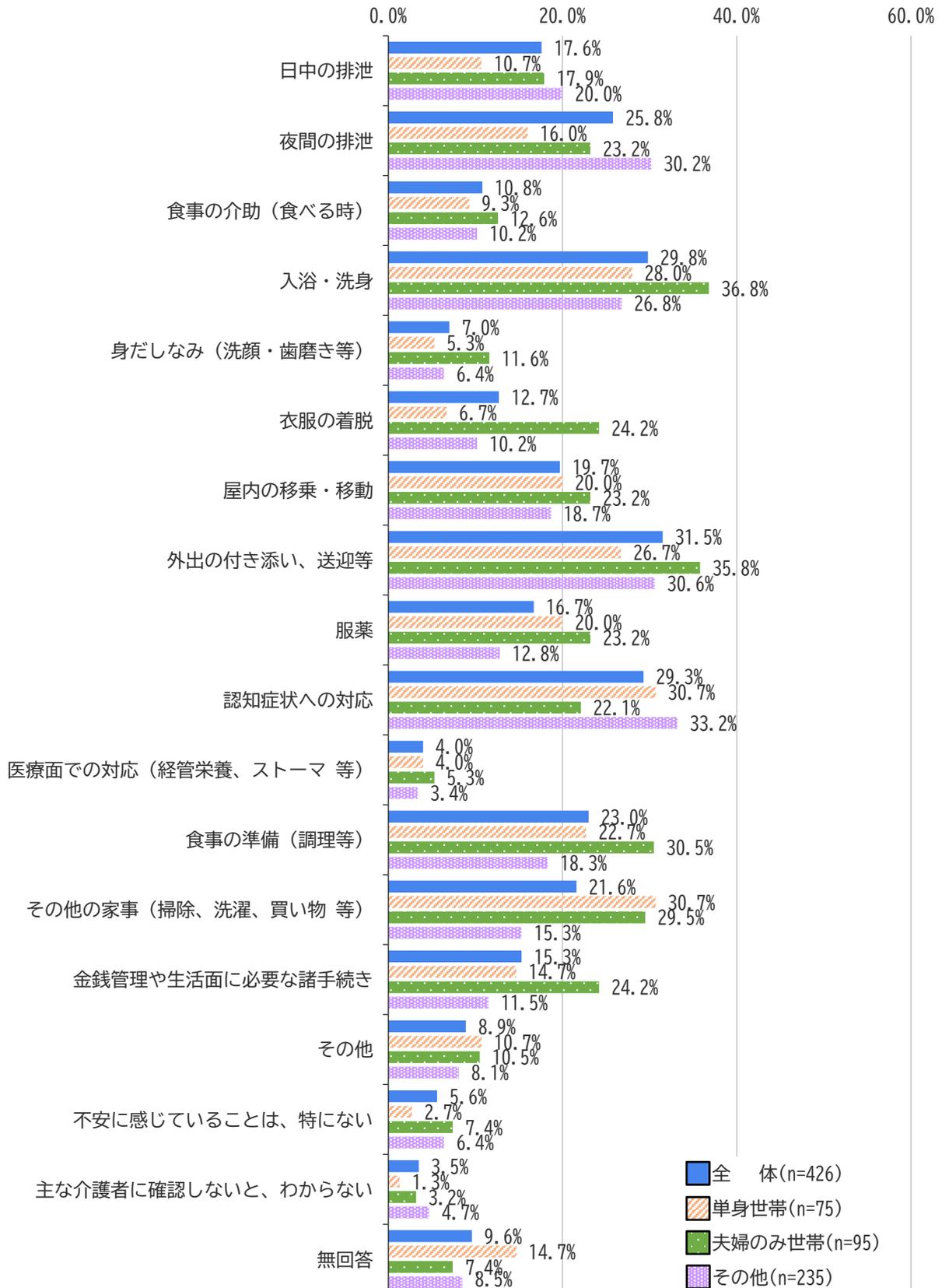
全体では、「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が61.1%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」の割合が16.0%、「続けていくのは、やや難しい」の割合が8.6%となっています。

世帯類型別で見ると、どの世帯類型でも「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が最も高くなっていますが、「単身世帯」では「続けていくのは、やや難しい」の割合が2割弱となっており、他の世帯類型よりも高くなっています。



問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）
（3つまで選択可）

全体では、「外出の付き添い、送迎等」の割合が31.5%と最も高く、次いで「入浴・洗身」の割合が29.8%、「認知症状への対応」の割合が29.3%となっています。



伊賀市

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査報告書

在宅介護実態調査報告書

発行日 2020（令和2）年5月
発行 伊賀市
編集 伊賀市 健康福祉部 介護高齢福祉課
〒518-8501
三重県伊賀市四十九町 3184
電話：0595-26-3939（直通）
FAX：0595-26-3950